

取扱説明書

Takakita 細断型コンビラップ

MW1011H



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**細断型コンビラップ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警 告 サ イ ン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	22
各部の名称とはたらき	23
トラクタへの装着	28
1. 装着のしかた	28
2. セーフティーチェーンの接続	28
3. ユニバーサルジョイントの取付け	29
4. コントロールボックスの接続	30
運転に必要な装着の取扱い	31
1. タイトチェーン注油装置の取扱い	31
2. 満了感知装置の取扱い	31
3. シリンダストップバルブの取扱い	31
4. 梱包圧の調整方法	32
5. ネット装置のスライド	32
6. ネットをセットする	33
7. 使用時にこれだけは守りましょう	34
8. 使用できるネット	34
9. フィルムをセットする	34
10. フィルムセンサボックスの取扱い	36
11. 車幅灯ベースの取扱い	36
12. パトライトの取扱い	36
作 業 方 法	37
1. 作業手順と要点	37
2. 本機の設置	39
3. ベールカウンタのリセット	39
4. 作業時のコントロールボックス表示	40
5. 巻数設定	42
6. 手動巻付け方法	42
作業前・作業後の点検について	43
点検一覧表	43
簡単な手入れと処置	44
1. タイヤの空気圧調節及び摩擦、損傷	44
2. ヒューズの交換	44
3. シェアボルトの交換（ベアラ部）	44
4. シェアボルトの交換（ラップ部）	45
5. フィルムの取扱いについて	45
6. 送信機	46
7. オイルクーラー	46
8. 油圧作動油	46
9. 電装系の確認	47
10. 感知センサの確認	47
11. チェーンの注油	48
12. 清掃	49
13. ミッションオイルの交換	50
14. 車輪止め	50
15. ゴムロール	50
16. オイルフィルタ	51
17. 長期格納時の手入れ	51
18. タイトバーボルト・ナットの点検	51
19. ローラチェーンの張り調整	52
20. タイトチェーンの張り調整	53
21. コンベアチェーンの張り調整	54
22. Vベルトの張り調整	54
23. コンベアベルトの張り調整	55
24. リモコンの設定方法	55
25. グリスアップ・グリス塗布・注油	56
不 調 診 断	58
付 表	66
1. 主要諸元	66
2. 主な消耗品	67
3. 油圧回路図（ロールベアラ）	69
4. 油圧回路図（ラップマシーン）	70
5. 電気配線図（ロールベアラ）	71
6. 電気配線図（ラップマシーン）	72

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

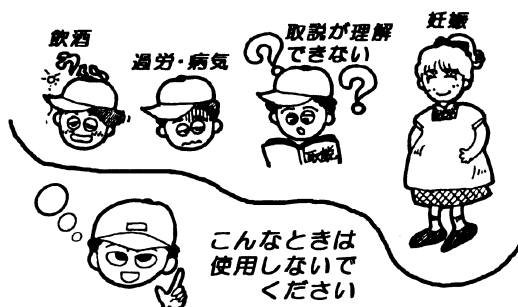
機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

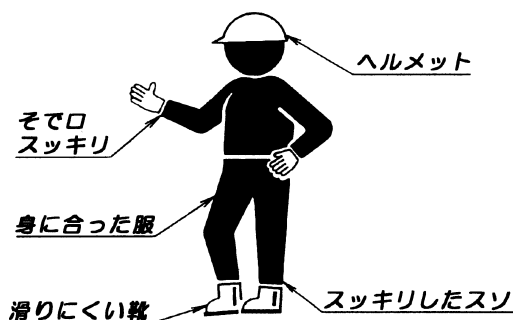
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力(kW{PS})

型 式	適 応 ト ラ ク タ
MW1011H	25.7～73.6kW (35～100PS)

- 装着方式 : ドローバ
- P T O回転速度 : 400min⁻¹(rpm)
- 電源用バッテリー : DC12V

(4) 装着時の前後のバランス確認

トラクタに装着(連結)した作業機の最大積載状態において、トラクタ前輪にかかる荷重は、総重量の20%以上前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保するか、できなければ装着(連結)しないでください。

(5) バランスウェイトの取付け

トラクタのバランスウェイトは指定された部分に指定されたウェイト以外は取付けしないでください。

(6) 機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けしないでください。
また、改造をしないでください。

！安全に作業するために

(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は、細断されたコーンおよび牧草をロール成形型する作業を目的とした機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所で、PTOを切り、トラクタのエンジンを停止し、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。

(4) ナイフに注意すること

ナイフ類は、絶対に素手で触れないでください。必ず手袋などの保護具を着用してください。



(5) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいにしてください。

(6) 排気ガスには十分注意

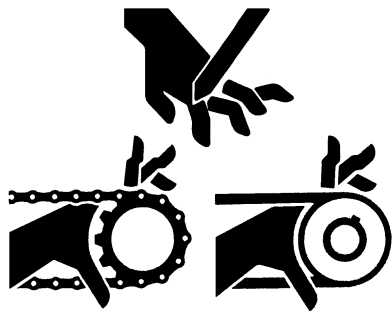
屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



⚠ 安全に作業するために

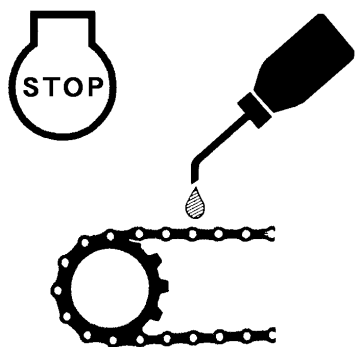
(7) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。
また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(8) 注油・給油するときは

チェーンへの注油は、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。

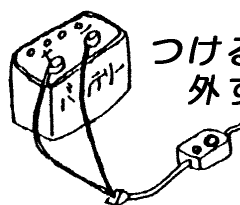


注意

各チェーン、各回転部分や摩擦しゅう動部分には十分注油してください。また、部品が摩耗したまま使い続けると、摩擦による加熱の原因となり、場合によっては火災となります。

(9) コントロールボックスの電源脱・着は トラクタのバッテリーより電源を取り 出します

取付けは、(+)側から行ってください。
外す時は、(-)側から行ってください。
逆にすると火花が飛び危険です。

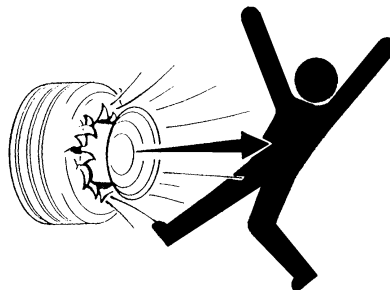


つける時は(+)側から
外す時は(-)側から



(10) タイヤの点検・修理をするときは

- ①タイヤの空気圧は、規定の空気圧を必ず守ってください。
- ②空気の入れ過ぎはタイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- ③タイヤに傷があり、その傷がコード(糸)に達している場合は使用しないでください。
タイヤ破損の恐れがあります。
- ④タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。



！安全に作業するために

(11) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部およびチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

コントロールボックスは屋内の乾燥した場所に保管してください。

3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

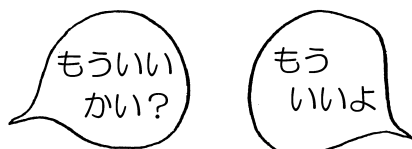
特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

(2) PTO回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

PTOを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(5) 急な発進・停止・旋回・

スピードの出しすぎ禁止

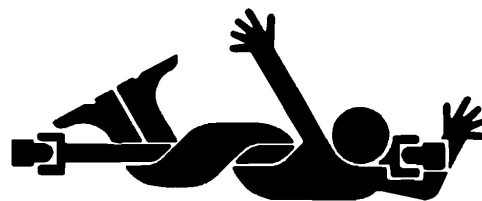
スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(6) 回転中のユニバーサルジョイントには

触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



(7) 傾斜地を移動するときは

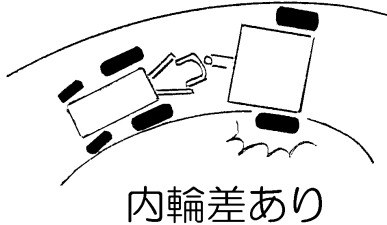
次のことを必ず守ってください。

- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の移動は、必ず等高線に直角方向に走行してください。
- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。守らないと、転倒する危険があります。
- ③ 過負荷がかかり機材を破損させる恐れがありますので、傾斜地での作業はやめてください。

！安全に作業するために

(8) 移動および作業の旋回的时候は

トラクタに本機をけん引して旋回するときは、内輪差が生じるので十分注意してください。急旋回は危険ですので行わないでください。



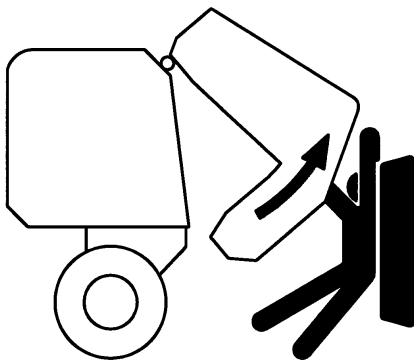
(9) シェアボルトの交換的时候は

PTOを切り、エンジンを必ず停止し、回転部が完全に停止してから行ってください。



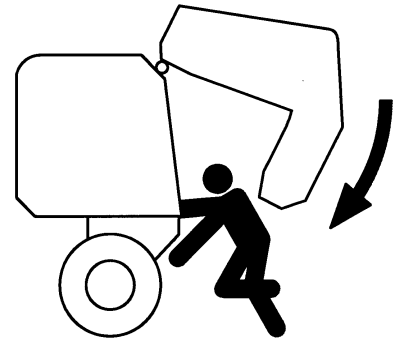
(10) ロールベールを放出するときは

ロールベールの放出は、後方に人がいないことや、障害物のないことを十分確認し、放出距離を考慮して放出してください。



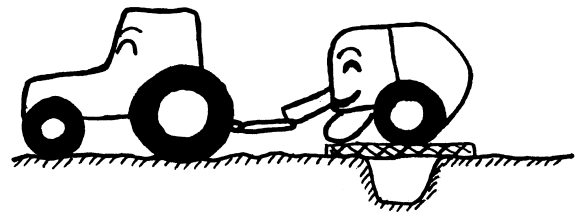
(11) チャンバーを開けて作業するときは

シリンダーバルブを必ず左右共にロックしてください。おこたると重大な傷害発生のおそれがあります。



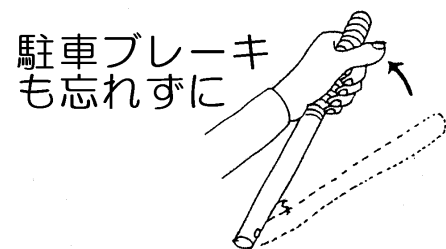
(12) 溝や畦を横断したり

軟弱な所を通るときはスリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(13) 作業途中で運転席より離れるときは

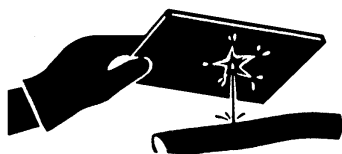
平坦な場所に停止し、PTOを切りエンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、本作業機側に車止めをしてください。



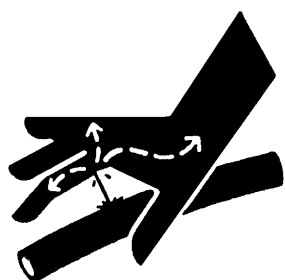
！安全に作業するために

(14) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油による傷害を防止するために配管・ホースなどの取り外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締め付けてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。
手で油漏れを探すことはやめてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医療機関を受診してください。



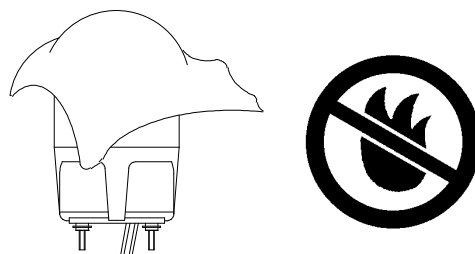
(15) 高温油に注意してください

- ①高温油による傷害を防止するために、作業直後の注油やミッションのオイル交換はしないでください。作業前か十分温度が冷えてから行ってください。
- ②火傷やケガを負った場合は、速やかに医療機関を受診してください。



(16) 回転灯が点灯している時は

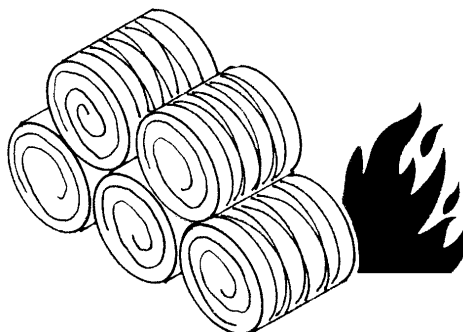
紙や布などの燃えやすいものをかぶせないでください。
発火の原因となります。



(17) 乾草に注意

乾燥不十分な牧草をロールベールに成形すると、ロールベール内部からの発火により火災が発生する危険があります。

ロールベール成形後2～3日間は、風通しの良い屋外に仮置きした後、屋内に収納してください。

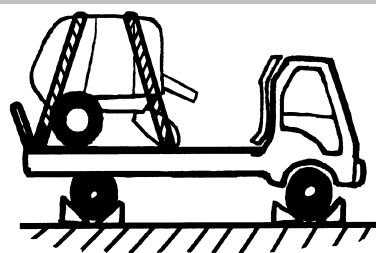


！ 安全に作業するために

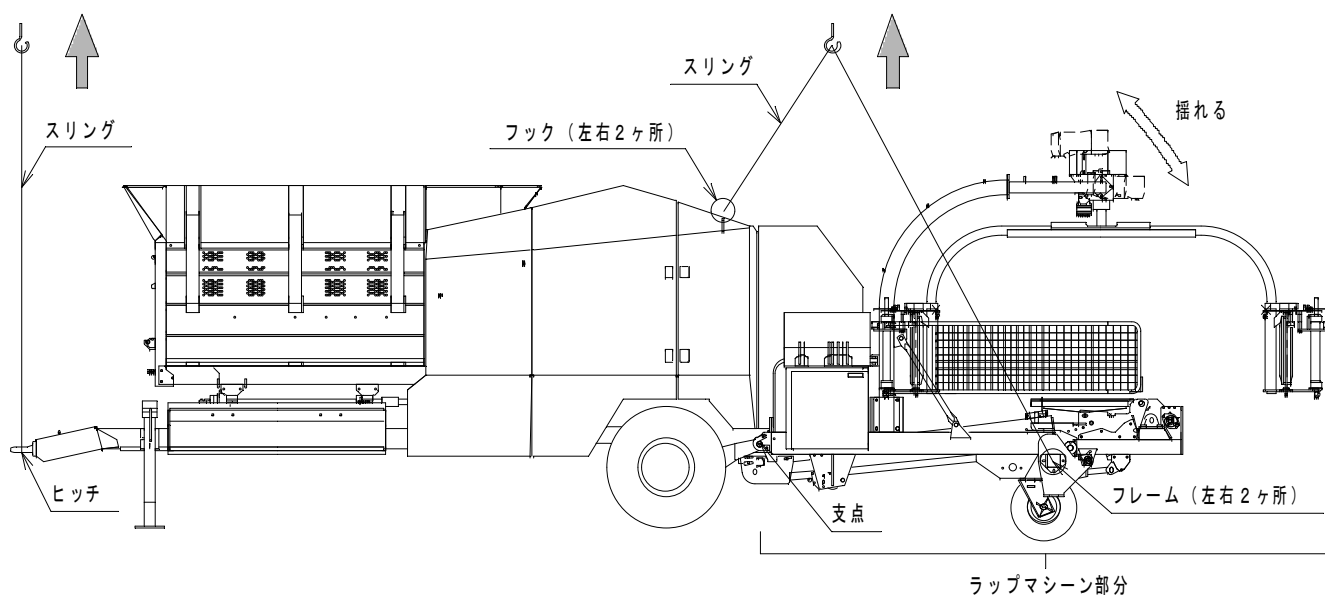
4. 輸送するときは

(1) トラックなどへの積み込み・降ろし

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



(2) 機材の吊り上げは必ず指定の要領に基づいて行ってください。



- ・ 指定の箇所を吊り上げてください。
- ・ 2台のクレーンで吊り上げてください。
- ・ ラップマシーン部分は支点を中心に上下に揺れますのでスリングは適正な長さに調節してください。

！ 警告

MW1011Hの走行は時速10km以内です。これを超えますとラップマシーンのキャスターがビビり機体が激しく振動します。

安全に作業するために

5. 公道走行するときは

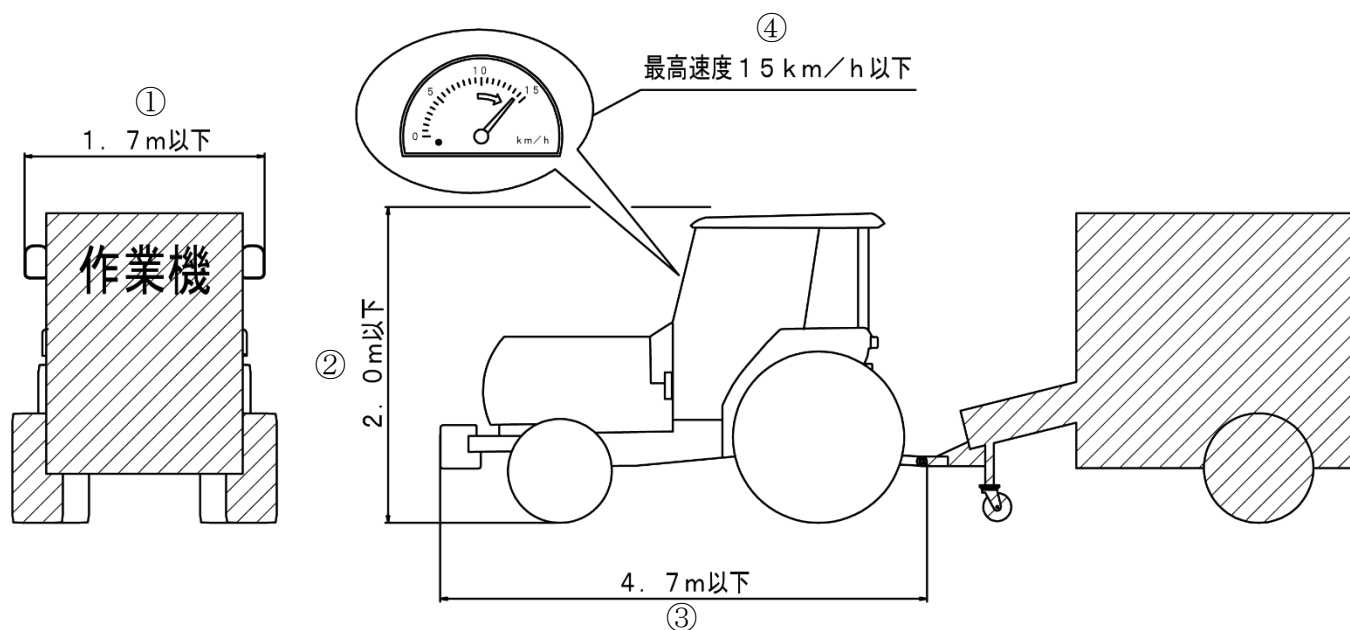
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、けん引タイプの作業機で公道走行を行うことができます。公道走行をする際は、下記項目を確認した上で必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

(1) 必要な運転免許証について

トラクタの寸法が下表①～③の数値以内で④最高速度15km/h以下の場合は小型特殊免許で運行可能になりますが、下表①～④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)とけん引免許(農耕用に限る、も含む)が必要となります。ただし、車両総重量750kgを超えない農耕作業用トレーラをけん引する場合、けん引免許(農耕用に限る、も含む)は必要ありません。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ① 幅1.7m | ② 全高2.0m(安全キャブや安全フレームは2.8m) |
| ③ 全長4.7m | ④ 最高速度15km/h以下 |

次図を参考にご確認ください。



安全に作業するために

(2) 保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。

いずれの場合も農耕作業用トレーラ、農耕トラクタの使用者が保安基準適合性を確保する必要があります。

けん引車の農耕トラクタの種別	農耕作業用トレーラの種別と手続き
小型特殊自動車	[小型特殊自動車] <u>①一般的な大きさのもの ※1</u> ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要はありません。
大型特殊自動車 (自動車検査証にけん引時の速度制限の基準緩和を受けた旨の記載があるもの)	<u>②全幅が2.5mを超えるもの</u> ・道路管理者(地方整備局、各都道府県、各市町村等)に対し、個別に特殊車両通行許可を受ける必要があります。 <u>③長さが12mまたは全高3.8mを超えるもの</u> ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。
大型特殊自動車 (上記以外のもの)	[大型特殊自動車] <u>①一般的な大きさのもの ※2</u> ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 <u>②長さが12mまたは高さが3.8mを超えるもの、その他オーバーハング等の基準を超えるもの</u> ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。

※1 全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを超えない大きさのもの

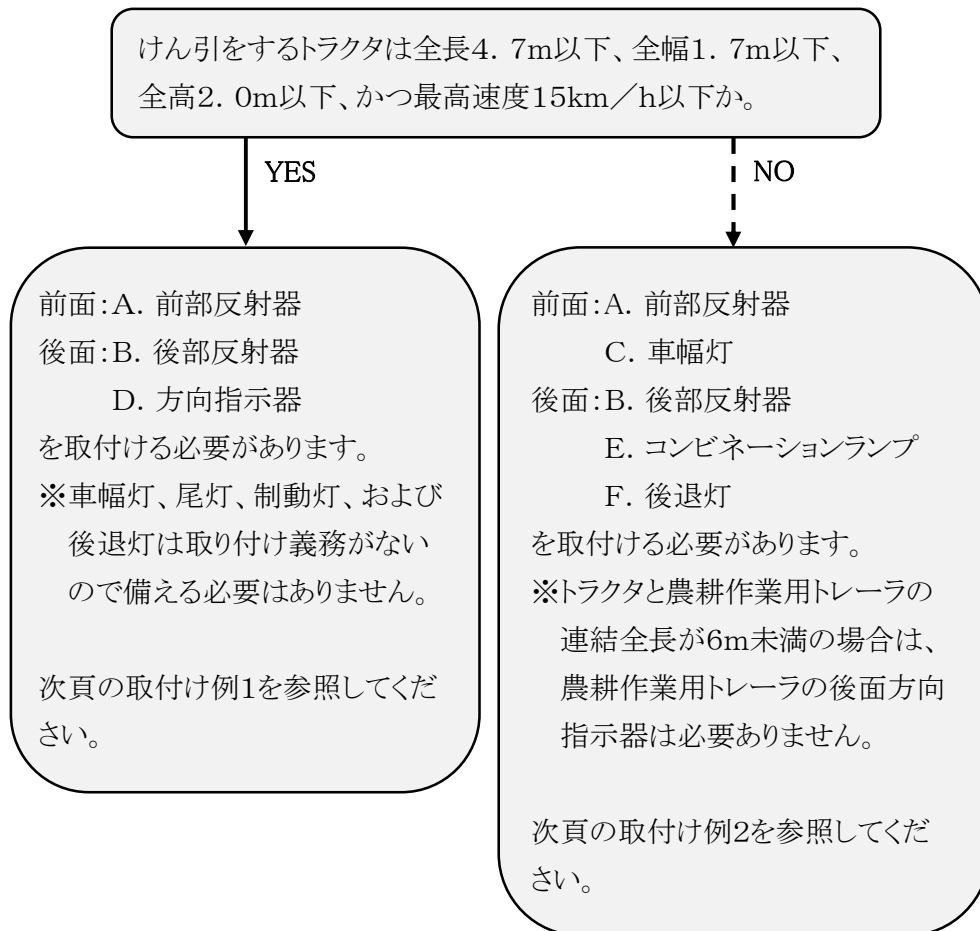
※2 農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結全長が12mを超える場合、道路管理者(地方整備局、地方自治体等)から、特殊車両通行許可を受ける必要があります。

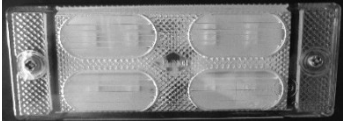
！安全に作業するために

(3) 灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート①～③を全てそれぞれについてご確認ください、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

①トラクタの大きさ、最高速度による灯火器取付け位置



A.前部反射器	B.後部反射器	C.車幅灯	D.方向指示器
			
E.コンビネーションランプ		F.後退灯	
			

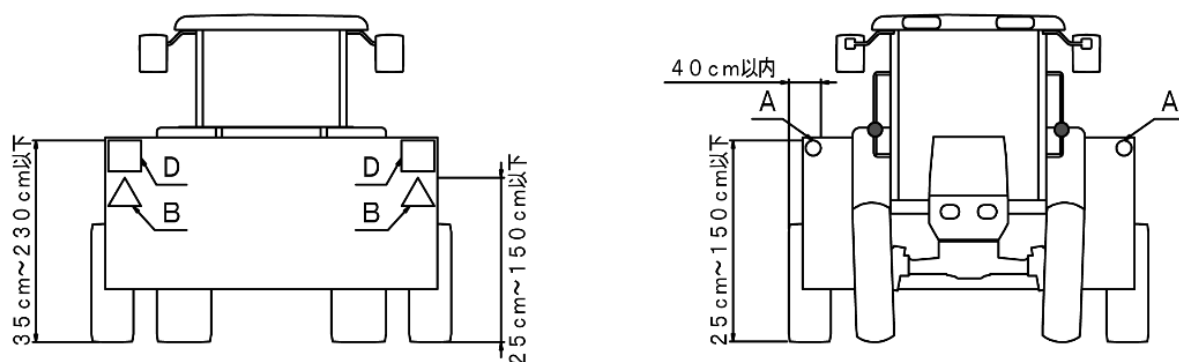
⚠ 安全に作業するために

● 装備の取付け位置

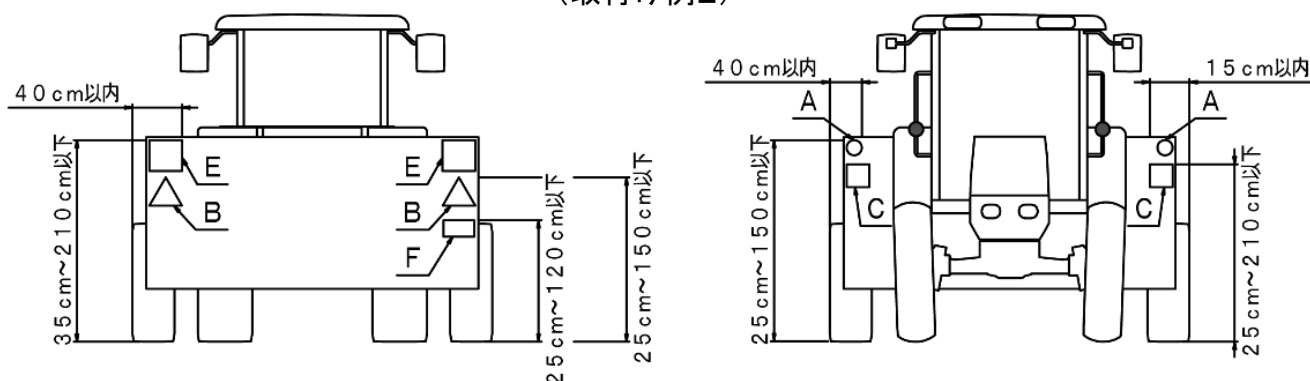
- ・ 道路運送車両の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。

○ 前部反射器(リフレクター)	最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
○ 後部反射器(リフレクター)	最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
○ 車幅灯(ポジションランプ)	最外側から15cm以内、高さは地上25cm以上210cm以下
○ 方向指示器(ウインカー)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
○ 尾灯(テールランプ)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
○ 制動灯(ブレーキランプ)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
○ 後退灯(バックランプ)	高さは可能な限り25cm以上120cm以下
- ・ 車幅灯は前方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ コンビネーションランプは後方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ 後退灯は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

(取付け例1)

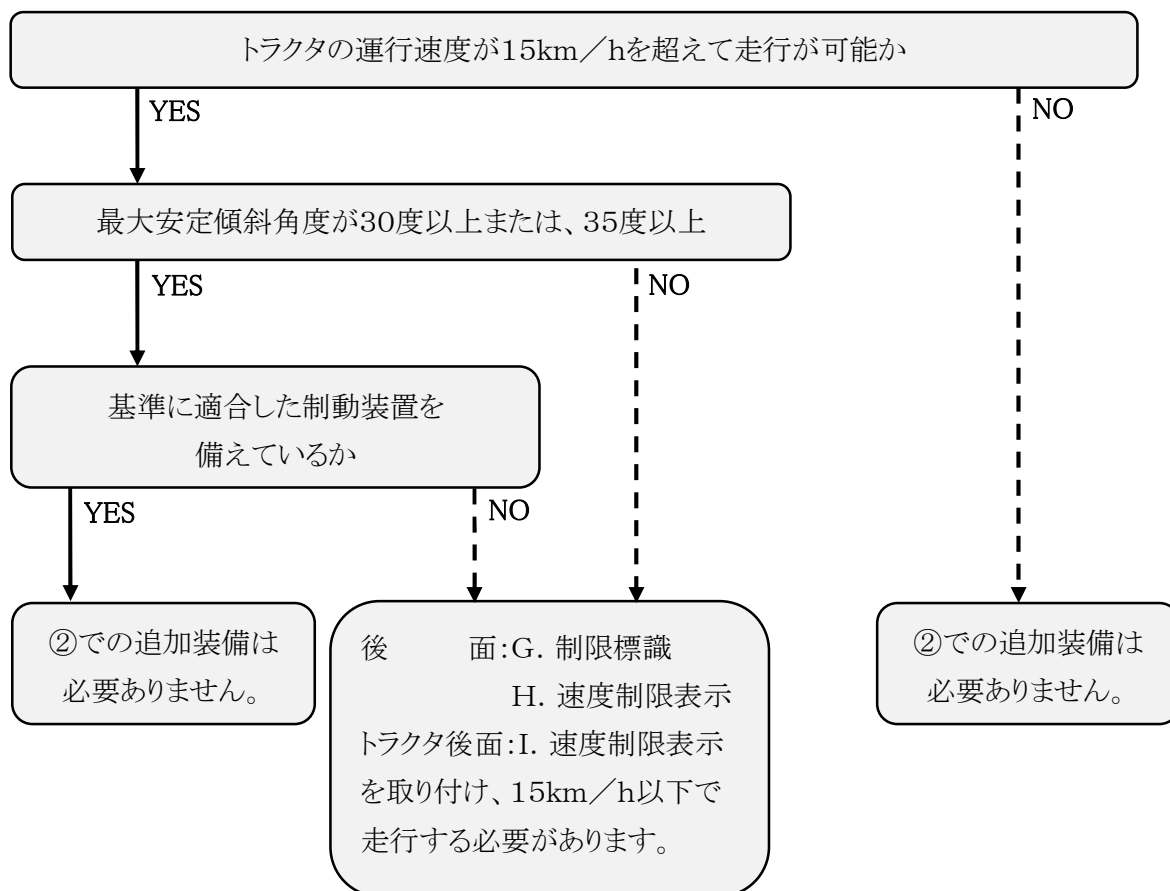


(取付け例2)



安全に作業するために

②トラクタの運行速度



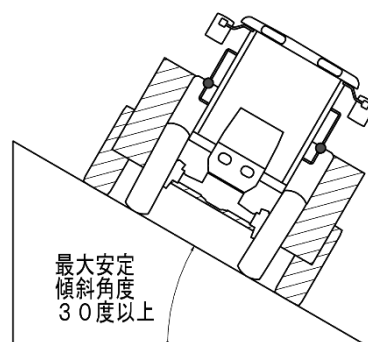
●最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h以下で走行してください。

<安定性に関して>

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上(車両総重量が車両重量の1.2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの)であれば、通常の方法で道路走行できます。

上記条件を満たさない場合は、

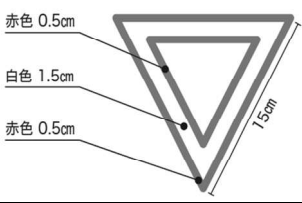
- ・運行速度15km/h以下での道路走行
- ・道路走行をする際に、Gを作業機後面に表示、
Hを作業機後面に表示、
Iをトラクタ後面・運転席に表示
を行う必要があります。

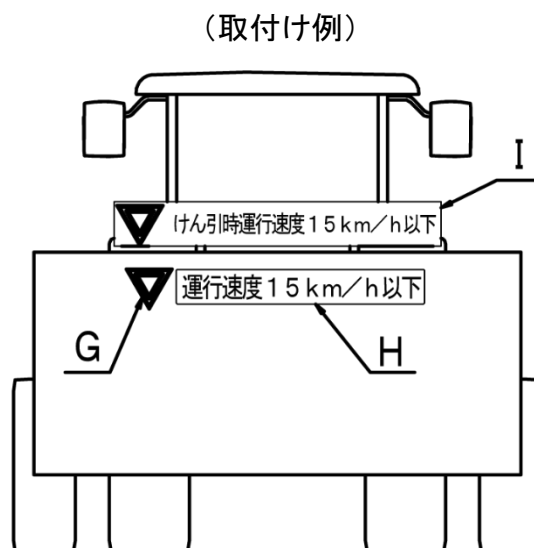


⚠ 安全に作業するために

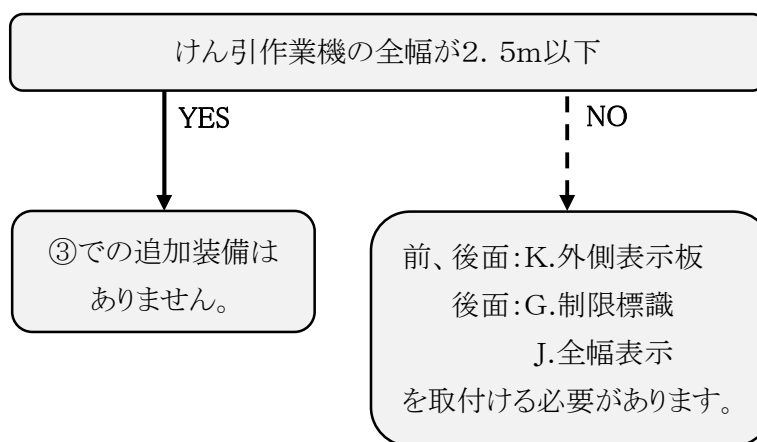
● 装備の取付け位置

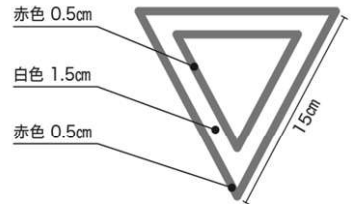
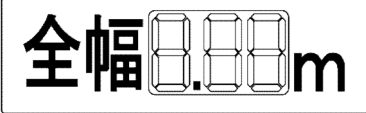
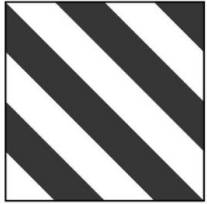
- ・ G、H、Iは後方から確認できる位置に取付けてください。
- ・ Hは運転席にも表示する必要があります。

G. 制限標識	H. 速度制限表示（作業機側）
	
I. 速度制限表示（トラクタ側）	
	



③ 作業機装着時の全幅



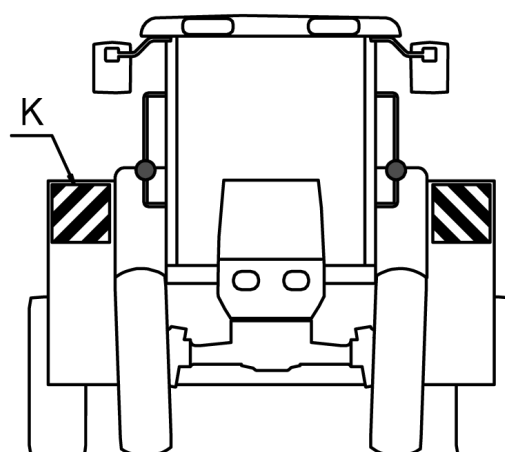
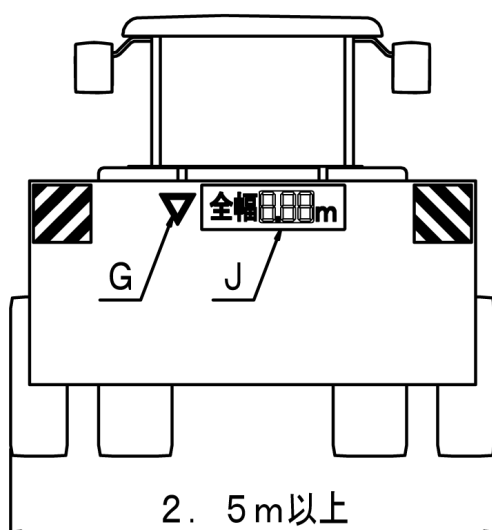
G. 制限標識	J. 全幅表示	K. 外側表示板
		

！安全に作業するために

● 装備の取付け位置

- ・ G、Jは後方から見やすい位置に取付けてください。
- ・ Kは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

(取付け例)



！安全に作業するために

灯火器類・ステッカー取り付け例

灯火器取付け位置 車幅灯 前部反射器 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器 後退灯	全長4.7m以下、 全幅1.7m以下、 全高2.0m以下、 最高速度15km/h 以下の場合	(ア)
	上記の寸法 または最高速度 15km/hを1つでも 上回る場合	(イ)
	全幅が2.5mを 超える場合	(ウ)

灯火器・ステッカー

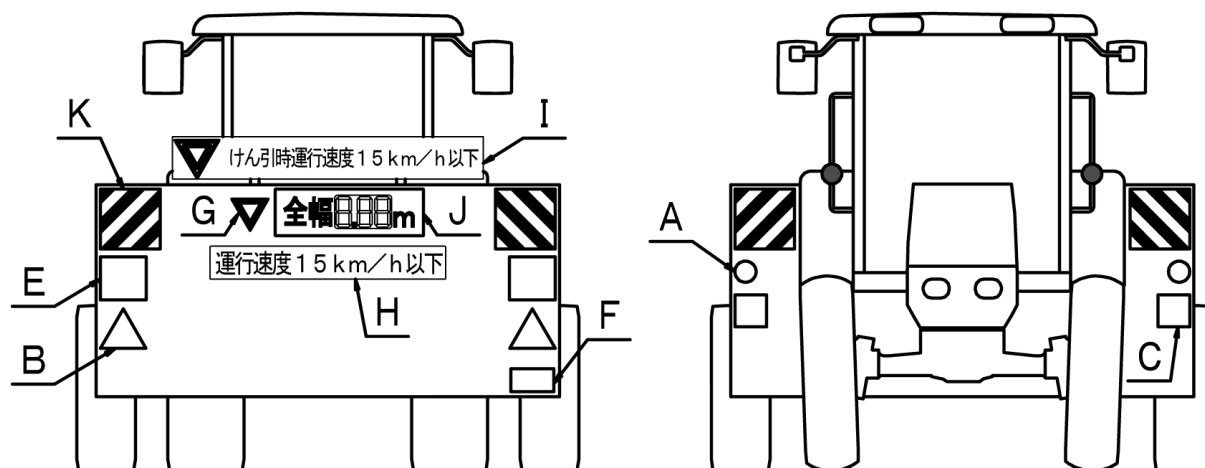
A. 前部反射器	B. 後部反射器	C. 車幅灯	D. 方向指示器	E. コンビネーションランプ
F. 後退灯	G. 制限標識	H. 速度制限表示 (作業機側) 運行速度15 km/h以下	I. 速度制限表示 (トラクタ側) けん引時運行速度15 km/h以下	
J. 全幅表示 全幅8.88m	K. 外側表示板			

※全幅2.5mを超過する場合は、道路管理者(国道:地方道路局、県道:各都道府県、市道:各市町村)から特殊車両通行許可を得る必要があります。

！安全に作業するために

●p.12「②トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

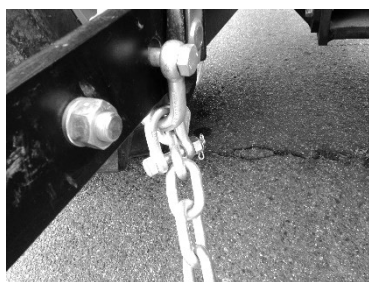
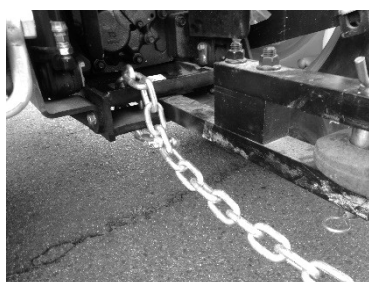
例：(ウ)に速度制限表示を追加



●灯火器類取付けの際には、トラクタの操作と連動して点灯することを確認後に公道走行を行ってください。また、灯火器類・ステッカーが汚れたときは視認できるように掃除をしてください。

(4) 農耕作業用トレーラの構造要件(分離時の連結維持構造)に関して

農耕トラクタが農耕作業用トレーラをけん引した際に、不意に連結装置(ドローバ等)が分離したときでも農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結を保つことができる構造でなければ道路走行できません。セーフティチェーン等を備え、けん引時にはセーフティチェーン等をねじ止め等でつないで道路を走行してください。



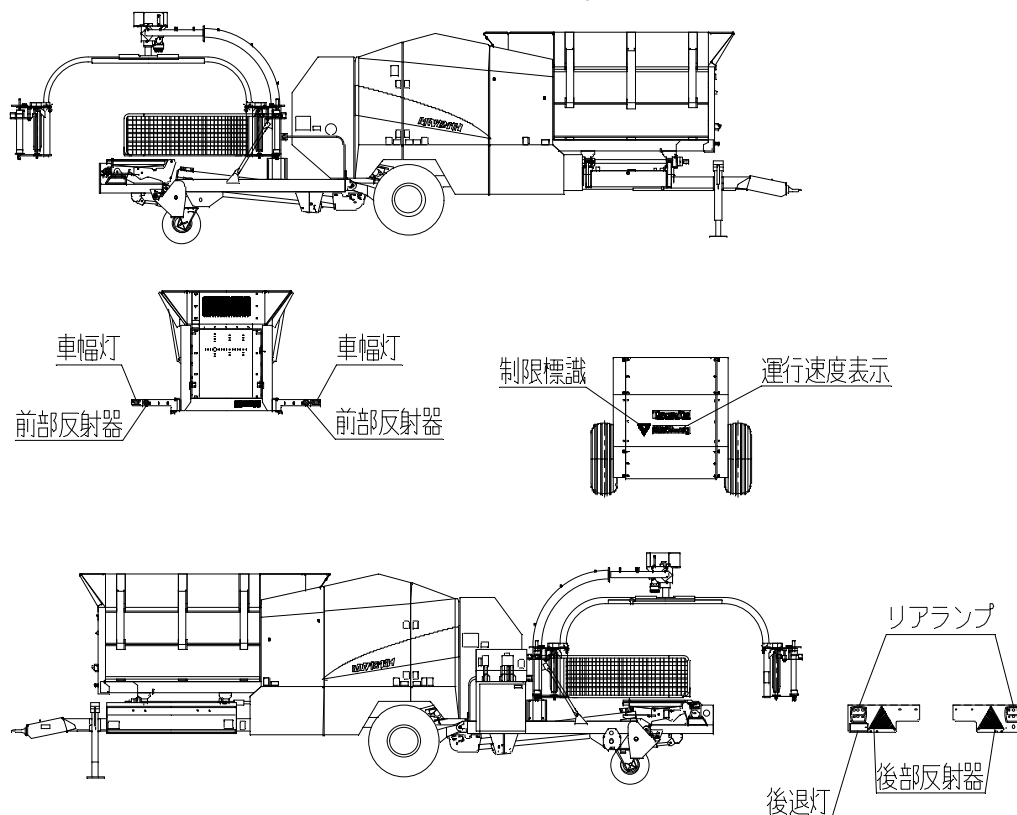
セーフティチェーン

詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>)をご覧ください。
その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

! 安全に作業するために

(5) 公道走行時の注意点

本機には、下記部品が標準装備されています。保安基準の緩和により運行速度 15km/h以下で公道走行することができます。



また、トラクタと作業機を連結するためのセーフティーチェーンと固定用のシャックルを付属しています。作業機をトラクタでけん引して公道走行する際は必ず取付けてください。取付方法については、28ページの『セーフティーチェーンの接続』を参照してください。

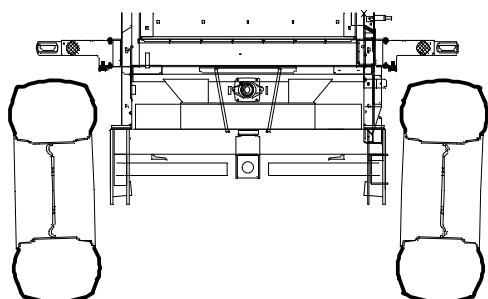
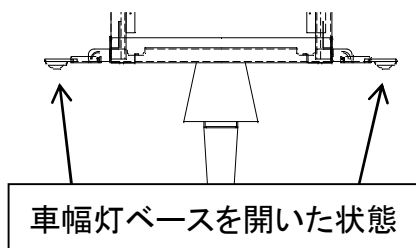
公道走行する際はパトライトを取外す必要があります。パトライトのコネクタとブボルトを取外し、パトライトベースごとパトライトを取外してから公道走行を行ってください。

⚠ 安全に作業するために

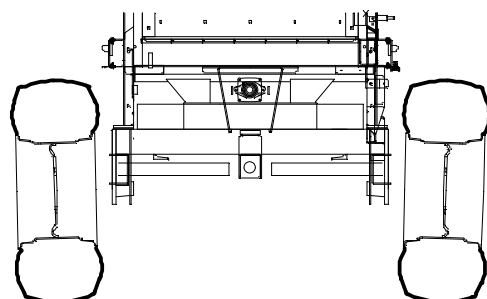
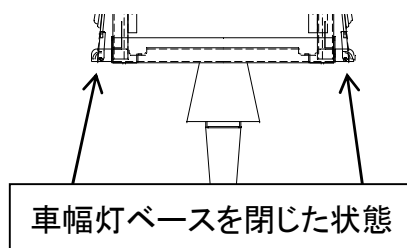
公道走行時、車幅灯は機体前方から視認できなければなりません。車幅灯ベースは開いた状態で走行してください。（下図左の通り）

（車幅灯ベースの取扱いについては、36ページを参照）

下図の状態で公道走行してください



この状態では公道走行できません



トラクタ運転席に表示する、運行速度表示が付属しています。

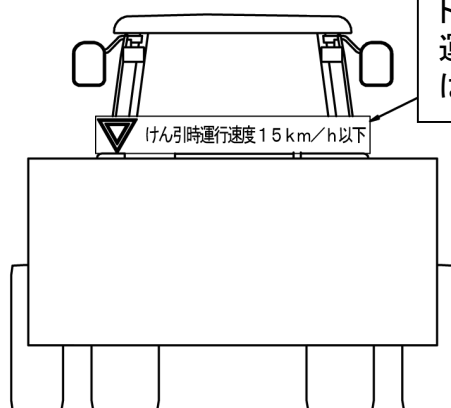
運行速度表示(トラクタ運転席用)

けん引時運行速度15km/h以下

上記、運行速度表示は運転席から確認できる位置に表示してください。

ただし、トラクタ後面に表示する運行速度表示及び制限標識は付属されていません。

お客様ご自身でご用意ください。



トラクタ後面に表示する
運行速度表示と制限標識
は各自ご用意ください

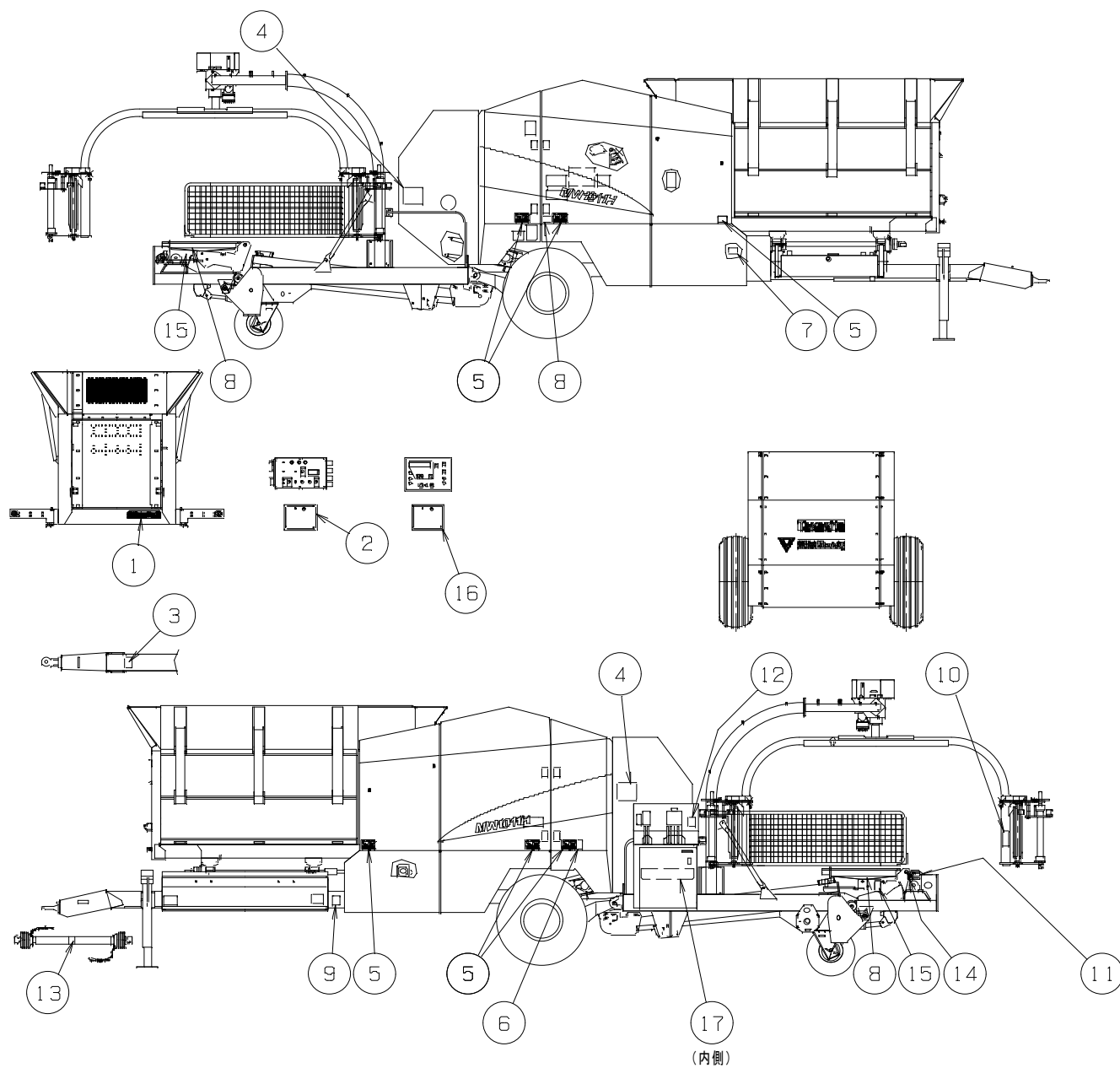
以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

安全に作業するために

6. 警告ラベルの貼付け位置



安全に作業するために

①部品コード 001306200541

⚠ 注意		⚠ 警告		⚠ 危険
1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟読するまでも読めください。	エンジン停止し、駐車ブレーキをかけてください。			点検時 エンジン 停止
2. 各部のオイルの指定部分に漏れは られているようにしてください。	6. 制御や駆動時は止しめをしてく ださい。			
3. エンジン始動前に機体の周りに入 り込まないことを確認してください。	7. 点検・調整等はエンジンを止めて 実施してください。			
4. 作業中は人や動物を近づけないで ください。	8. 手、足及び衣服を運動部分に近づ けないうちにしてください。			
5. 運転時を離れるときは、必ず 公道走行はできません。	9. 規定事項を厳守しないう て公道走行はできません。			
	PTO回転速度は 400min ⁻¹ (rpm) 以下で作業してください。			
		・巻き込まれてケガをする恐れがある ので回転中は近づかないでください。 ・カバーは、常に装着してください。	・作業を以ての人や動物を近づけない こと。	・エンジンかけたまま点検や整備を するとケガをするおそれがあります。 ・かならずエンジンを停止してキー を抜いてください。
				転落事故を防ぐためには急降や 急加速時にトラクタの運動の予 上から十分な余裕でブレーキ を踏みます。

②部品コード 001208001420




緊急停止確認ランプ 緊急停止解除スイッチ

送信機の緊急停止スイッチを押すと”緊急停止確認ランプ”
が点灯し、作業を停止します。
”緊急停止解除スイッチ”を押すと緊急停止を解除し、作業
を再開します。

⚠ 警告

”緊急停止解除スイッチ”を押す時は必ずトラクタPTO
を切ってください。動力がつながりローラベアラが稼働し
ますので大変危険です。

③部品コード 001206001020

⚠ 警告



運転中はステップに頼らないで下さい。
乗ると落下し機械に巻き込まれ
重傷を負うおそれがあります。

④部品コード 001206001350

⚠ 危険



・チャンバーに接近するな。
・人や動物がまわりをいらないことを確認して周囲を。
・動いたチャンパーの力で作業する前にシンク・ロックを確認し。
・点検、調整時はPTOを切り、エンジンを停止させてください。
・注意をおたると重大な傷害発生のおそれがあります。

⑤部品コード 001306200360

⚠ 注意



●カバーは常に装着してください。
●はずしたままで運転するとケガを
するおそれがあります。

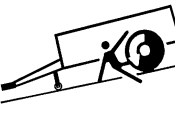
⚠ 警告



●ベルト・チェーンが回転中は、
手や足を近づけないでください。
●接触するとケガをするおそれ
があります。

⑥部品コード 001206000750

⚠ 警告



事故発生の恐れがあります
ので、駐車・停車時には必
ず車輪止めをしてください。

⑦部品コード 001206000610

⚠ 警告



巻き込まれてケガをする
恐れがあるので回転中は
近づかないでください。
カバーは、常に装着して
ください。

⑧部品コード 001206000561

⚠ 注意



・鋭利な刃物のため、点
検・取換え時は十分注
意してください。
・注意を怠ると傷害発生
の可能性がります。

⑨部品コード 001306000080

⚠ 警告



●ベルト・チェーンが回転中は、
手や足を近づけないでください。
●接触するとケガをするおそれ
があります。

⑩部品コード 001206000372

⚠ 危険



作業中近づかないでください
注意をおたると重大な
傷害発生のおそれがあります。

⑪部品コード 001306000200

⚠ 注意

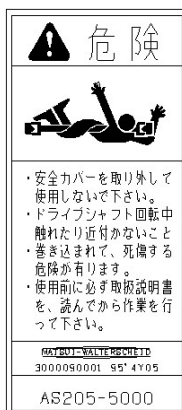
・必ず指定 ボルトを使用し て下さ
い。
・シェアボルトの交換の際には、
必ずエンジンを止めてから行な
って下さい。

！ 安全に作業するために

⑫部品コード 001306000190

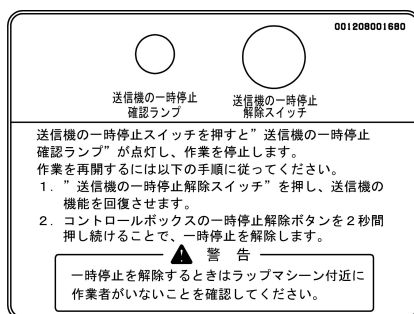
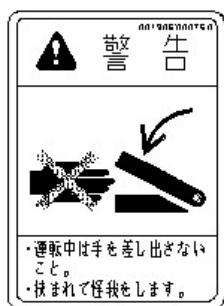
⑬部品コード 001306951010

⑭部品コード 001306000070

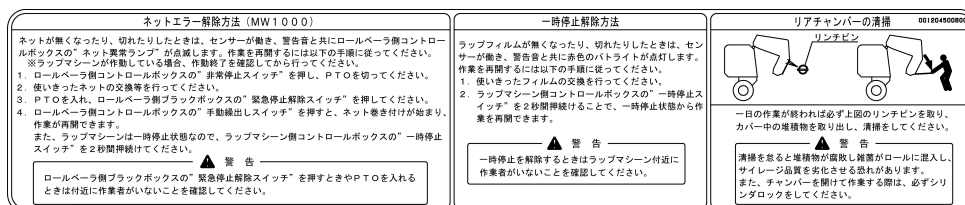


⑮部品コード 001306000790

⑯部品コード 001208001680



⑰部品コード 001204500800



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにし傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。
(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、細断されたコーンおよび牧草の梱包にご使用ください。

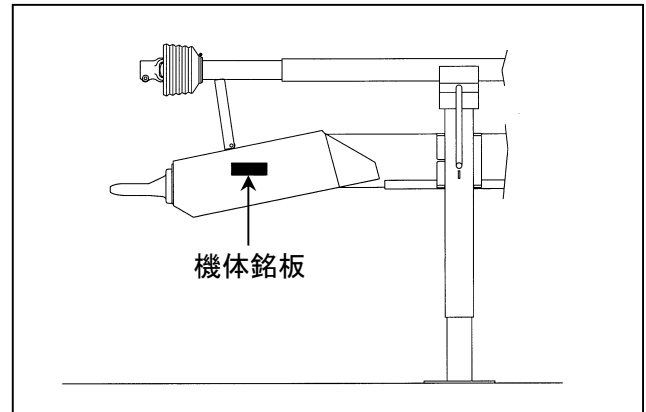
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、J A (農協)、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
- 機体 No. (S E R - N o)
- ご使用状況は? (どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか? (約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

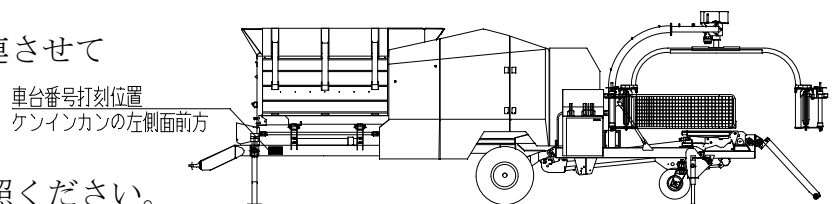
品 名	細断型コンビラップ		
型 式	M W 1 0 1 1 H		
機 体 No. (S E R - N o.)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL : ()		

車台番号について

本製品には、上記機体 No.と関連させて

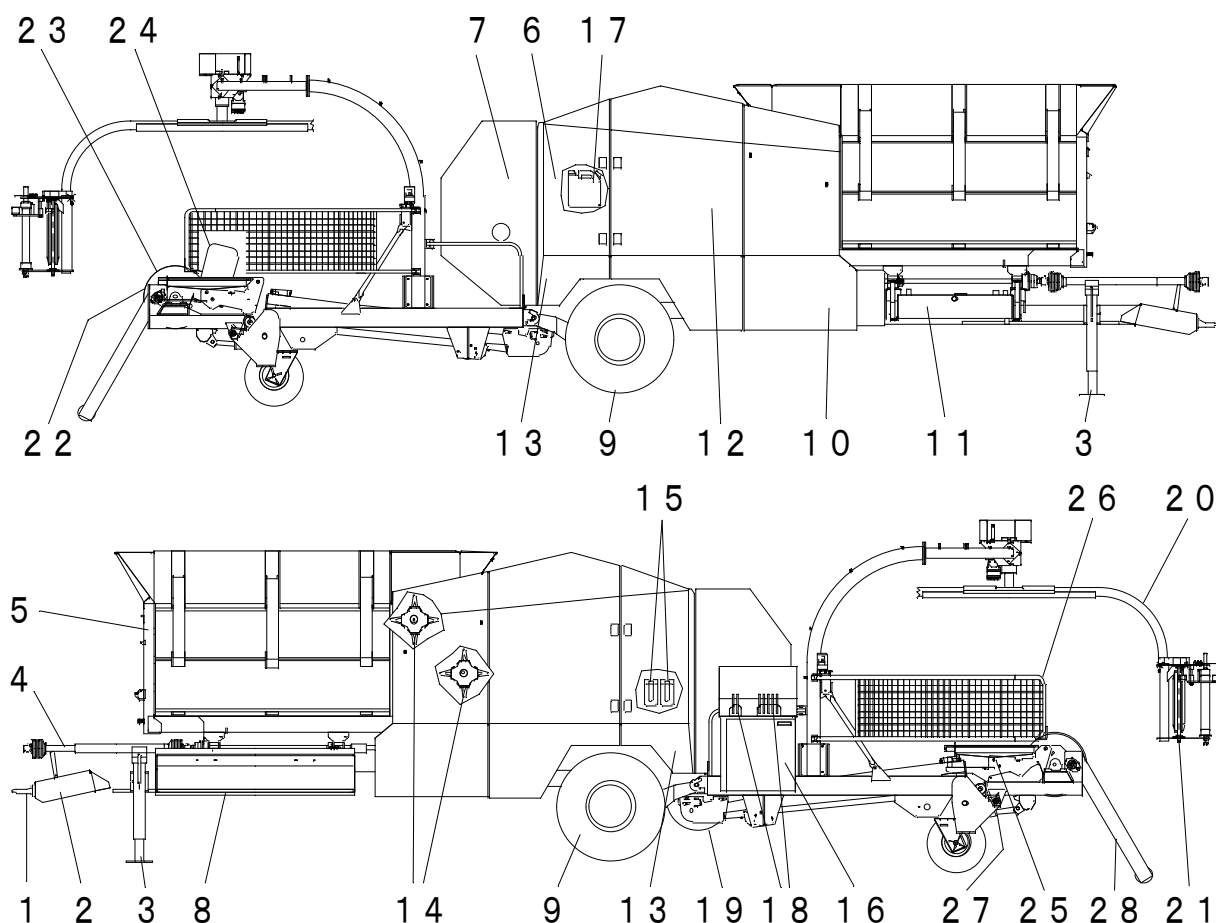
機械の同一性を管理する車台
番号が打刻されています。

打刻位置と打刻形式は右図を参照ください。



型式	MW1011H
車台番号	MW1010-*****

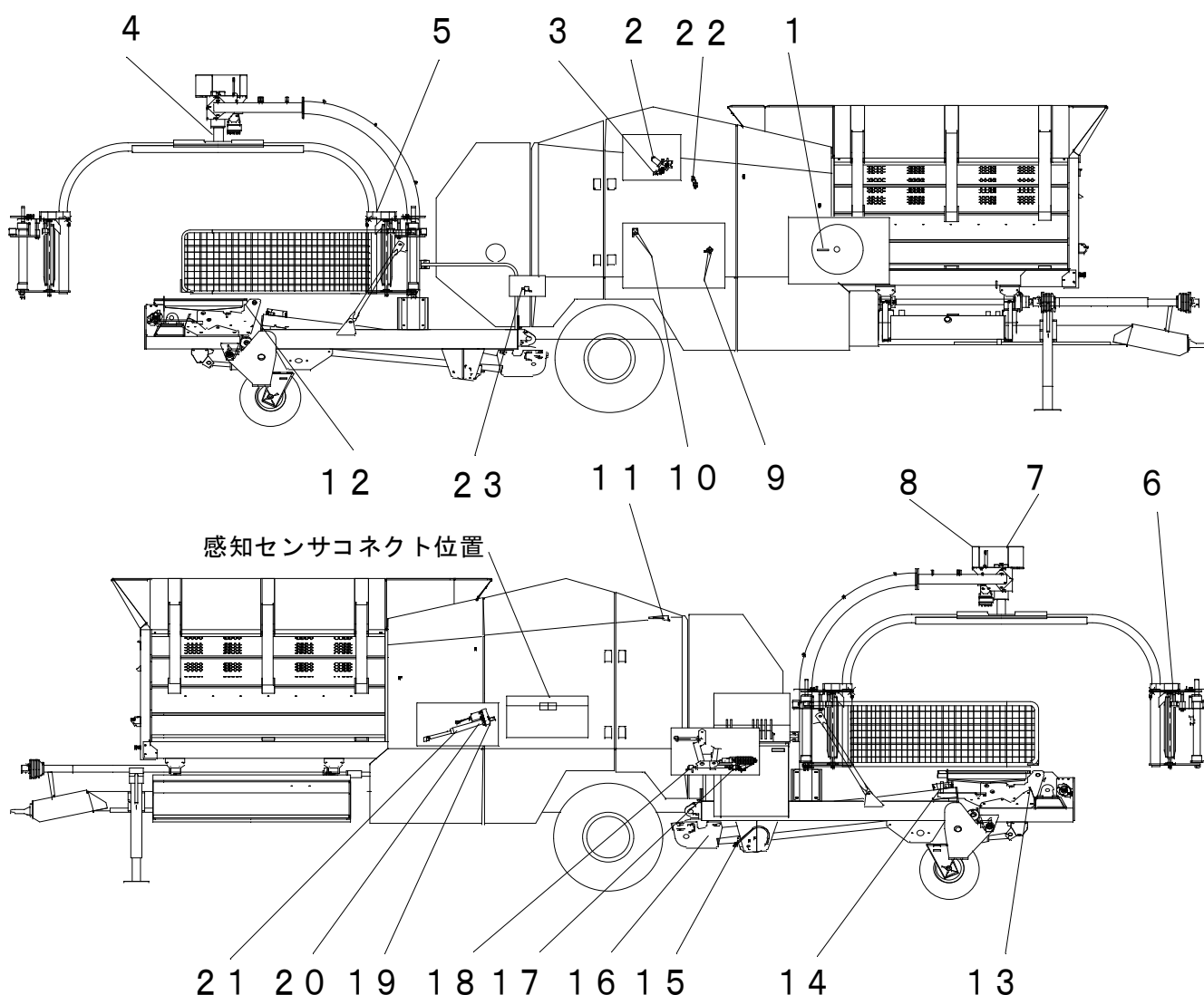
各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
1	ヒッチ	トラクタと連結する
2	けん引フレーム	全体の構造部を保持する
3	スタンド	ヒッチを上下する。トラクタの脱着時および保管時に使用する
4	ユニバーサルジョイント	トラクタからの動力を伝える
5	ホッパー	収穫物を投入します
6	フロントチャンバー	成形室の前部分
7	リアチャンバー	成形室の後部分
8	ネットボックス	ネットを収納する。
9	タイヤ	低圧広幅タイヤでほ場を傷めません
10	油圧ポンプ	トラクタの動力より油圧を発生させる
11	油圧タンク	油圧作動油を入れます
12	ネット装置	ネットでロールベアラを梱包する
13	シリンダストップバルブ	リアチャンバーを上げて点検するときシリンダストッパーで固定する
14	アジテータ	ネットホサキセンサによる制御で収穫物を送り込む
15	車輪止め	駐車時に車輪止めをしてください
16	コントロールボックス	ロールベアラおよびラップマシンの操作を行う
17	注油タンク	タイトチェーンへ給油するオイルを入れます (エンジンオイル5W-30または10W-30を4ℓ)
18	バルブ操作レバー	本機側でストレッチアームなどを操作する手動レバー
19	搬送ローラ	ロールを後方に搬送するローラ
20	ストレッチアーム	回転して、フィルムをベールに巻き付ける

各部の名称とはたらき

番号	名 称	は た ら き
21	ストレッチブラケット	フィルムをセットする、およびフィルムを引き伸ばす
22	テーブルベルト	ロールベールを回転させる
23	テーブルローラ	ロールベールを回転させるローラ
24	サイドローラ	ロールベールの横ずれ防止
25	グリップカッター	フィルムをつかみ、切断する
26	安全ガード	ストレッチアーム回転範囲、立入禁止
27	ダンブ油圧シリンダ	テーブルを上下しロールベールを降ろす
28	キッカー	ロールベールの放出を補助します

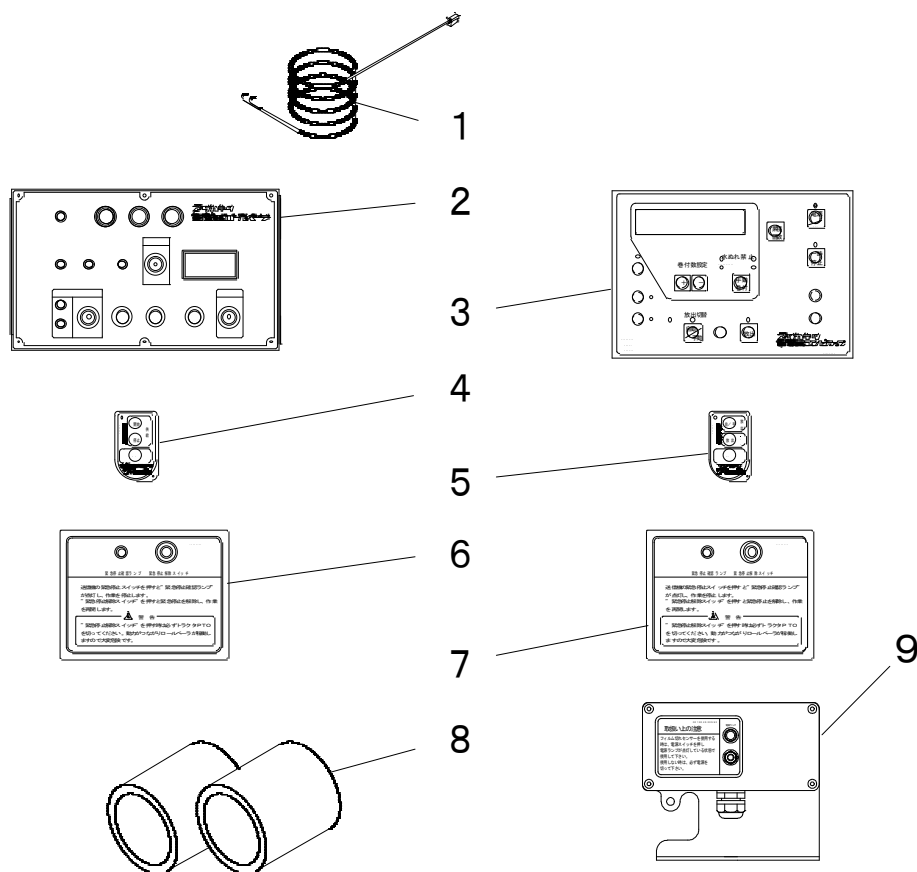


番号	名 称	は た ら き
1	アジテータ回転センサ	アジテータの回転を見るセンサ
2	電動モータ	カムを回転させるモータ
3	カムスイッチ	カムが一回転したこと見るスイッチ
4	フィルム切中継センサ	フィルムの異常の感知を中継するセンサ
5	フィルム切Rセンサ	フィルムの異常を感知し回転を停止させるセンサ
6	フィルム切Lセンサ	フィルムの異常を感知し回転を停止させるセンサ
7	回転後センサ	ストレッチアームの回転を見るセンサ
8	回転前センサ	ストレッチアームの定位置を見るセンサ

各部の名称とはたらき

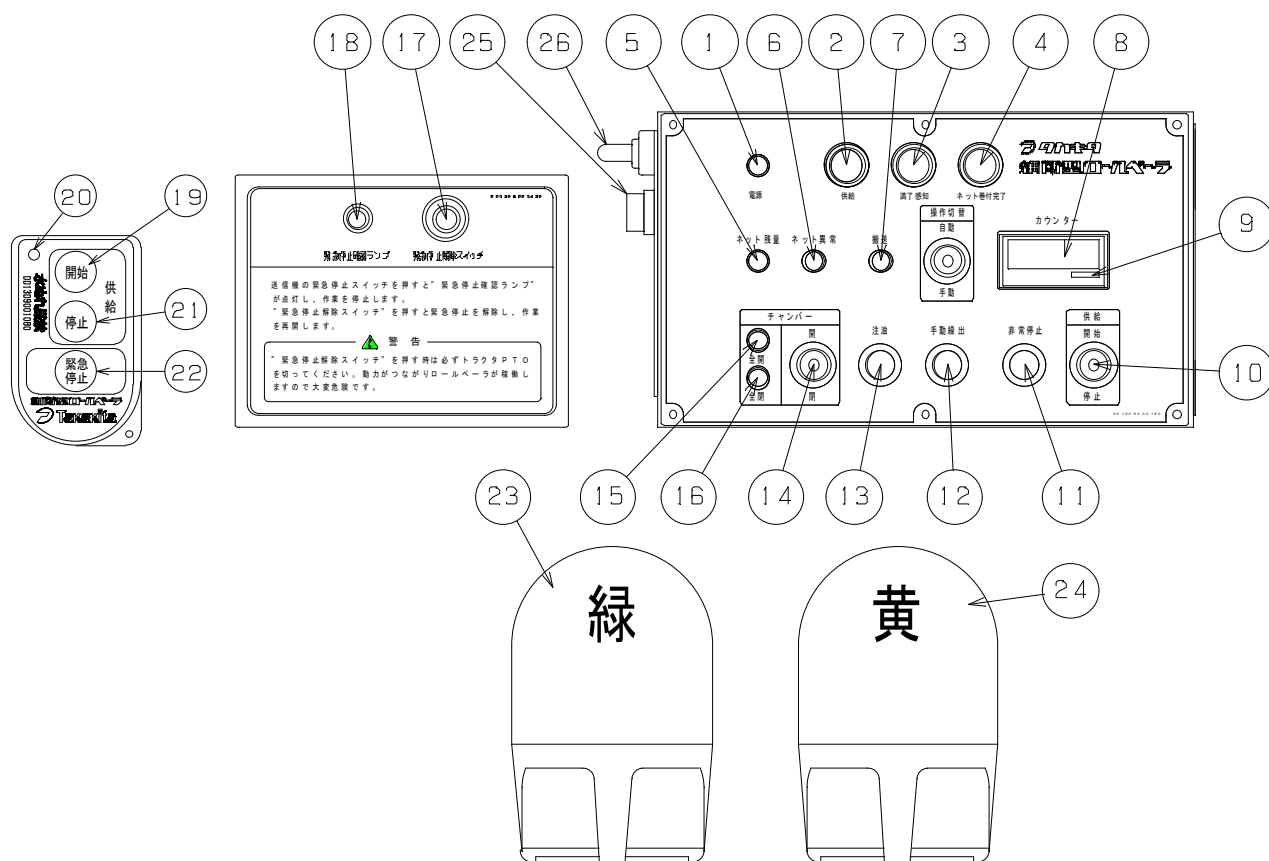
番号	名 称	は た ら き
9	ホッパーホサキセンサ	材料が流れていることを見るセンサ
10	ネットホサキセンサ	コンベアを止める・ネット巻きを見るセンサ
11	チャンバー開センサ	チャンバーが開いていることを見るセンサ
12	グリップカッタRセンサ	グリップカッタが下がったことを見るセンサ
13	グリップカッタLセンサ	グリップカッタが下がったことを見るセンサ
14	ローラ後方センサ	スライドローラが後方へ行ったことを見るセンサ
15	ロール検出センサ	ロールベールがチャンバーより出たことを見るセンサ
16	ローラ前方センサ	スライドローラが前方へ行ったことを見るセンサ
17	感知センサ	チャンバー内の材料の満了を見るセンサ
18	チャンバー閉Lセンサ	チャンバーが閉じていることを見るセンサ
19	電動シリンダ	ベルトのクラッチを制御する電動シリンダ
20	クラッチ入リードスイッチ	クラッチが入ったことを見るセンサ
21	クラッチ切リードスイッチ	クラッチが切れたことを見るセンサ
22	ネット残量センサ	ネットが残り少なくなったことを見るセンサ
23	チャンバー閉Rセンサ	チャンバーが閉じていることを見るセンサ

付属品



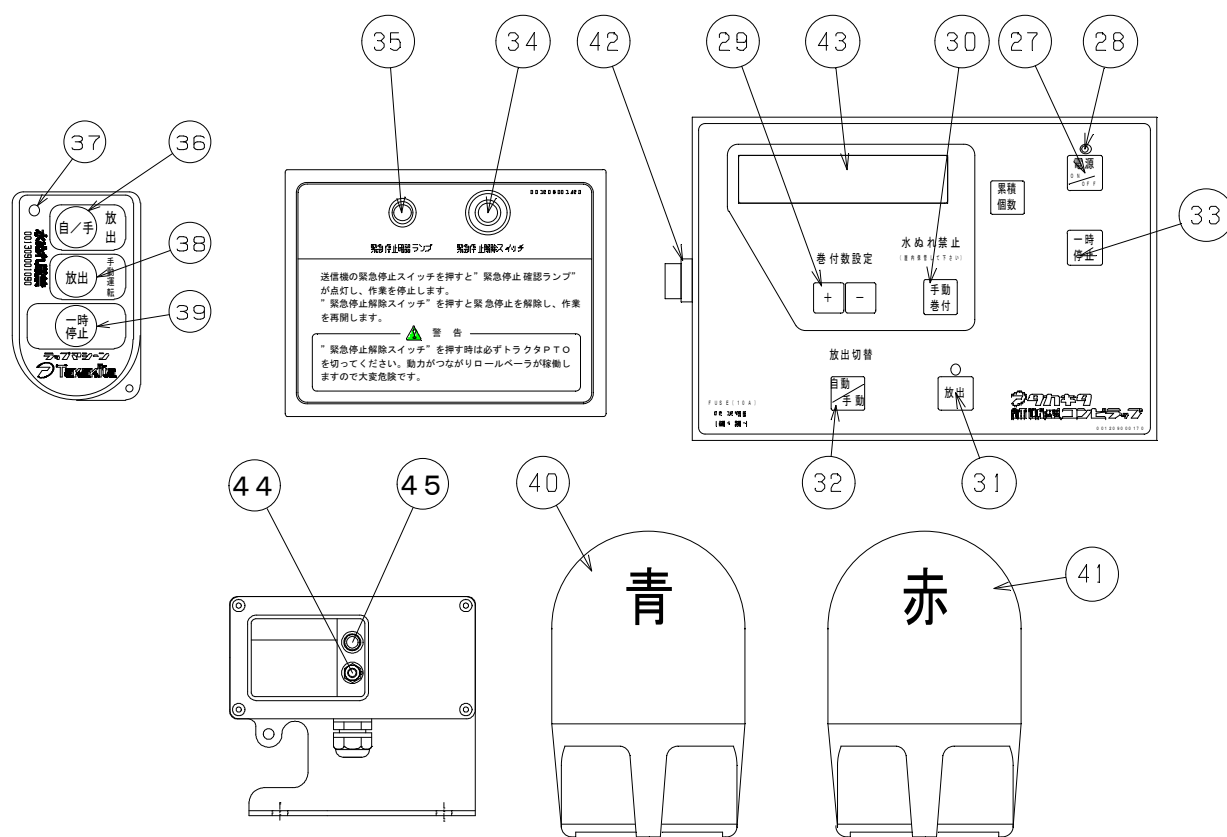
番号	名 称	は た ら き
1	電源コード	バッテリーより電源を取り出します(30Aヒューズ付)
2	コントロールボックス1	ロールベールの作動を制御する
3	コントロールボックス2	ラップマシンの作動を制御する
4	リモコン送信機1	コントロールボックス1を遠隔操作する
5	リモコン送信機2	コントロールボックス2を遠隔操作する
6	リモコン受信機1	リモコン送信機1の電波を受信する。緊急停止を解除する。
7	リモコン受信機2	リモコン送信機2の電波を受信する。一時停止を解除する。
8	1mネット用カラー	1m幅ネットを装着する際に使用する
9	フィルムセンサボックス	フィルム切れを検知する

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）



番号	名 称	は た ら き
1	電源ランプ	電源が入っている時赤く点灯
2	供給ランプ	ロール成形中に点灯
3	満了感知ランプ	満了を感知してからチャンバーが開くまで点灯
4	ネット巻付完了ランプ	ネット巻付を完了してからチャンバーが開くまで点灯
5	ネット残量ランプ	ネット残量が少なくなると赤く点灯
6	ネット異常ランプ	ネット装置に異常が発生したときに点灯
7	搬送ランプ	ロール成形中に収穫物が成形室へ運ばれているときに点灯
8	カウンタ	成形したロール数をカウントする
9	リセットスイッチ	カウンタの表示をリセットする
10	供給スイッチ	(上側)ロール成形を始める(下側)ロール成形を中断する
11	非常停止スイッチ	ロールペーラの動作を停止する。解除は緊急停止解除スイッチを押す
12	手動繰出スイッチ	ネットを繰出す
13	注油スイッチ	1度押すと10秒間タイトチェーンへ注油する
14	チャンバースイッチ	リアチャンバーの開閉を行う
15	全開ランプ	リアチャンバーが全開の時に点灯
16	全閉ランプ	リアチャンバーが全閉の時に点灯
17	緊急停止解除スイッチ	非常停止スイッチを押した時の解除をする
18	緊急停止ランプ	非常停止スイッチを押した時に点灯する。(17)を押すと消灯
19	供給開始スイッチ	10供給スイッチ(上側)と同じ
20	送信ランプ	送信機のスイッチを押すと点灯。暗くなると電池交換が必要
21	供給停止スイッチ	供給スイッチ(下側)と同じ
22	緊急停止スイッチ	非常停止スイッチと同じ
23	パトライト(緑)	ロール成形中に回転(供給ランプと同じ)
24	パトライト(黄)	ネットを巻いている間回転、ネットが切断されると停止
25	ヒューズ	15Aヒューズを使用してください
26	電源スイッチ	電源の入切

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）



番号	名 称	は た ら き
27	電源スイッチ	電源の入切
28	電源ランプ	電源が入っている時赤く点灯
29	巻付回数設定スイッチ	＋ － ボタンで回数を設定できる
30	手動巻付スイッチ	ラップの巻き付けを行う
31	放出スイッチ	手動放出の時手動で放出する
32	放出切替スイッチ	ロールを放出する時の自動／手動を切り替える
33	一時停止スイッチ	一時停止する。長押しで解除
34	緊急停止解除スイッチ	一時停止スイッチを押した時の解除をする
35	緊急停止ランプ	一時停止スイッチを押した時に点灯する。 緊急停止解除スイッチを押すと消灯
36	放出切替スイッチ	ロールを放出する時の自動／手動を切り替える(32と同じ)
37	送信ランプ	送信機のスイッチを押すと点灯。暗くなると電池交換が必要
38	放出スイッチ	手動放出の時手動で放出する(放出スイッチと同じ)
39	一時停止スイッチ	一時停止する。解除は緊急停止解除スイッチを押す
40	パトライト(青)	一時停止中に回転
41	パトライト(赤)	放出切替が手動時に回転
42	ヒューズ	10Aヒューズを使用してください
43	液晶表示プレート	設定と動作／エラーを表示
44	電源スイッチ	電源の入切
45	電源ランプ	入っている時赤く点灯

トラクタへの装着

！ 警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
 - 二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
 - ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止して、PTOクラッチを切ってから確実に接続してください。
- 以上のことを守らないと傷害発生のおそれがあります。

1. 装着のしかた

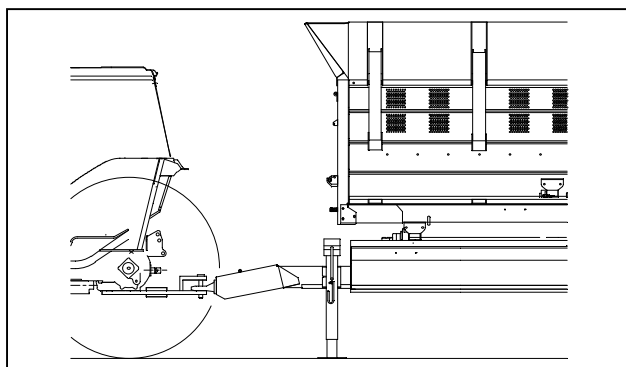
◆ドロバへの装着

- ①トラクタのドロバを一番短い位置にしてください。
- ②スタンドのハンドルを操作して本機をほぼ水平にしてください。
- ③トラクタを後進し、本機のヒッチ高さをトラクタのドロバ高さに合わせてください。

メモ

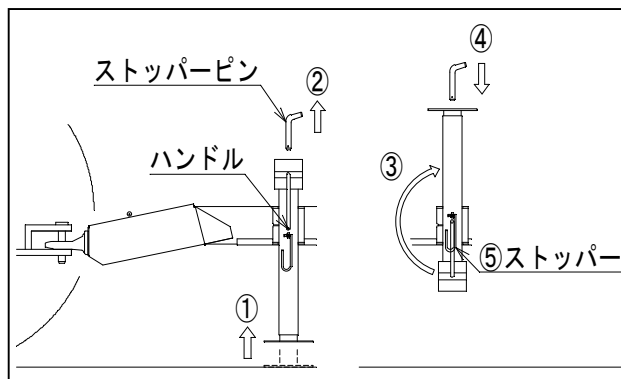
ヒッチを180度回すと20mmの微調整ができます。

- ④トラクタを前後進し、ドロバの穴位置にヒッチ穴を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。



◆スタンドを上げる

スタンドを短く縮めてからスタンドのストッパーピンを抜き取り、スタンド本体を180°（度）回転し真上に上げ、ストッパーピンを入れロックしてください。
スタンドのハンドルはヒッチ側に持ち上げ、ストッパーを上げて固定してください。



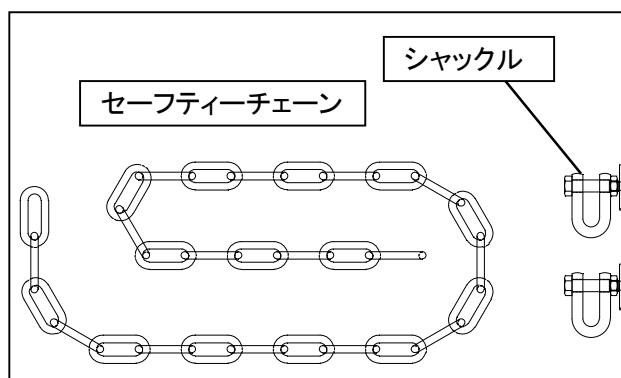
注意

- ・本機は定置作業専用機です。作業は必ずスタンドを立てた状態で行ってください。

2. セーフティーチェーンの接続

◆作業機を農耕トラクタでけん引して公道走行する際はセーフティーチェーンでの連結が必要です

セーフティーチェーン1本とヌケドメピン付きのシャックル2個を付属しています。
本機をトラクタでけん引し公道走行する際は、必ずチェーンで作業機とトラクタを連結した状態で走行してください。

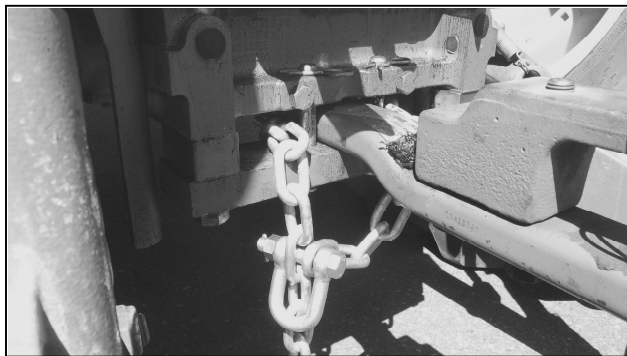


トラクタへの装着

- ①セーフティーチェーンの片端をシャックルを使用して本機ケンインヒッチに固定します。



- ②セーフティーチェーンをトラクタのドローバ部に回しかけトラクタから外れないようにします。



注意

シャックル固定後は必ずヌケドメピンを入れ、抜け止めしてください。

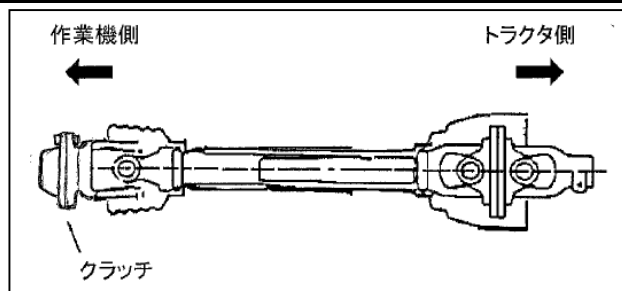
旋回時にセーフティーチェーンがドローバ等に引っかからないことを確認してください。

3. ユニバーサルジョイントの取付け

- ◆本機入力軸に取り付けてから、トラクタPTO軸に確実に取り付けてください。
ジョイントは専用のものを使用してください。

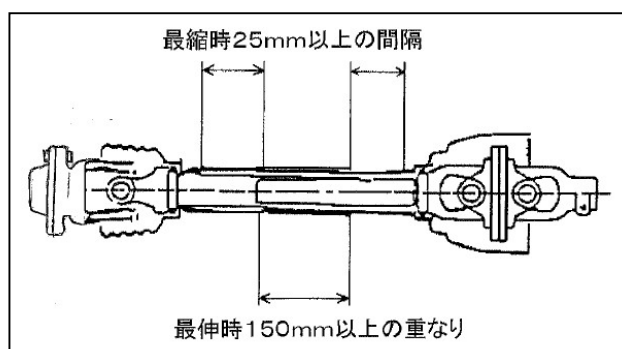
注意

次図のようにクラッチ側を作業機に取り付けてください。



◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは本機が旋回するときに変化します。先にジョイント長さが長すぎないかを確認し、長すぎるときは、次図の寸法が確保できるように切断してください。



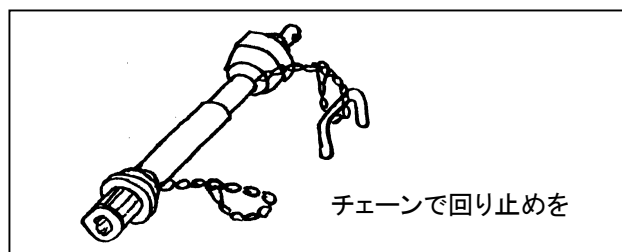
注意

作業時のジョイント角度は最大25°（度）を越えないよう調整してください。

25°（度）を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけて、しっかりと固定してください。



トラクタへの装着

◆急旋回注意

PTOを回転させながら急旋回をすると、ユニバーサルジョイントを破損するおそれがありますので、急旋回時には必ずPTOを切ってください。

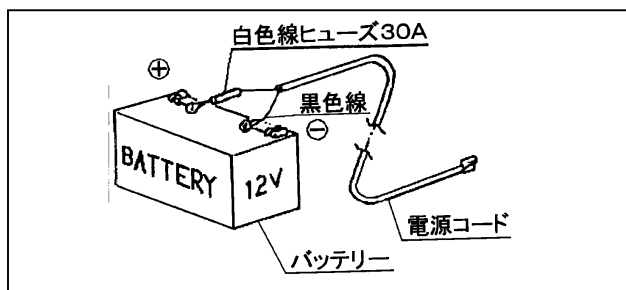
4. コントロールボックスの接続

◆コントロールボックスの電源は、トラクタのバッテリーより取り出します。トラクタのキースイッチは通さないでください。

- 接続できるバッテリーの電圧は12Vです
24Vのバッテリーには接続しないでください。間違って接続すると、コントロールボックス内部の機器が破損します。

●電源コード

(+)、(-)の接続を間違えないように
白色線はバッテリーの(+)へ接続
黒色線はバッテリーの(-)へ接続



注意

- (+) (-)の接続を間違えると、コントロールボックスのパイロットランプは点灯しません。
- バッテリーの容量不足はコントロールボックスの誤動作の原因になります。十分に充電されたバッテリーを使用してください。

警告

接続の順序は、(+) 側から行ってください。また、取り外すときは、(-) 側から行ってください。

逆にすると、火花が飛び危険です。

◆配線の接続

電源コードと作業機側コードをそれぞれコントロールボックスに接続します。

細い電源コードを使用するとコードの発熱・コントロールボックスの誤作動を引き起こすおそれがありますので、タカキタ指定の電源コードを使用してください。

配線が作業の邪魔にならないようにトラクタに固定してください。

◆電源ランプの点灯確認

配線の接続が終了したら、スイッチを入れ電源ランプが点灯していることを確認してください。電源ランプが点灯しないときは、電源コードのヒューズが切れていないか、バッテリーの(+)と(-)が逆になっていないか、コネクタがきちんと差し込まれているかを確認してください。

◆作業終了後は取り外して屋内保管

作業終了後は、電源コード・延長コードのコネクタより切り離し、水などがからない屋内に保管してください。

運転に必要な装置の取扱い

1. タイトチェーン注油装置の取扱い

◆作業前に必ず注油してください。

タイトチェーンに十分注油してください。

◆油の残量に注意

作業中は供給開始ごとに5秒間自動的に注油されます。

注油タンク内の油残量には、特に注意して、少なくなれば補給してください。

注意

注油タンクの油不足によりタイトチェーンに注油されない状態で作業すると、動力負荷が急増してチェーンの摩耗が多くなり寿命を低下させますので、無注油状態での使用は絶対に行わないでください。

◆作業前にはノズルの清掃を行ってください

注油ノズル部にはゴミが付着することがあり、そのまま使用すると、チェーンに注油されていないことがありますので、定期的に左右のノズル先端部に付着したゴミを清掃してください。

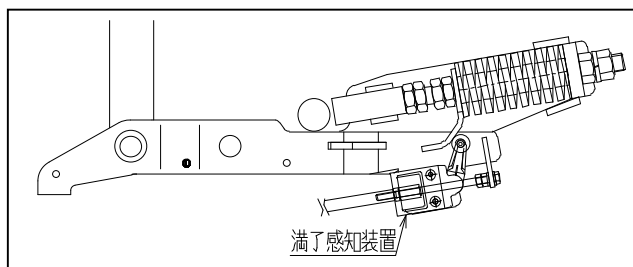
警告

点検・清掃は必ずエンジンを停止してから行ってください。
これを怠ると重大な傷害発生のおそれがあります。

2. 満了感知装置の取扱い

◆満了感知装置の装備位置

次図に示すように進行方向左側に装備しています。



◆満了感知装置の作用

梱包圧力を感知する装置で、圧力感知と同時にブザーを鳴らし、前コンベア停止およびロール感知ランプが点灯し、ネットが自動的に繰り出されます。

注意

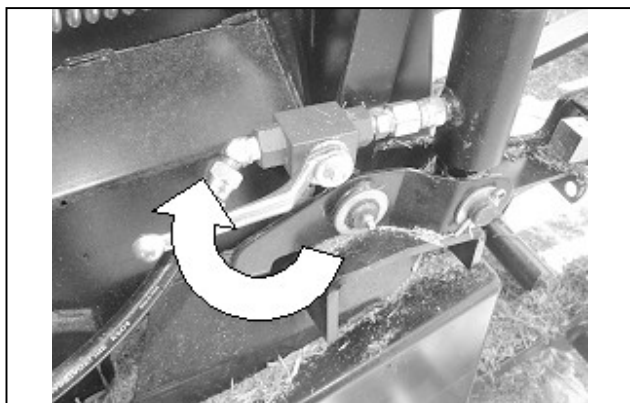
感知装置は出荷時に調整済みですので調整しないでください。

調整すると機械の破損の原因となったり、十分なロール形成ができないこととなりますので、絶対に調整しないでください。

3. シリンダストップバルブの取扱い

◆油圧シリンダをロックし、下降防止をします

点検・整備・清掃などでチャンバーを開けたままで作業するときは、必ず左右のシリンダにあるストップバルブのレバーを開の方向に回してシリンダをロックしてください。



注意

再びチャンバーの開閉をする時は、必ず左右のバルブを開の方向にしてください。

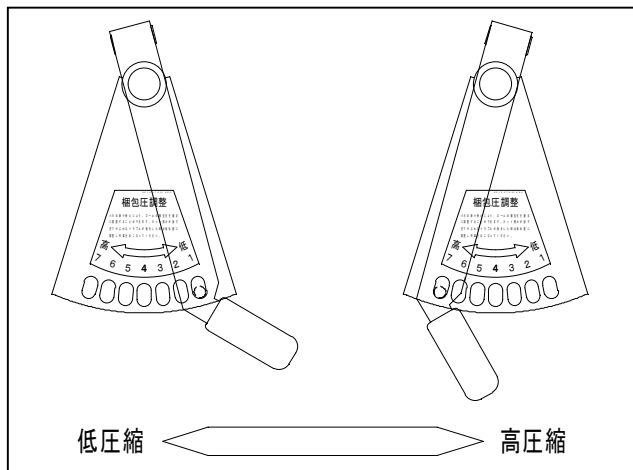
警告

チャンバーを開けた時は必ずストップバルブを閉め、シリンダをロックしてください。これを怠ると重大な傷害発生の恐れがあります。

運転に必要な装置の取扱い

4. 梱包圧の調整

ネット装置のバネ調整によりロールの 梱包圧を適正に調整することができます。ネット張力が強すぎて破れるトラブルが発生したときは“低”の位置に掛け替えて作業を行ってください。



5. ネット装置のスライド

ネットの装着やメンテナンスの際にはネット装置をスライドすることができます。

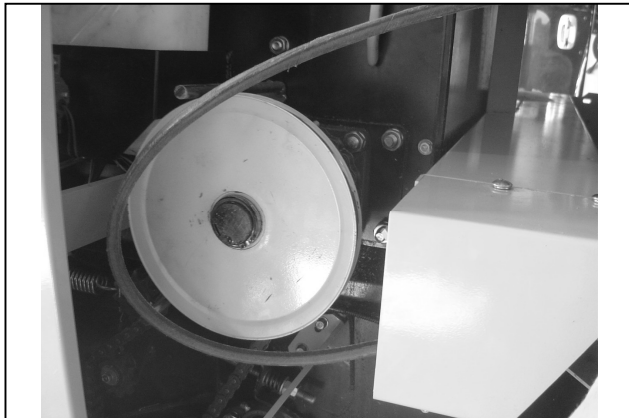
！ 注意

- ネット装置をスライドする場合は、スライド部分に手などをはさまないように特に注意してください。
- 切断用のナイフで手を切らないように特に注意してください。
- 二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

1. カバーを開く



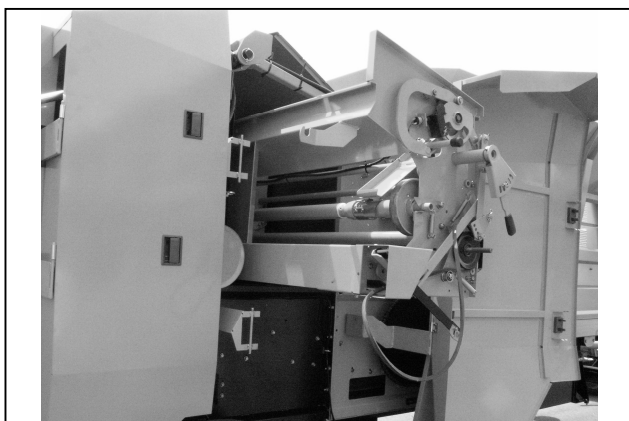
2. 駆動ベルトを外す



3. 固定金具を外す



4. 取っ手を握り、ネット装置を手前に引き出す。



！ 警告

ネット装置をスライドするときは必ずPTOを切り、エンジンを停止してください。
これを怠ると重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

運転に必要な装置の取扱い

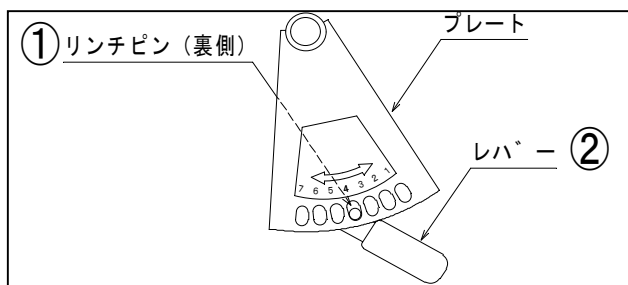
6. ネットをセットする

！ 注意

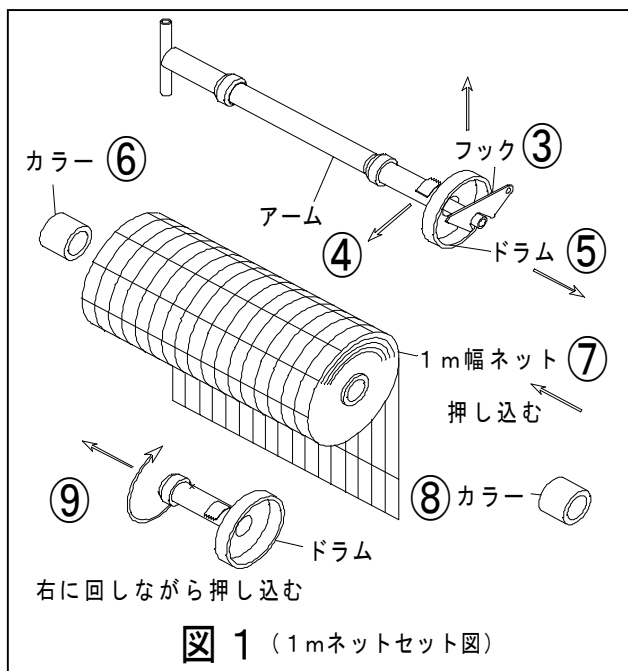
- ネットを通す場合は、切断用のナイフがローラーの後ろにありますので手を切らないように特に注意してください。
- ネットの種類によりトラブルが出ることがありますので、必ずタカキタ指定のネットを使用してください。

使用できるネットは1.0または1.2m幅ネットです。

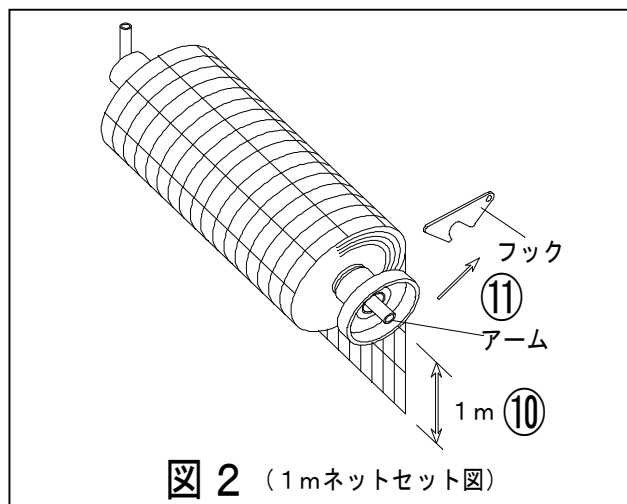
1. 梱包圧調整部の①リンチピンを外し、②レバーをプレートから外す。



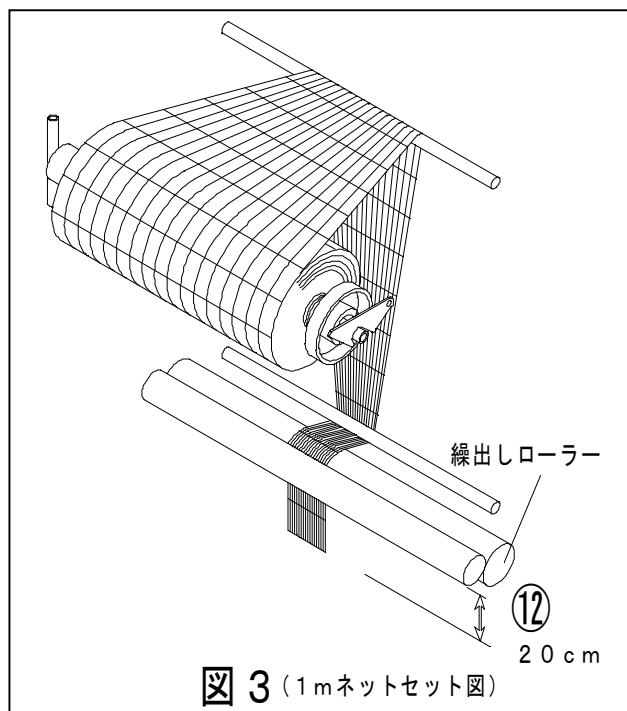
2. フックを③方向に持ち上げ、アームを④方向に引き出し、ドラムを⑤方向に抜き出す。



3. アームにカラー⑥を入れる。
(1.2m幅ネット装着時は不要)
4. ドラムにネット⑦を図1の巻き方向で差し込む。
5. アームにカラー⑧を入れる。
(1.2m幅ネット装着時は不要)
6. アームにドラムを右に回しながら⑨を押し込む。

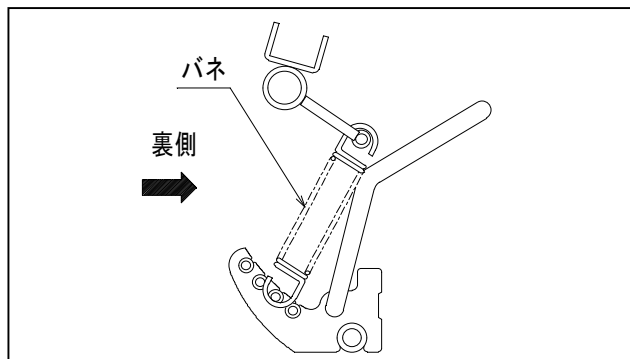


7. ネットを図2の⑩のように1m程度引き出す。
8. アームを戻し(⑪)、フックで固定する。
9. ネットを束にして図3のように通す。



運転に必要な装置の取扱い

10. 繰出ローラーを回してネットをきっちり張ると下より20cm程度ネットが出る状態(12)になります。



11. 梱包圧調整部のレバーをプレートの元の位置に戻す。ブレーキ解除時、プレート裏側のバネが外れる場合があるので、ブレーキ復帰時、必ずバネの確認をしてください。なお、外れた状態で使用すると、ネットブレーキがかかりません。

7. 使用時にこれだけは守りましょう

◆ナイフの刃こぼれがある場合は、交換してください

ネットは紙筒を使用しているため、水濡れ厳禁です。本機を屋外で保管する場合は、ネットを取り外し屋内で保管してください。

8. 使用できるネット

◆タカキタ指定のネットを使用してください

ネットの種類によりトラブルがでることがあります。

必ず指定ネットを使用してください。ネット(別売品)は当社で準備しております。

●ネットの幅寸法

ネットの幅寸法を確認してください。下記のネットしか使用できません。

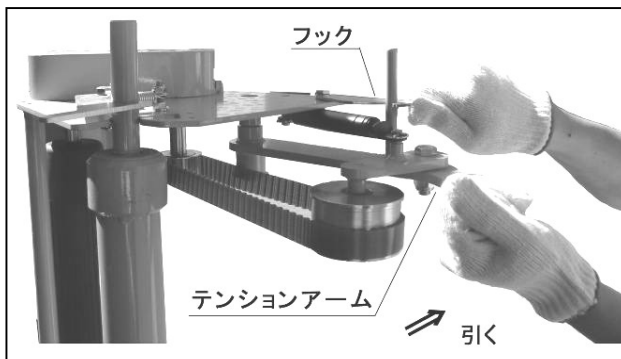
1. 03m幅ネット(タカキタ指定のみ)

1. 23m幅ネット(タカキタ指定のみ)

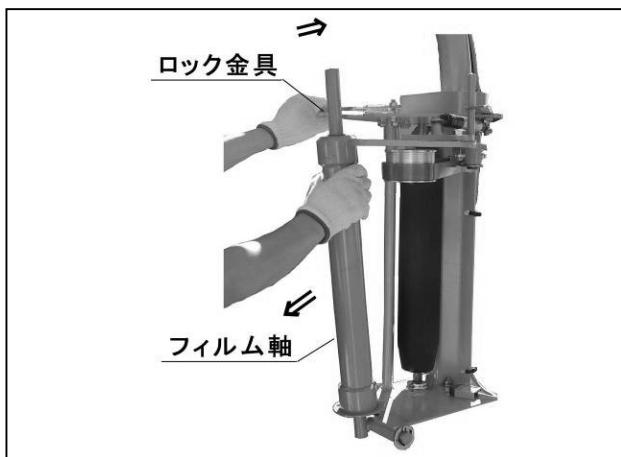
タカキタ指定ネットは、ネットの芯がネットブレーキ装置に適した硬い紙筒を使用しています。

9. フィルムをセットする。

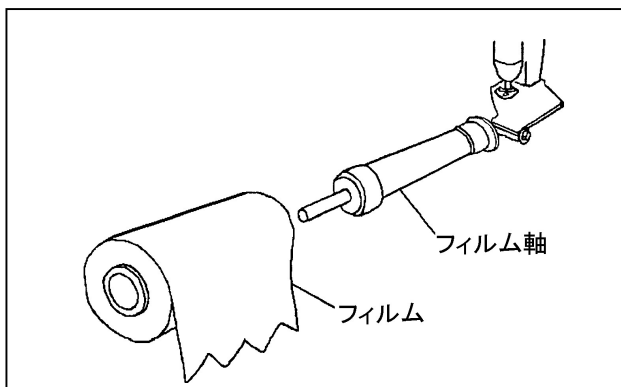
- ①テンションアームを引き、フックをかけて固定する。



- ②フィルム軸のロック金具を開いて、フィルム軸を手前に倒す。



- ③フィルム軸にフィルムを差し込む。



注意

フィルムの巻き方向は、必ず上図の向きで差し込んでください。

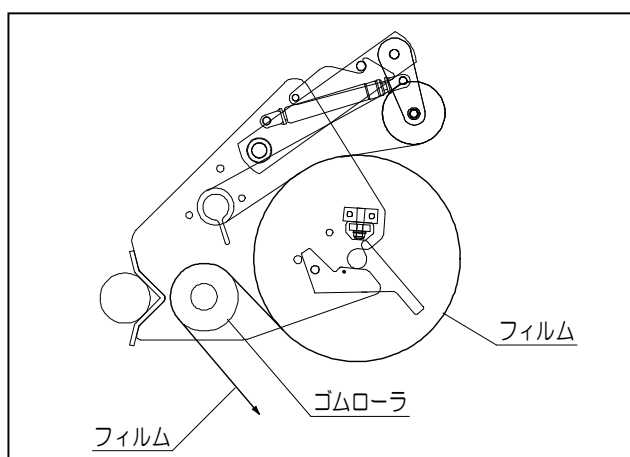
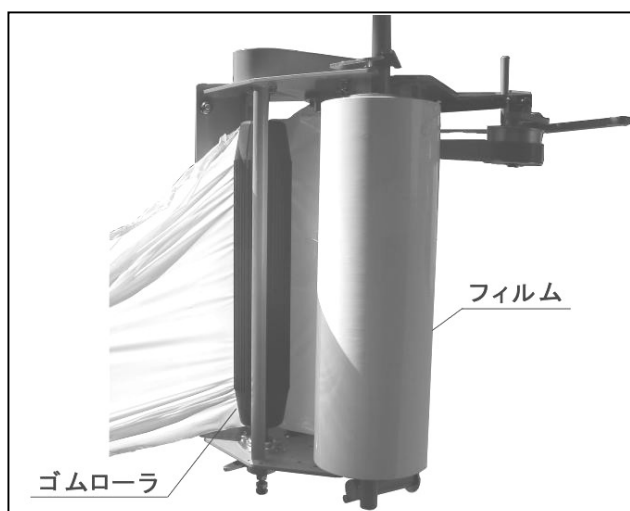
運転に必要な装置の取扱い

④フィルムを起こしてロックをかける。



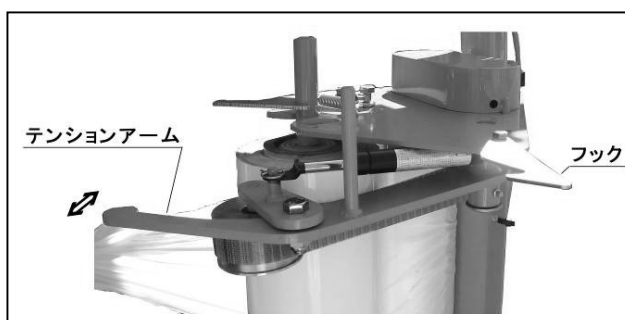
勢いよく起こすと、自動的にロックがかかります。

⑤フィルムをゴムローラに通してください。



上図のようにフィルムをゴムローラに通してください。(上から見た状態です)

⑥フィルムアームを引き、フックを外してベルトをフィルムに当てる。



テンションアームを一度引いてフックを外し、テンションアームをフィルム側に寄せ、ベルトをフィルムに当てる。

注意

フィルムの取り扱いには十分注意してください。特に端部に傷がつくと、ラッピング中に切断します。

！ 注意

フィルムを本機にセットするときは、必ずトラクタのエンジンを停止してから行ってください。

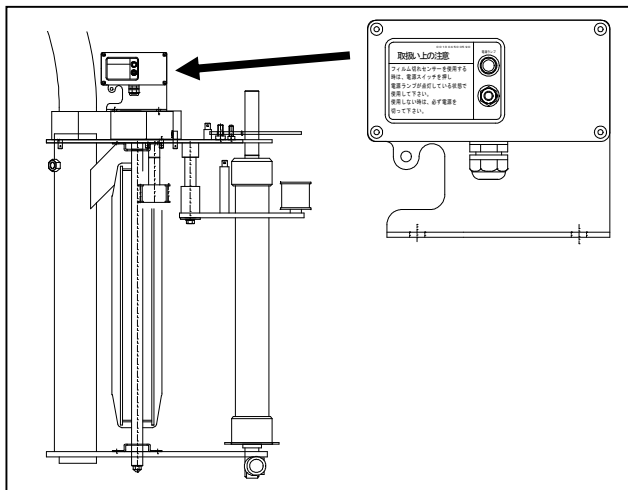
注意

タカキタ指定のフィルムを使用してください。フィルムの種類によりトラブルがでることがあります。

運転に必要な装置の取扱い

10. フィルムセンサボックスの取扱い

- 作業前にストレッチブラケットに付いている、フィルムセンサボックスの電源を入れます。



注意

電源を入れないと、フィルム切れ自動停止が働きません。

警告

フィルムセンサボックスの電源を入/切する際は、必ずトラクタのエンジンを停止した状態で行ってください。

作業終了後はフィルムセンサボックスの電源を切ってください。

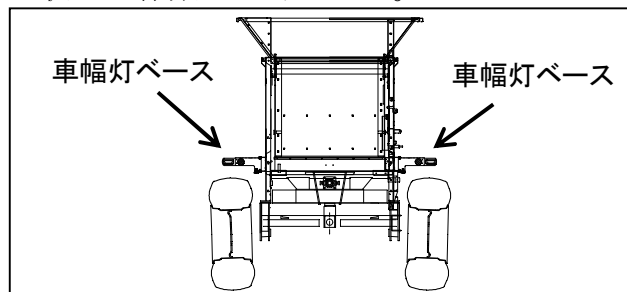
注意

フィルムセンサボックスの電源を切らないと、ボックス内の電池が消耗しますので、使わないときは必ず電源を切るようにしてください。

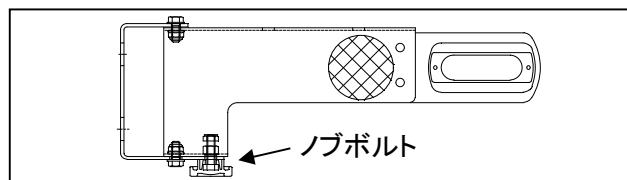
11. 車幅灯ベースの取扱い

作業機前方に装備されている車幅灯ベースは可動式になっています。

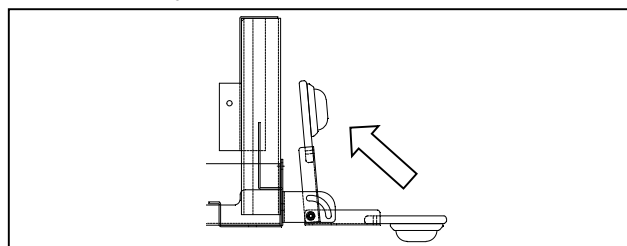
作業時は、次記に従ってベースを収納した状態で作業してください。



- ①ベース下部のノブボルトを緩め、ベースが動く状態にします。



- ②ベースを次図位置に動かしノブボルトを締めます。



注意

公道走行する際はベースを開いた状態にして走行してください。

12. パトライトの取扱い

パトライトはラップマシーン側のガード部に固定されています。

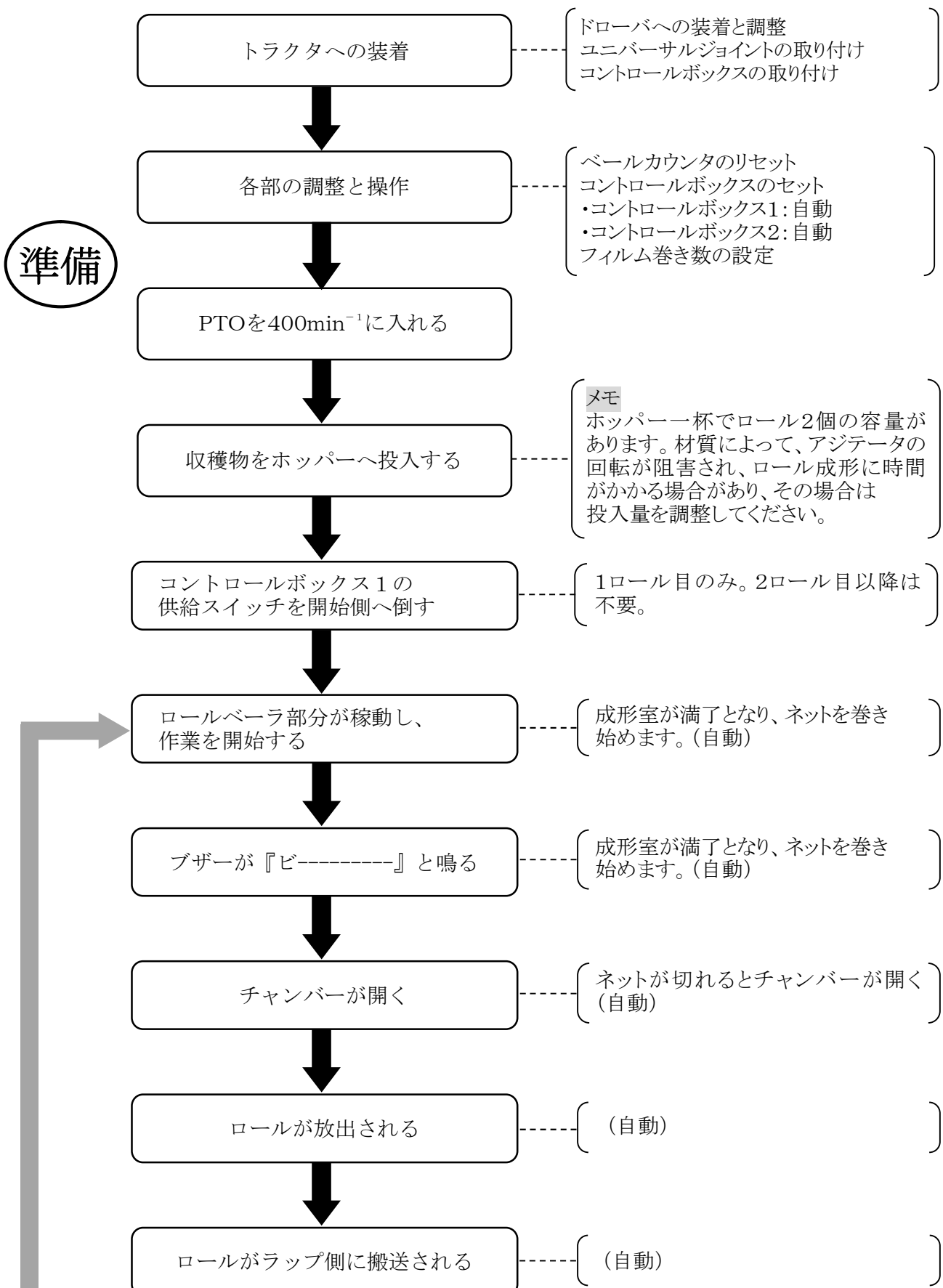
注意

業機にパトライトを取り付けた状態で公道走行することは禁止されています。
パトライトのコネクタとノブボルトを取り外し、パトライトベースごと作業機から外し、トラクタに収納してから公道走行してください。

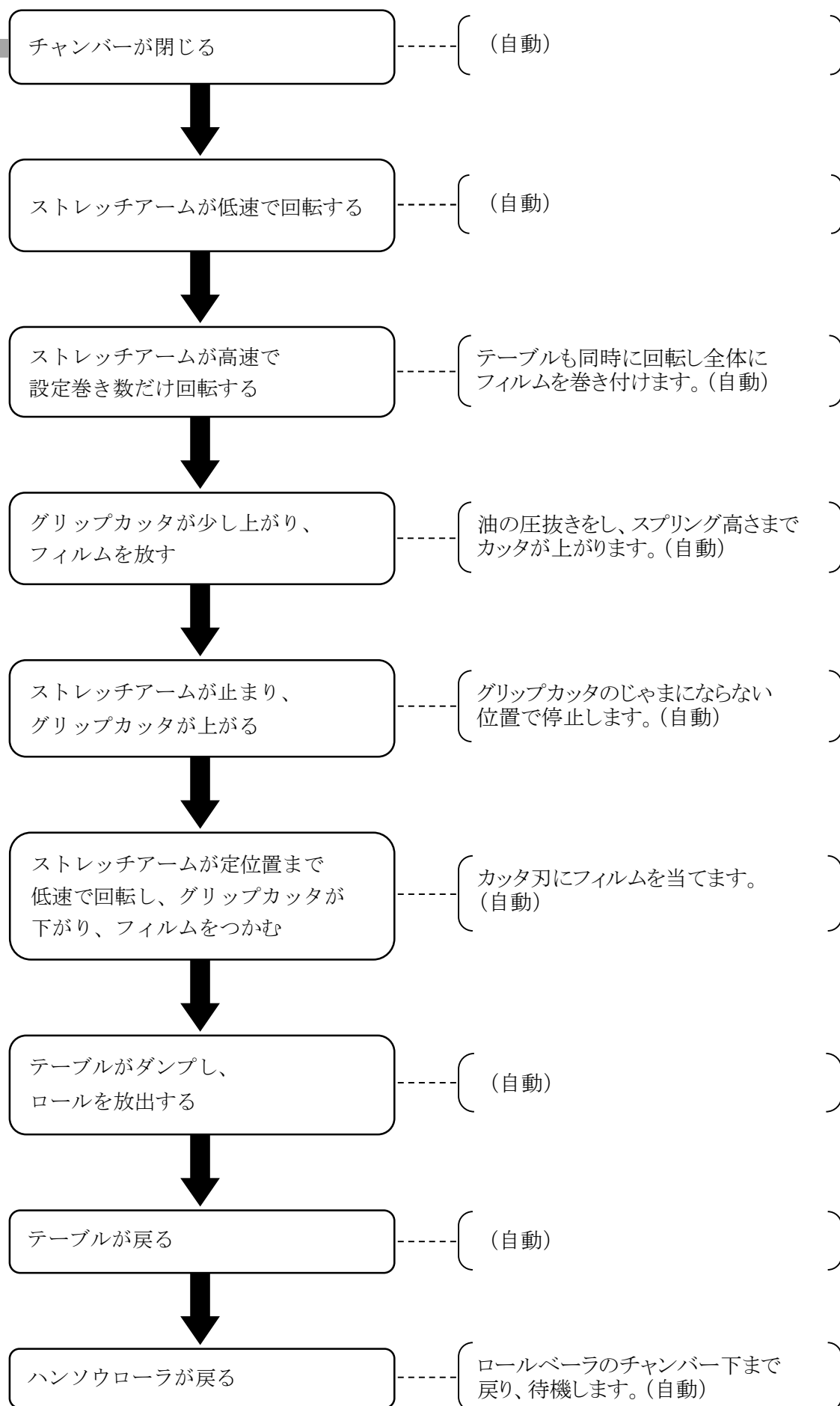
作業方法

1. 作業手順と要点

自動で作業する場合は、次の手順に従ってください。なお、作業前にネット、フィルムをセットし、各部の注油を行ってください。

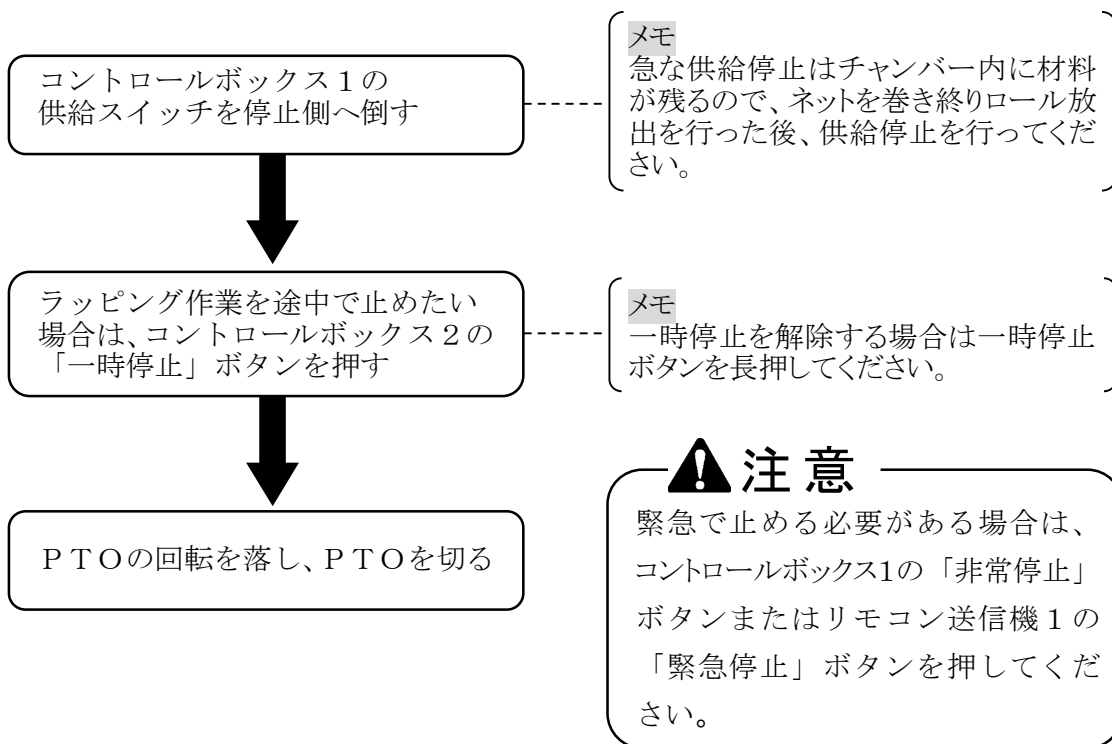


作業方法



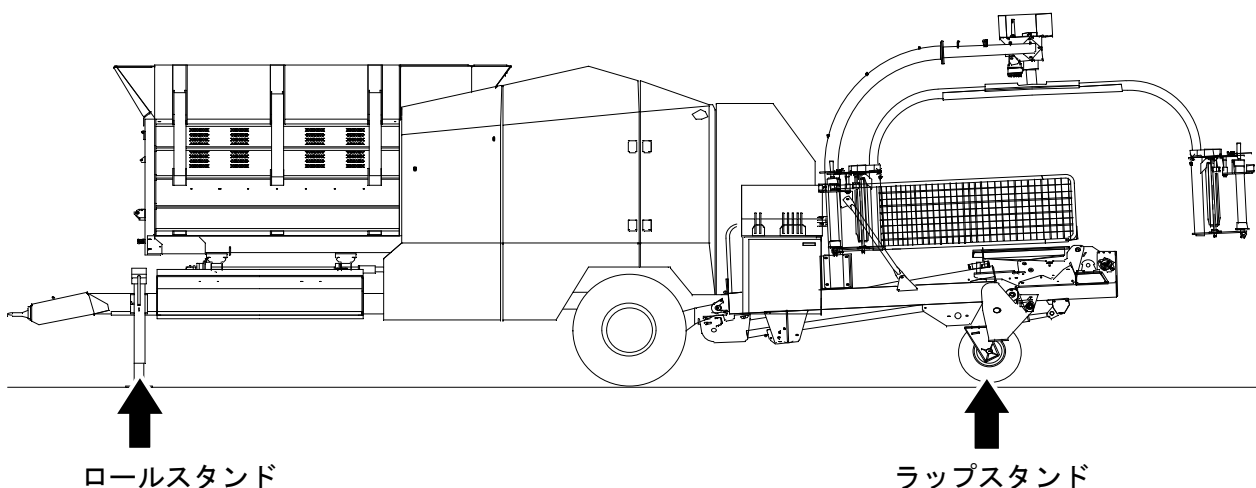
作業方法

作業を中断する場合は、以下の手順に従ってください。



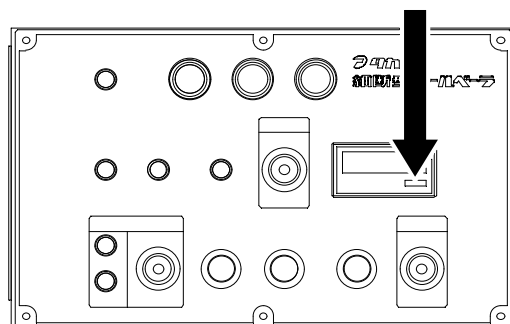
2. 本機の設定

作業時は必ずスタンドを立て、高さ調整により機体が傾かない姿勢を作り、定置作業を行ってください。



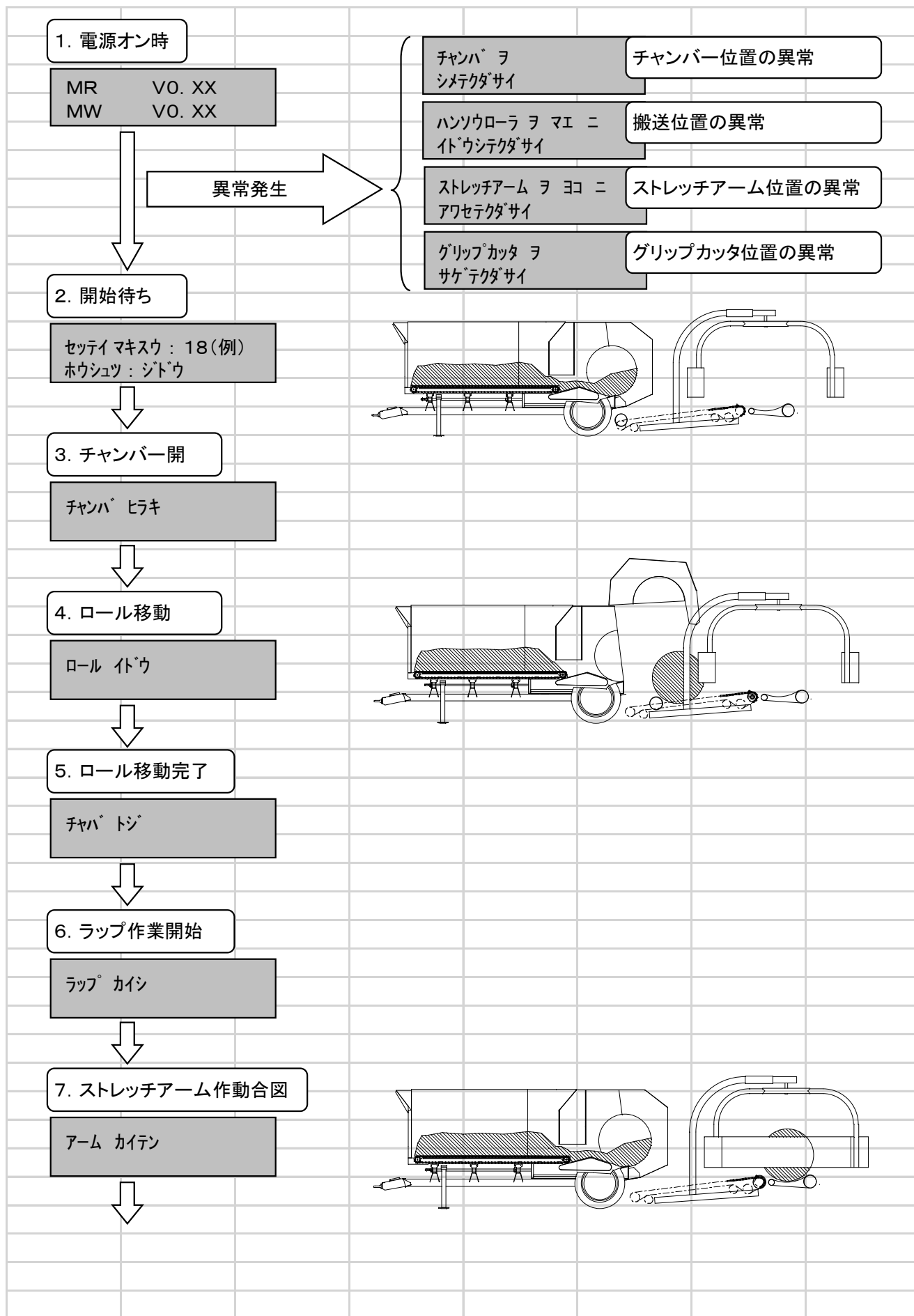
3. ベールカウンタのリセット

作業前に記憶している残カウントをリセットして「0」にします。

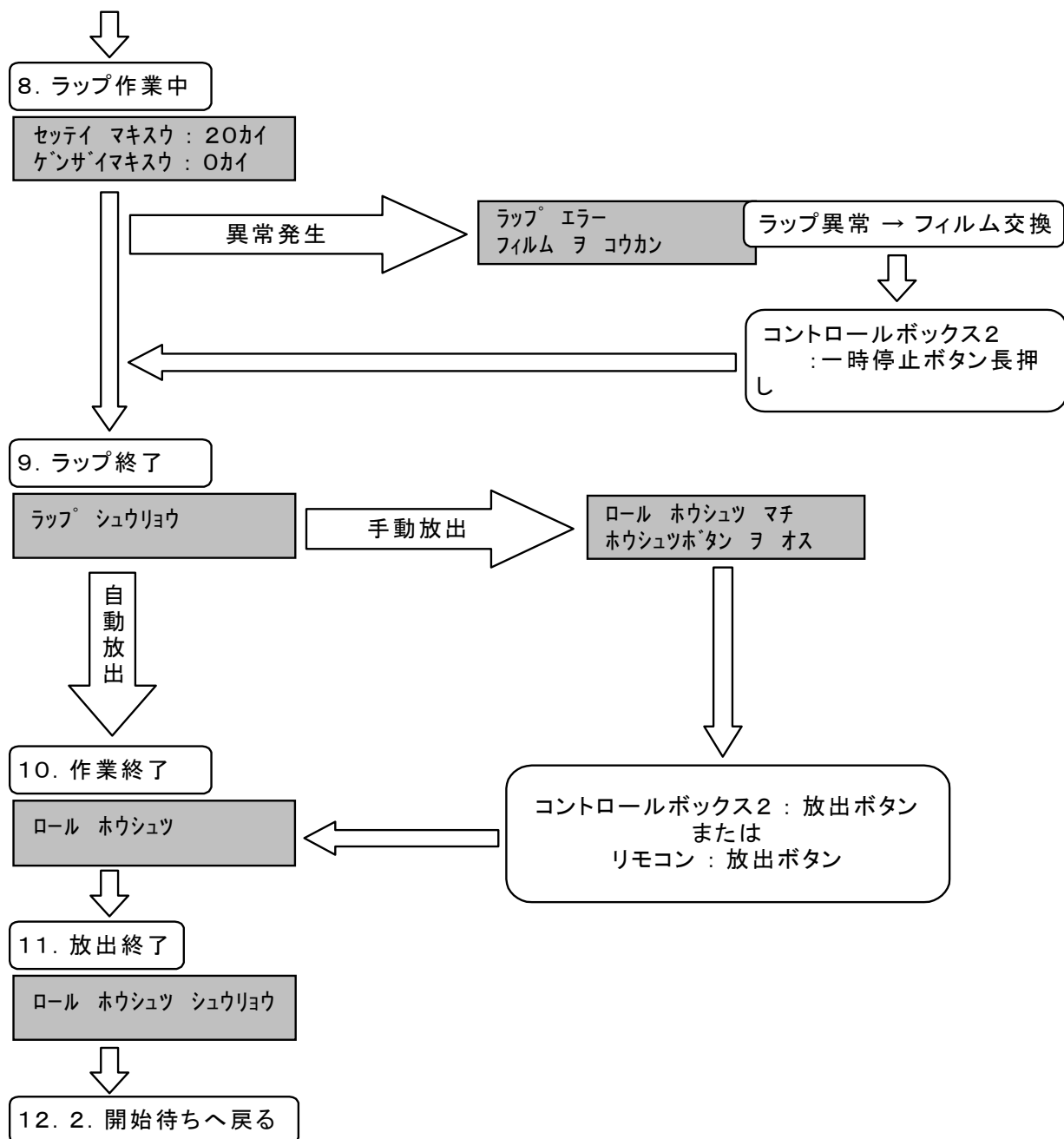


作業方法

4. 作業時のコントロールボックス表示



作業方法



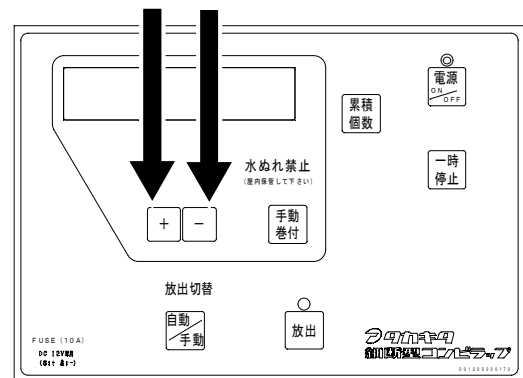
作業方法

5. 巻数設定

フィルムの巻数設定は、フィルムの重ね数によって異なります。
次を目安に実際ロールに巻き付け、確認してください。

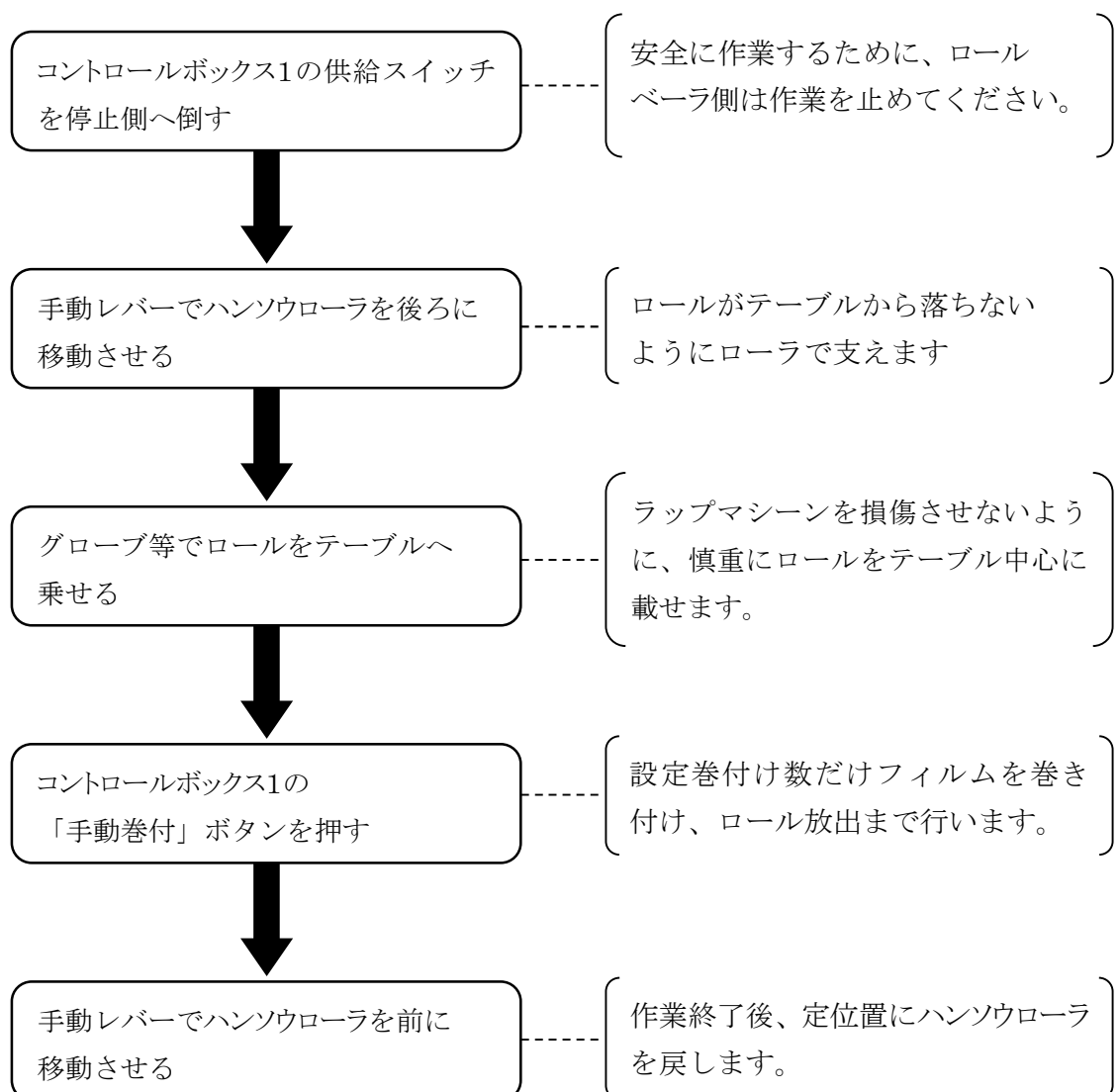
重ね数3回(6層巻)→ 設定値(セッテイ マキスウ):18

巻数設定は、コントロールボックス2の右記部分の「+」「-」ボタンで行います。



6. 手動巻付け方法

ロールをダンプした後、フィルム巻き付けを行いたい場合、以下の手順に従って手動巻き付けを行ってください。



作業前・作業後の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前・作業後の点検は、欠かさず行ってください。

！ 警告

- 取り外したカバー類は必ず取り付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはPTOを切り、エンジンを停止して回転が止まってから行ってください。

No.	作業前の点検項目	内 容	参照 ページ	チェック	チェック
1	油圧作動油	油圧オイル交換・補充	46		
2	ミッションオイルの交換	100時間毎にオイル交換	50		
3	油圧ホース等のオイル漏れ	漏部の増し締めして再チェック	—		
4	伝動チェーンのゆるみ	たわみ量の調整	—		
5	タイトチェーンの張り調整	伸びている場合は張る	53		
6	タイヤホイールのハブナットのゆるみ	ゆるんでいるときは締める	—		
7	タイヤの空気圧、傷の確認	空気圧不足のときは空気補充	44		
8	オイルクーラー	動作確認	46		
9	電装ハーネス	断線およびカプラの確認	—		
10	電装系の確認	動作を確認	46		
11	チェーンの注油	チェーンにオイル注油	48		
12	タイトバーのゆるみ	ゆるんでいるときは締める	—		
13	グリスアップ・グリス塗布・注油	図表に従って行ってください	56		
14	予備シェアボルト	不足のとき補充	45		
15	各部のボルト・ナット	ゆるんでいるときは締める	—		
16	タイトバーボルト・ナット	ゆるんでいるときは締める	51		

No.	作業後の点検項目	内 容	参照 ページ	チェック	チェック
1	清掃	機材の掃除	49		
2	オイルクーラー	清掃確認	46		
3	ローラベルトに傷はないか	傷があれば新品と交換	—		
4	ゴムロールへのゴミ・ノリの付着	破損時は新品と交換	50		
5	ネット切断ナイフ	破損は新品と交換	—		
6	フィルム切断ナイフ	破損は新品と交換	—		

点 検 メ モ

--

簡単な手入れと処置

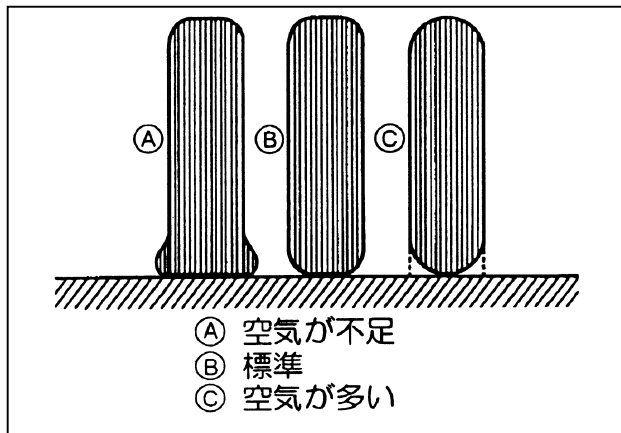
1. タイヤの空気圧の調節及び摩耗、損傷

- ◆作業前にはタイヤの空気圧を確認してください。

警告

- タイヤの空気圧は取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入れ過ぎは、タイヤ破損のおそれがあり死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり、その傷がコード(糸)に達している場合は、使用しないでください。
タイヤ破損のおそれがあります。
- タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは、十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。

外観からタイヤの空気圧を判断する目安は次のとおりです。



◆タイヤのサイズと規定空気圧

タイヤサイズ(チューブレスタイヤ)

11.5/80-15 8プライ

空気圧

常圧タイヤ内圧 3.0kgf/cm²

2. ヒューズの交換

電源が入らない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。点検し、切れていれば交換してください。

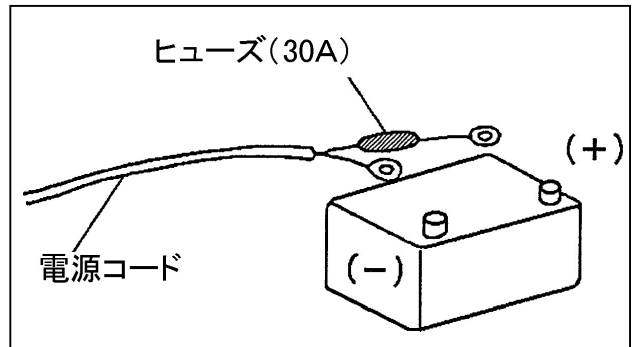
●コントロールボックスのヒューズ

コントロールボックス1 15A 1ケ

コントロールボックス2 10A 1ケ

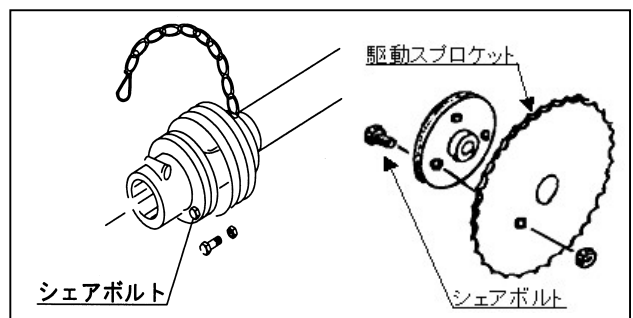
●電源コードのヒューズ

30A 1ケ



3. シェアボルトの交換(ベアラ部)

ロールベアラ部に過負荷がかかったときにユニバーサルジョイント部、または駆動スプロケット部のボルトが切断され、本体の損傷を防止します。



◆シェアボルトのサイズ

ジョイント部

ボルト M6×40(12T)

ナット M6ナイロンのナット

セット

注意

上記以外のシェアボルトは絶対に作業しないでください。

簡単な手入れと処置

駆動スプロケット部(通常作業用)

ボルト M8×40(8T) } セット
ナット M8ナイロンナット }

シェアボルトを交換しても作業が復旧できない際は復帰用のボルトを使用し、復帰してください。

駆動スプロケット部(作業復帰用)

ボルト M8×40(11T) } セット
ナット M8ナイロンナット }

注意

シェアボルトは通常作業用のボルト以外では絶対に作業しないでください。

◆シェアボルトが切断されたら

過負荷になっている原因を取り除いてください。

主な原因は以下になりますので、確認してください。

1. 駆動チェーン、タイトチェーンに確実に注油されているか確認してください。
2. 感知センサが定位置で確実に反応しているか確認してください。

◆ボルトが切断されたら交換してください

切断されたボルトを除去して、ボルト穴を合わせてからシェアボルトとユルミドメナットを確実に締め付けてください。

！ 注意

シェアボルトの交換を終え、再度作業を再開する時は、試運転のときと同様にゆっくりとPTOを入れてください。

4. シェアボルトの交換（ラップ部）

◆シェアボルト式安全装置を装備

ベルトローラ(後)、駆動ギヤに過負荷がかかったときボルトがせん断され、本機の損傷を防止します。

◆シェアボルトのサイズ

ボルトM8x35(8T) 半ネジ

M8ナイロンナット

(カバーの中に予備が4セット入っています)

◆シェアボルトの交換

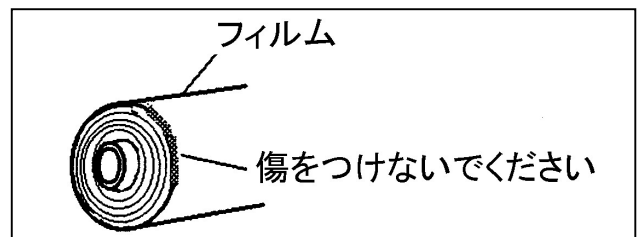
- ①カバーを外す
- ②せん断させたボルトを除去する
- ③コントロールバルブレバーでストレッチアームを回すことで駆動ギヤを回し、ボルト穴が通る位置にしてください。
- ④外側からボルトを入れ、ナイロンナットで締め付けてください。
- ⑤カバーを取り付けてください。

5. フィルムの取扱いについて

- フィルムの表面に傷をつけないようにしてください。

特に端面は傷がつきやすく、傷がつくとラッピング中に切れますので、取り扱いに注意してください。

- 使用後は必ず取外し、乾燥した屋内で保管してください。



注意

フィルムは雨にぬらさないでください。雨にぬれると紙筒が変形し、抜き取れなくなります。

簡単な手入れと処置

6. 送信機

送信機は最大16台まで増設することができます。

●電池交換

送信機のスイッチを押しても送信LEDが点灯しない場合や、著しく暗くなった場合は電池交換が必要です。送信機裏側の電池蓋をコインなどではずし電池交換をします。電池は市販のリチウム電池CR2032を使用し、＋－極を確認のうえ、正しく装着してください。

電池蓋の装着は、蓋の▽印と送信機本体の丸印をあわせてはめ込み、コインなどでCLOSE方向に回してください。

注意

無線機の取扱説明書も同梱しておりますので、あわせてご使用前には必ずお読みください。

7. オイルクーラー

作業前・後には必ず以下の手順に従ってオイルクーラーの清掃と動作確認を行ってください。

- ①オイルクーラーのフィンに詰まっているゴミを取り除いてください。
- ②ファンカバーに詰まっているゴミを取り除いてください。
- ③コントロールボックス1、2の電源を入れ、オイルクーラーのファンが動作していることを確認してください。

8. 油圧作動油

点検、補給はエンジン始動前に行ってください。

不足している場合は、適時補給してください。

油はJIS K 2213添加タービン1号または2号相当品をご使用ください。

タンク容量は30Lです。

また、定期的にオイルの汚れおよび、オイルフィルタエレメントの点検をしてください。

交換時期は100時間毎です。

	ISO VG	ジャパン エナジー	出光興産	日本石油	コスモ石油	三菱石油	昭和シェル 石油
本州 向け	68	ハイドラックス 68	スーパーハイドロ 68A	スーパー ハイランド 68	スワフルード 68	ダイヤモンド パワーフルード 68	シェルテラス オイル 68
北海道 向け	32	ハイドラックス 32	スーパーハイドロ 32A	スーパー ハイランド 32	スワフルード 32	ダイヤモンド パワーフルード 32	シェルテラス オイル 32

注意

- 不燃性作動油は使用できません。
- 寒冷地では耐寒性作動油をご使用ください。
- 工場出荷時はスーパーハイドロを使用しています。

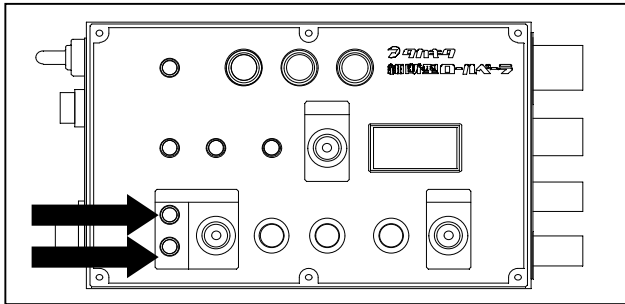
簡単な手入れと処置

9. 電装系の確認

作業前には必ず以下の手順に従って電装系の確認を行ってください。

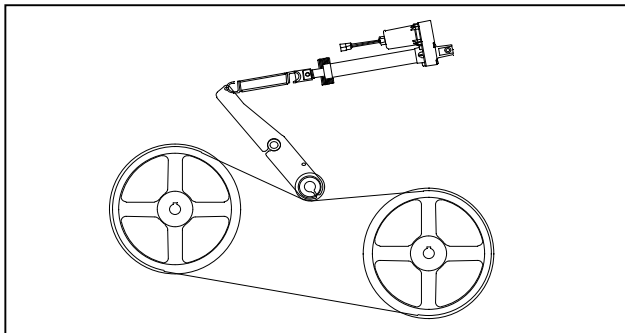
①コントロールボックス1、2の電源を入れて以下を確認してください。

- ・電源ランプが点灯している。
- ・チャンバー開ランプが消灯している。
- ・チャンバー閉ランプが点灯している。



②コントロールボックス1の「供給開始」ボタンを押して以下を確認してください。

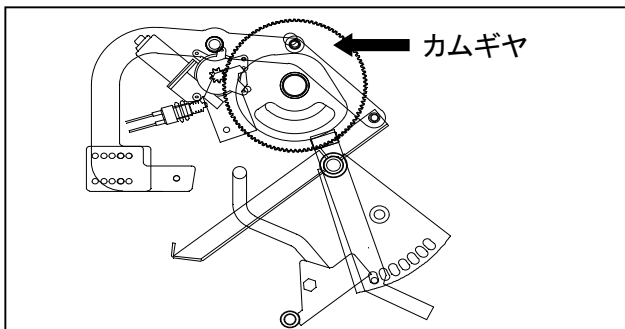
- ・電動シリンダが縮みクラッチが入った後停止する。



- ・緑色のパトライトが点灯する。

③感知センサを軽く引っ張り、以下を確認してください。

- ・感知ブザーが鳴る。
- ・カムギヤが一周して止まる。
- ・ブザー(断続音)が鳴り、エラーになる。



④電源を入れ直してください。

⑤コントロールボックス2の「一時停止」ボタンを押して、赤色のパトライトが点灯することを確認してください。「一時停止」ボタンを長押しして、解除してください。

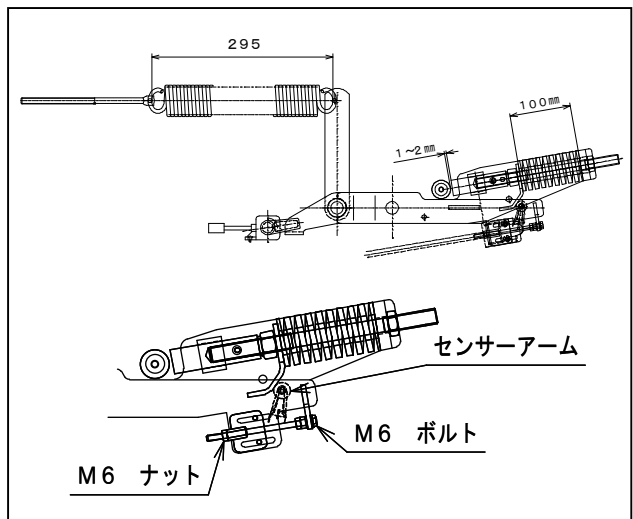
⑥コントロールボックス2の「放出 自動/手動」ボタンを押して青色のパトライトが点灯することを確認してください。もう一度「放出 自動/手動」ボタンを押してください。

⑦確認作業が終われば、コントロールボックスの電源を切ってください。

10. 感知センサの確認

◆満了感知装置の装備位置

次図に示すように進行方向左側のサイドカバーの内側に装備しています。



M6ナットを緩め、M6ボルトを緩み方向に回し感知した位置から2回転戻し、再度M6ナットでロックしてください。

(調整後、センサーアームを手で動かし2~3mm動かし感知することを確認してください。)

注意

感知装置は出荷時に調整済みですので、再調整する場合は販売店まで連絡してください。

簡単な手入れと処置

- ⑦コントロールボックス1の「供給停止」ボタンを押して、タイトチェーンを停止させてください。

12. 清掃

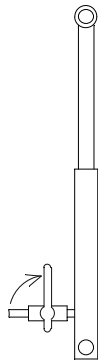
作業後には必ず以下の手順に従って清掃を行ってください。

- ①トラクタをアイドリング状態にし、PTOを入れてください。
- ②コントロールボックス1の「供給開始」ボタンを押し、クラッチを繋げてください。
- ③手動レバーでチャンバーを全開の半分程度開けてください。

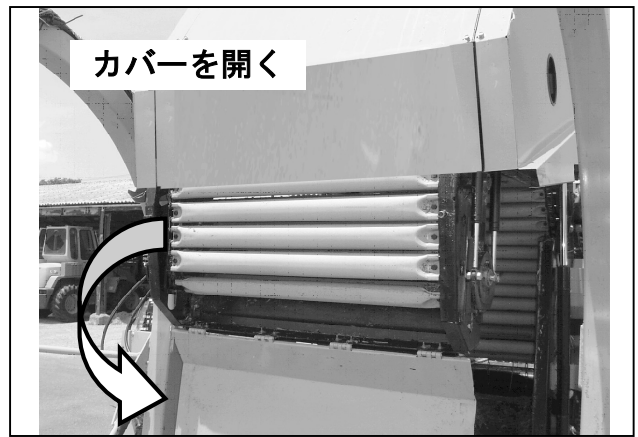
注意

タイトチェーンを駆動したまま、チャンバーを大きく開けると、ピッチエラーを起こすおそれがありますので全開にしないでください。

- ④必ず左右のシリンダをロックし、チャンバーが下がらないことを確認してください。



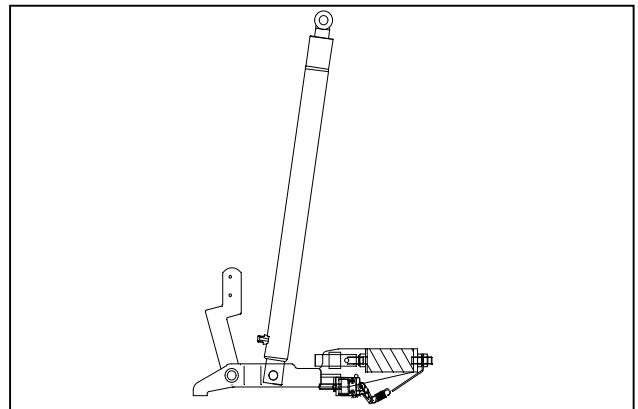
- ⑤グリップカッタを上げてください。
- ⑥PTOを切ってください。
- ⑦次図のリンチピンをとりカバー中の堆積物を取り出し、掃除をしてください。



注意

掃除をしていないと、堆積した収穫物が腐敗して雑菌がロールに混入し、サイレージ品質を劣化させるおそれがありますので掃除を必ず実施してください。

- ⑧ロックカナグのセンサ付近を掃除してください。材料等が固着すると、感知が不安定になることがあります。

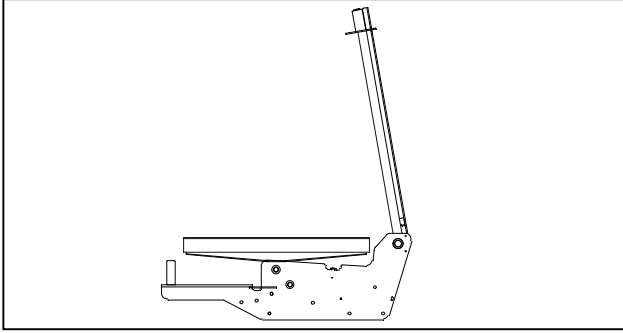


- ⑨グリップカッタに付いたフィルムの切れ端や材料を取り除いてください。

注意

危険ですので刃には触れないようご注意ください。

簡単な手入れと処置



⑩はさみ込むために、刃の上にラップを垂らしてください。

⑪PTOを入れてください。

⑫コントロールボックスの電源を入れてください。

⑬チャンバーを閉めてください。

⑭グリップカッタを下げてください。

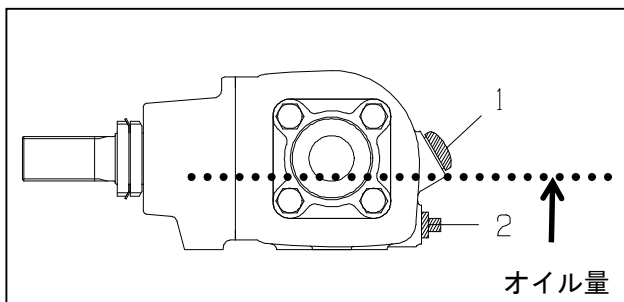
13. ミッションオイルの交換

使用100時間ごとに全量を交換してください。使用するオイルはギヤオイル #90を0.6Lです。

必ず以下の手順に従ってオイル交換を行ってください。

①次図中2のドレンプラグを外し、使用済みオイルを出す。オイルを出し切った後、新しいシールテープを巻いたドレンプラグを取り付けてください。

②次図中1のオイルキャップを外し、穴からオイルが出るまで新しいオイルを入れ、オイルキャップを取り付けてください。



14. 車輪止め

駐車時は、必ず車輪止めでタイヤの歯止めをしてください。また、使用後はフレーム部へ格納してください。



！ 警告

本機をトラクタから切り離したときも、必ず車輪止めで歯止めをしてください。本機が動き、思わぬ事故の原因になります。

これを怠ると重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

15. ゴムロール

作業後、ゴムロールに付着した糊を軽油等で拭き取ってください。

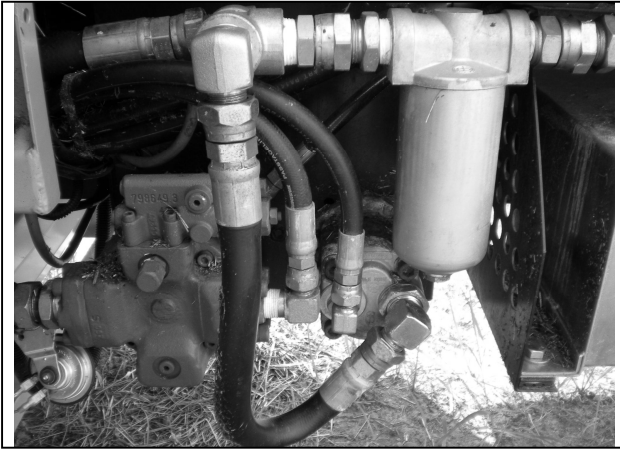
糊が付着したまま作業を続けると、フィルムの張力が一定せず、巻むらが起ることがあります。



簡単な手入れと処置

16. オイルフィルタの掃除

100時間毎にオイルフィルタのエレメント (P-LND-08-150K) を交換してください。



17. 長期格納時の手入れ

- 付着した泥やほこり等を落とし、巻き付いた草等を取り除いてください。
- 各回転・しゅう動部やチェーン類には十分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗って、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト・ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいるときは締めてください。格納は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な所で保管してください。

18. タイトバーボルト・ナットの点検

定期的にタイトバーボルト・ナットの緩み点検を行ってください。

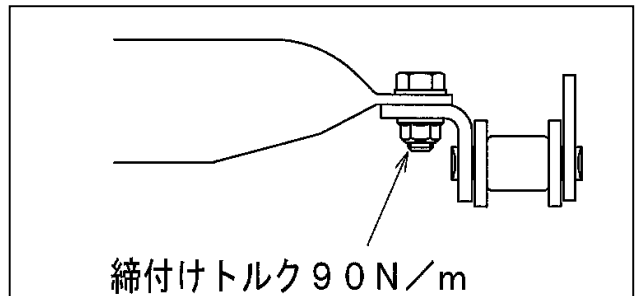
●点検の目安 (ロール個数)

初回 約1000個での実施

以降 約2000個での実施

緩みがある場合は増し締めを行ってください。

緩みが酷い場合 (増し締め時に1回転以上回る場合) は、ボルト・ナットを新品に交換してください。



⚠ 警告

タイトバーボルト・ナットが緩んだ状態で作業を続けるとタイトバー・タイトチェンの破損に繋がるおそれがあります。

簡単な手入れと処置

19. ローラチェーンの張り調整

注意

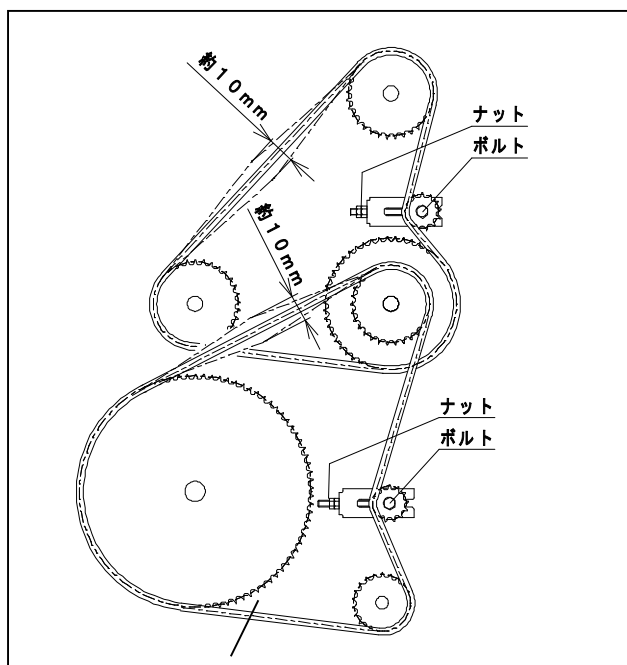
ローラチェーンは特に初期伸びをします。
初めての使用から10時間後、次記に従って、
張り調整を行ってください。

◆アジテータ駆動チェーン

チェーンの矢印で示した部分のたわみ量が、
約10mmになるように調整してください。

●調整のしかた

- ①ボルト・ナットを緩める。
- ②たわみ量を調整する。
- ③ボルト・ナットを締める。

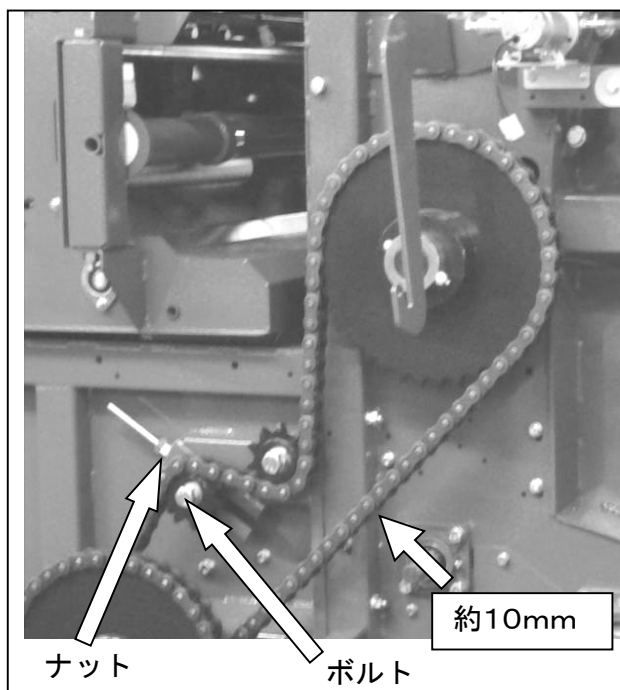
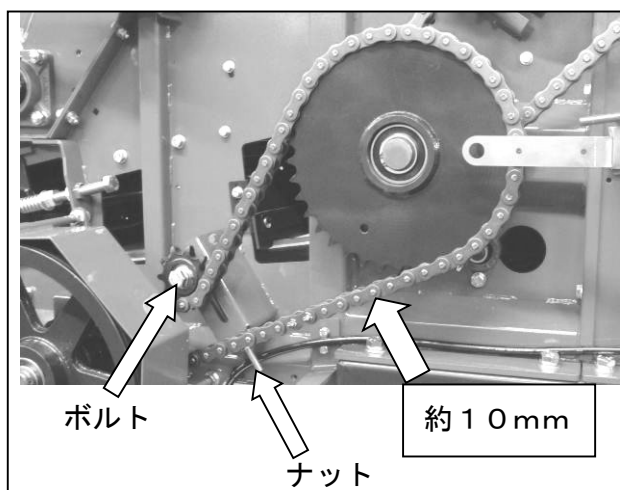


◆タイトバー駆動チェーン

チェーンの矢印で示した部分のたわみ量が、
約10mmになるように調整してください。

●調整のしかた

- ①ボルト・ナットを緩める。
- ②たわみ量を調整する。
- ③ボルト・ナットを締める。



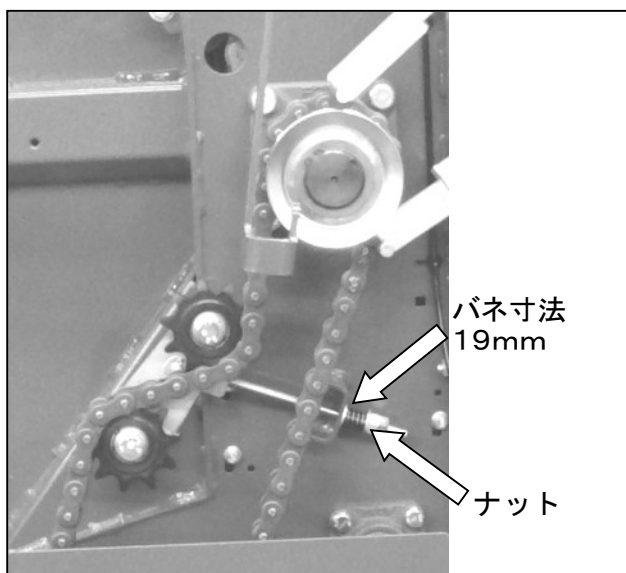
◆コンベアベルト駆動チェーン

バネ寸法が約19mmになるように調整
してください。

●調整のしかた

- ①ボルト・ナットを緩める。
- ②たわみ量を調整する。
- ③ボルト・ナットを締める。

簡単な手入れと処置

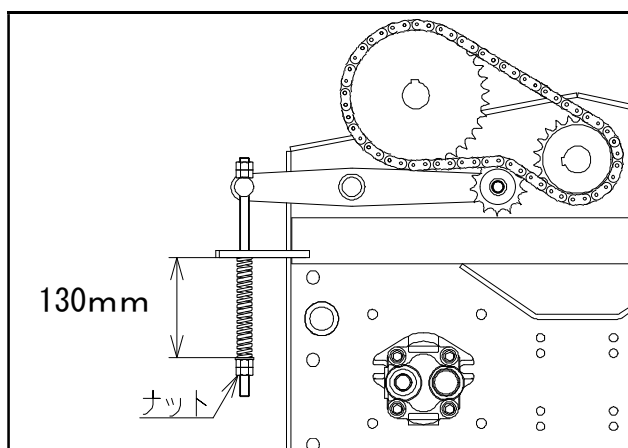


◆ ポンプ駆動チェーン

バネ寸法が約130mmになるように調整してください。

● 調整のしかた

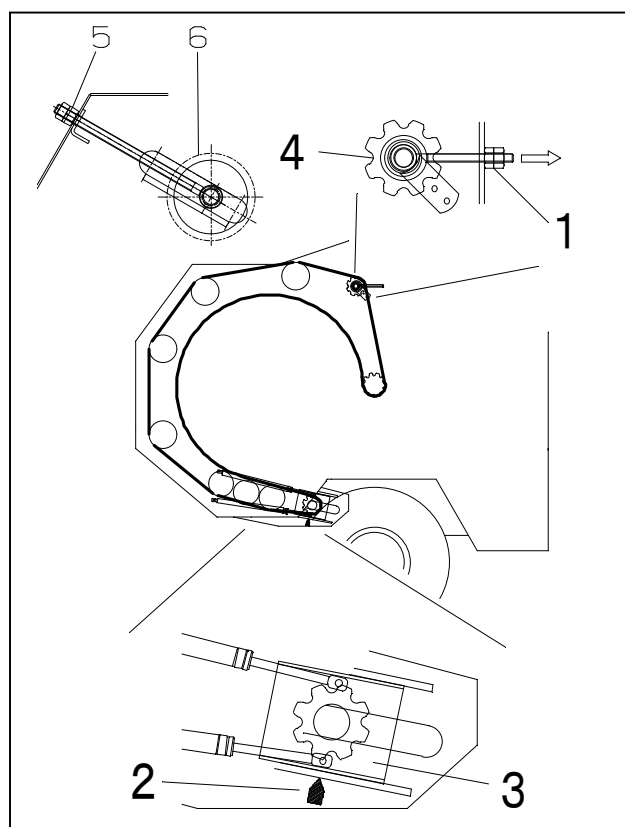
- ① ナットを緩める。
- ② バネの寸法を調整する。
- ③ ナットを締める。



20. タイトチェーンの張り調整

次図のように、“タイトチェーンの標準張り位置のマーク”が付いていますので、タイトチェーンが伸び標準位置より前に来た場合、次の要領で調整してください。

- ① 1ロックナットを緩めてください。
- ② 2タイトチェーンの標準張り位置のマーク”と3シメツケプレートが合う位置まで、1ロックナットを締め込み、4テンションスクリューでタイトチェーンを張ってください。
- ③ ②で調整仕切れない場合は5ロックナットを緩め、6テンションスクリューでタイトチェーンを張ってください。
- ④ 調整後にロックナットを締め、空回しして、マークの位置を確認してください。



注意

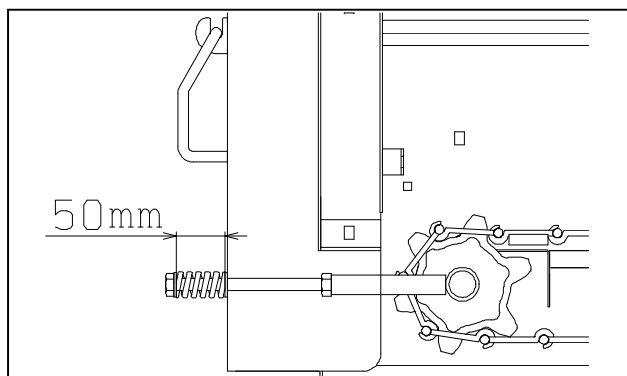
チェーン張り調整は、チャンバーを閉じた状態で行ってください。調整は必ず左右共に行い、左右の引張り量を合わせてください。

簡単な手入れと処置

2 1. コンベアチェーンの張り調整

◆ロールペーラホッパ部

ボルトを回して、バネの長さを約50mmにしてください。



※左右均等に調整してください。

2 2. Vベルトの張り調整

注 意

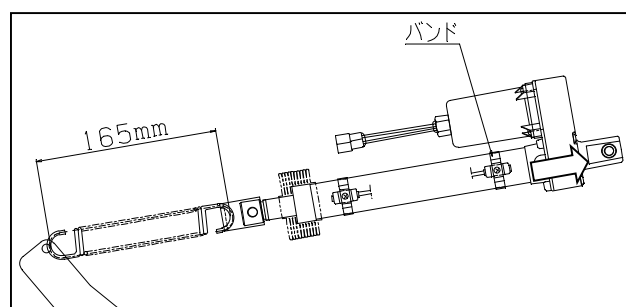
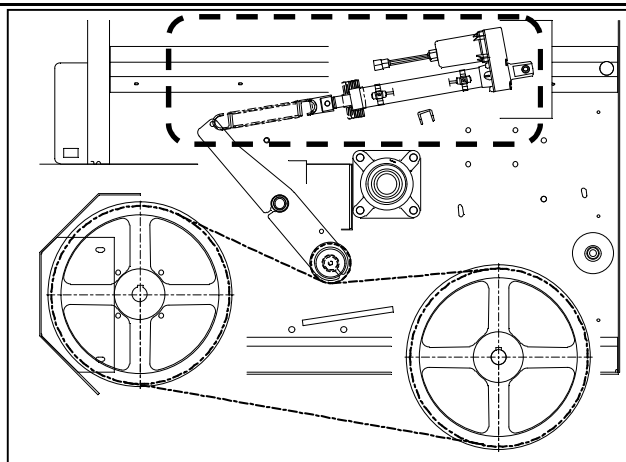
Vベルトは初期伸びをします。初めての使用から10時間後、次記に従って、張り調整を行ってください。

◆タイトバー駆動ベルト

クラッチを入れた状態で、バネの寸法を約165mmに調整してください。

●調整のしかた

- ①コントロールボックス1, 2の電源を入れ、「供給スイッチ」を開始側に倒し、クラッチを入れる。
PTOは切った状態で行ってください。
- ②バネ寸法を測定する。
- ③「供給スイッチ」を停止側に倒し、クラッチを切る。
- ④センサを固定しているバンドのネジを緩める。
- ⑤165mmから、②で測定したバネ寸法を引いた長さ分、矢印の方向に移動させる。
- ⑥センサを固定しているバンドのネジを締める。
締付トルクは、
0.3N・m(3kgf・cm)です。締めすぎると、センサが破損する原因となります。



ベルトサイズ

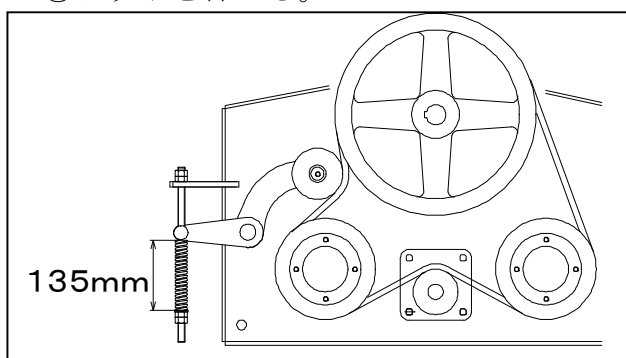
部品名称	部品コード	員数
VベルトC-99 (スーパーゴールド)	03610-3030-990	3

◆ポンプ駆動ベルト

バネの寸法を約135mmに調整してください。

●調整のしかた

- ①ナットを緩める。
- ②バネの寸法を調整する。
- ③ナットを締める。



●Vベルトサイズ

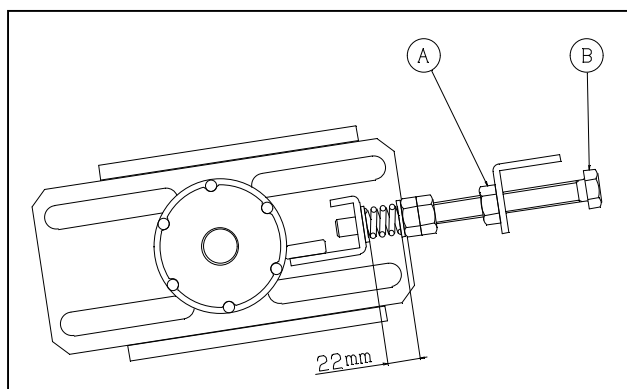
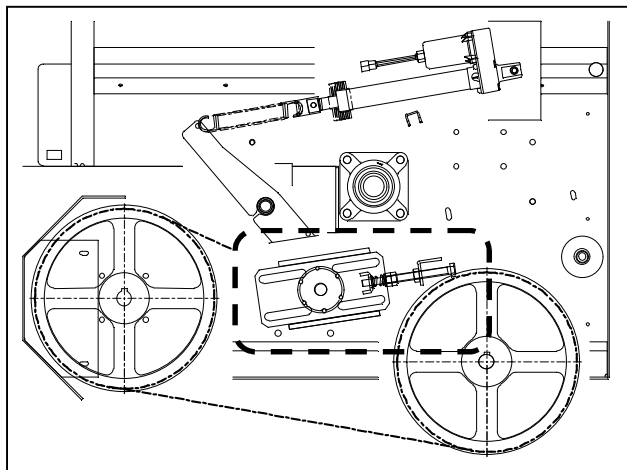
部品名称	部品コード	員数
Vベルト W800 SC74	68104-3732-000	2

簡単な手入れと処置

23. コンベアベルトの張り調整

●調整のしかた

- ①Aのナットを緩める。
- ②Bのボルトを回してバネの寸法を22mmに調整する。
- ③Aのナットを締める。



注意

ローラに材料が詰まっている場合は、掃除をしてから、テンション調整を行ってください。

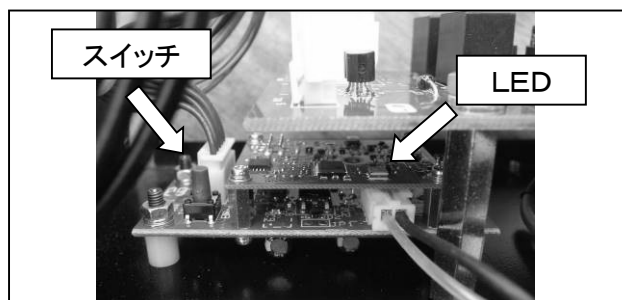
ローラやコンベアベルトが破損するおそれがあります。

24. リモコンの設定方法

新しいリモコンに更新した際には、コントロールボックスへID登録をする必要があります。

●調整のしかた

- ①リモコン受信機のカバーを外す。
- ②受信機内部のスイッチを押したまま、コントロールボックスの電源を入れる。



- ③受信機内部のLEDの点滅を確認したら、スイッチを離してリモコンのボタンを押す。

リモコン1：供給開始ボタン

リモコン2：放出切替ボタン

- ④受信機内部のLEDが消灯したら、IDの登録が完了。

コントロールボックスの電源を切り、再度電源を入れると通常通り使用可能。

簡単な手入れと処置

25. グリスアップ・グリス塗布・注油

図表に従って各部にグリスアップ・グリス塗布・注油を行ってください。

警告

点検・調整をするときは、必ずP T Oを切り、エンジンを停止してください。
これを怠ると、重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

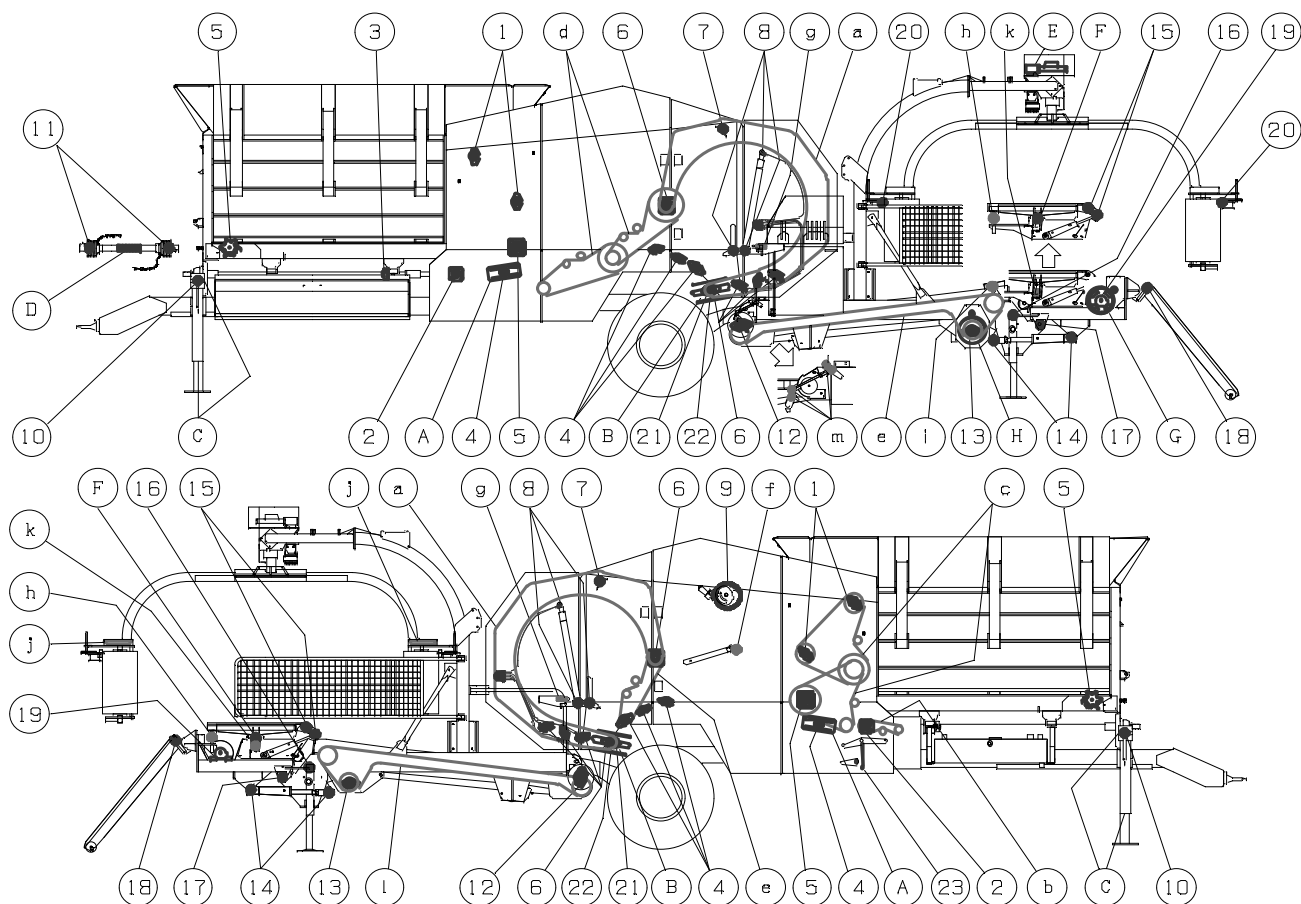
グリスアップ			
No.	名称	箇所	時期
1	アジテータ軸受け	左右 各2	20時間毎
2	ミッション横軸受け	左右 各1	〃
3	ミッション縦軸受け	1	〃
4	ベルトコンベア軸受け	左右 各4	〃
5	コンベア軸受け	左右 各2	〃
6	タイトチェーン軸受け	左右 各4	〃
7	チャンバー開閉支点	左右 各1	〃
8	シリンダ支点	左右 各3	〃
9	カムギア	1	〃
10	ロールベアスタンド	左右 各1	〃
11	ジョイント可動支点	前後 各1	〃
12	ハンソウローラ軸受け	左右 各1	〃
13	ハンソウ軸受け	〃	〃
14	ダンブシリンダ支点	左右 各2	〃
15	グリップカッタ支点	〃	〃
16	ラップスタンド	左右 各1	〃
17	ダンブ支点	〃	〃
18	キッカー支点	〃	〃
19	テーブルローラ軸受け	〃	〃
20	テンションローラ支点	前後 各1	〃
21	タイトチェーンスラスト部	左右 各2	〃
22	タイトチェーンテンション軸	左右 各1	〃
23	ポンプ駆動テンション軸	2	〃

グリス塗布			
No.	名称	箇所	時期
A	ベルトコンベアスラスト部	左右 各1	20時間毎
B	タイトチェーンスラスト部	〃	〃
C	ロールベアスタンドスラスト部	左右 各2	〃
D	ジョイントスラスト部	1	〃
E	ストレッチアーム回転ギヤ	〃	〃
F	グリップカッタ受け支点	左右 各1	〃
G	テーブルローラ回転ギヤ	1	〃
H	ハンソウチェーン駆動ギヤ	〃	〃

注 油			
No.	名称	箇所	時期
a	タイトチェーン	左右 各1	作業毎
b	ポンプ駆動列チェーン	1	〃
c	アジテータ駆動チェーン	2	〃
d	駆動チェーン	〃	〃
e	ベルトコンベア駆動チェーン	1	〃
f	ネジタイマー軸	〃	20時間毎
g	スライドカナグのスラスト部	左右 各1	〃

簡単な手入れと処置

注 油			
No.	名称	箇所	時期
h	グリップカッタスプリング	左右 各1	20時間毎
i	ローラ後方センサ支点	1	〃
j	ストレッチチェーン	前後 各1	〃
k	グリップカッタ受けスラスト部	〃	〃
l	ハンソウチェーン	左右 各1	〃
m	ローラ前方センサ支点	3	〃



不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ペー ジ
●電源ランプが点灯しない	●ヒューズが切れている	●ヒューズの交換	44
●タイトチェーンが異常に振動する ●シェアボルトが頻発して切れる	●タイトチェーンの油切れ	●注油する	48
		●注油タンクの油量を確認する	48
●ポンプ駆動チェーンがバタ付く	●チェーンの油切れ	●手動ポンプで注油する	48
	●テンションバネの伸び	●テンションバネを交換する	53
●リアチャンバーが開かない	●ネットが巻き終わっていない	●ネットを手動で再度巻く	26
	●油圧ポンプが回っていない	●トラクタPTOを回す	—
●アジテータの逆転が頻発する	●材料の入れすぎ	●入れる量を減らす。 ●アジテータ上から投入せず、ホッパー前に材料を入れる	—
●リアチャンバーが閉じない	●前後チャンバーの合わせ部に材料がたまっている	●掃除をする	—
●ネットが繰り出さない	●ハーネスの接続不良	●接続する	—
	●駆動ベルトが外れている	●取り付ける	32
	●電源容量不足	●バッテリーから付属のハーネスで直接取り出す	30
●ネットの切れが悪い	●ナイフの出方が少ない	●ナイフの出量の調節	—
	●ナイフが切れなくなっている	●ナイフの交換	—
●ネットがゴムローラに巻き付く	●結露・水滴によるゴムローラへの付着	●水分をふきとる	—
●ラップの切れが悪い	●ナイフの出方が少ない	●ナイフの出量の調節	—
	●ナイフが切れない	●ナイフの交換	—
●ロールの形状がテーパ状になる	●ホッパーへの投入が左右均等でない	●左右均等に投入する	—
		●ホッパーに十分な量を投入してから(ためてから)作業を行う	—
●パトライトが点灯しない	●電球が切れている	●電球を交換する	—
●ロールが軟らかい	●ネットの結束力不足	●ネットの再調整	32
●リモコン送信機が操作しない	●受信機との距離が離れすぎている	●送信距離は約50m(電池新品の見通し)です。	—
	●緊急停止状態になっている	●トラクタPTOを切り受信機の緊急停止解除スイッチを押す	26 27
	●送信機の電池切れ	●電池交換を行う	45

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点滅



: 特定しない

1. 準備完了表示

1-1)	内容：	通常作業開始時の表示												
	コントロール ボックス 表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット 異常	ネット 残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	●	●	●	—	●	○	セッテイ マスク:12 ホッシュ:ジドウ		●	●	●	●
		対応：	表示の状態になっていない場合は、液晶画面に従い、手動レバー操作で各部の位置を初期状態に合わせてください。											

2. 通常動作表示

2-1)	内容：	非常停止中												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	●	●	●	●	●	●	—		●	●	—	○
	対応：	説明：緊急停止する必要がある場合は、コントロールボックス 1 の「非常停止」ボタンを押してください。 解除：「緊急停止解除」スイッチを押すと、非常停止を解除することができます。												
2-2)	内容：	供給中												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		○	●	●	●	—	●	○	—		○	●	—	—
	対応：	説明：ホッパーの材料をロール成形室に送り込んでいます。 解除：コントロールボックス 1 の「供給停止」スイッチを押すと供給を停止することができます。												
2-3)	内容：	ネット巻付け中												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	○	●	●	—	●	○	—		●	○	—	—
	対応：	説明：材料が成形室一杯になったのを感知したので、ネットを送り込み結束します。 ※成形室が一杯になっていないと結束できませんので、注意してください。												

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点滅



: 特定しない

2. 通常動作表示

2-4)	内容:	ネット巻付け完了											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		●	○	○	●	—	●	○	—	●	○	—	—
	対応:	説明: ネットの結束が完了しました。この後、チャンバーが開きますので、注意してください。 ※コントロールボックス 1 が「自動」になっている場合、急にチャンバーが開きますので、注意してください。											
2-5)	内容:	手動放出設定中											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	セッテイ マキスク:12 ホウシュツ:シュドウ	—	—	○	—
	対応:	説明: 放出が「手動」になっています。 解除: コントロールボックス 2 または、ラップ側リモコンの「放出」ボタンを押してください。 ※コントロールボックス 2 の「放出切替」ボタンを押すことで、手動と自動を切替えることができます。											
2-6)	内容:	ラップ部 一時停止中											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	イジゲンチュウ	—	—	—	○
	対応:	説明: 「非常停止」ボタン、「一時停止」ボタン、フィルム切れの際にこの状態になります。 解除: 「一時停止」ボタンを長押し (2 秒) すると、一時停止を解除することができます。 ※一時停止を解除すると機械が急に動き始めますので、機械の周りに人がいないか確認してください。											

3. 消耗品 (ネット、フィルム) 切れ表示

3-1)	内容:	ネットが無くなる、切れる、巻付く等で、動作が止まった											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		●	○	●	★	—	●	○	イジゲンチュウ	●	○	—	—
	対応:	①PT0を切ってください。 ②ネット交換方法のステッカーに従い、ネットを交換してください。 ③機械の周りに人がいないか確認し、PT0を入れてください。 ④コントロールボックス 1 の「手動繰出」ボタンを押してください。											

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点減



: 特定しない

3. 消耗品（ネット、フィルム）切れ表示

3-2)	内容：	フィルムが無くなる、切れる等で、動作が止まった												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	ラップ エラー フィルム リコガン		—	—	—	○
		対応：	①PT0を切ってください。 ②フィルム交換方法のステッカーに従い、フィルムを交換してください。 ③機械の周りに人がいないか確認し、PT0を入れてください。 ④コントロールボックス 2 の「一時停止」ボタンを長押し（2 秒）してください。											

4. 動作不良表示

4-1)	内容：	コントロールボックス操作が利かない												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	●	●	●	●	●	●	—		●	●	—	○
	対応：	原因：コントロールボックス 1 の「非常停止」スイッチを押すとコントロールボックス 1 の電源が切れます。 対応：機械の周りに人がいないことを確認し、「緊急停止解除」スイッチを押して非常停止を解除してください。												
4-2)	内容：	アジテータの逆転が頻発する												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		○	—	—	●	—	●	○	—		○	●	—	—
	対応：	原因：アジテータ回転速度が遅いことが考えられます。 対応：PT0の回転数が400rpmになっているか確認してください。												
4-3)	内容：	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ①												
	コントロールボックス表示：	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		☀	●	☀	●	—	●	○	セッテイ マキシウ：12 ホウシュツ：ジドウ		●	●	—	—
	対応：	原因：カムスイッチが押されていません。 対応：カムスイッチを固定されているナットが緩んでいないか確認してください。												

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点滅



: 特定しない

4. 動作不良表示

4-4)	内容:	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ②												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	★	●	●	—	●	○	セッテイ マスク: 12 ホシュツ: ジドウ		●	●	—	—
	対応:	原因: 感知スイッチが引張られ続けています。 対応: 感知スイッチに材料が引っ掛っていないか確認してください。												

4-5)	内容:	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ③												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	●	●	●	—	●	●	セッテイ マスク: 12 ホシュツ: ジドウ		●	●	—	—
	対応:	原因: 材料が詰まってチャンパー閉センサが押されていません。 対応: ①チャンパーの合わせ目に材料が挟まっていないか確認してください。 ②挟まっている場合はチャンパーを開け、掃除してください。 ※チャンパー内に入る際は必ずシリンダをロックしてください。												

4-6)	内容:	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ④												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	●	●	●	—	●	○	リードスイッチがドグマ オサレマス		●	●	—	○
	対応:	原因: 電動シリンダのリードスイッチ異常です。 対応: リードスイッチの取付け、カプラが抜けていないか確認してください。												

4-7)	内容:	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ⑤												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		○	—	—	●	—	●	○	—		○	●	—	—
	対応:	原因: ネットホサキセンサに材料が引っ掛っていることが考えられます。 対応: ネットホサキセンサの掃除をしてください。												

4-8)	内容:	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ⑥												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		●	●	●	●	—	—	●	チャンパ ヲ シメテグサイ		●	●	—	—
	対応:	原因: 初期状態になっていません。 対応: ①チャンパー内に人がいないことを確認し、シリンダロックを解除してください。 ②液晶画面に従い、手動レバー又はコントロールボックス 1 の「チャンパー閉」スイッチを押しチャンパーを閉めてください。												

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点滅



: 特定しない

4. 動作不良表示

4-9)	内容:	ホッパー内の材料がロール成形室に送り込めない ⑦											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		○	●	●	●	—	●	○	—	○	●	—	—
	対応:	原因: クラッチ入リードスイッチのランプが点灯していない場合は、クラッチ入リードスイッチの異常です。(供給開始、自動感知、手動感知が利きません。) 対応: センサの取付けが外れていないか確認してください。											
4-10)	内容:	チャンバーが開かない ①											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		●	○	○	—	—	—	○	ハンソウローラマニ ドウシタサイ	—	—	—	○
	対応:	原因: 初期状態になっていません。 ※頻発する場合はバッテリーの容量不足が考えられます。 対応: 液晶画面に従い、手動レバー操作で搬送ローラを前に移動してください。											
4-11)	内容:	チャンバーが開かない ②											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		●	○	○	—	—	—	○	チャンバヒラキ	—	—	—	—
	対応:	原因: コントロールボックス 1 の「手動・自動」スイッチを「手動」にしてください。 対応: 機械の周りに人がいないか確認し、「自動」に切替えてください。											
4-12)	内容:	チャンバーが開かない ③											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		●	○	○	—	—	—	○	ハンソウセンサーがドウシ タマニ	—	—	—	○
	対応:	原因: ローラ前センサに材料が詰まり、センサが押された状態で留まっています。 対応: ①PT0を切ってください。 ②ローラ前センサの材料の詰まりを掃除してください。 ③56ページに従い、ローラ前センサカナグ支点到にグリスを塗付してください。 ④機械の周りに人がいないか確認し、PT0を入れてください。 ⑤手動レバー操作で搬送ローラを前に移動してください。 ⑥コントロールボックス 2 の「一時停止」ボタンを長押しして、一時停止を解除してください。											

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点滅



: 特定しない

4. 動作不良表示

4-13)	内容:	(手動レバーで)チャンバーが開かない											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	対応:	原因: 電源が入っている時は手動レバーでチャンバーを開けることができません。 対応: 電源を切るまたは、ロール側コントロールボックスのチャンバー開閉スイッチで操作してください。 ※チャンバー内に入る際は必ずシリンダをロックしてください。											
4-14)	内容:	ロールがラップまで移動しない											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	チャンパ カイ センサ エラー	—	—	—	○
	対応:	原因: チャンバー開センサの異常です。 対応: チャンバー開センサのコネクタが抜けていないか確認してください。											
4-15)	内容:	チャンバーが閉じない											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	ハンソウローラ ウィン エラー	—	—	—	○
	対応:	原因: ローラ後センサの異常です。 対応: ローラ後センサの端子が抜けていないか確認してください。											
4-16)	内容:	ストレッチが回転を始めない											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	グリップ カッタ センサ エラー	—	—	—	○
	対応:	原因: グリップカッタセンサの異常です。 対応: グリップカッタセンサの端子が抜けていないか確認してください。											
4-17)	内容:	ストレッチが途中で停止する ①											
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト			
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面	緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	ガイテン マイ センサ エラー	—	—	—	○
	対応:	原因: 回転前センサの異常です。 対応: 回転前センサの端子が抜けていないか確認後、「一時停止」ボタンを長押ししてください。											

不 調 診 断

表示一覧



: 点灯



: 消灯



: 点滅



: 特定しない

4. 動作不良表示

4-18)	内容:	ストレッチが途中で停止する ②												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	カテン ウィロ センサエラー		—	—	—	○
対応:	原因: 回転後センサの異常です。 対応: 回転後センサの端子が抜けていないか確認後、「一時停止」ボタンを長押ししてください。													
4-19)	内容:	ストレッチが途中で停止する ③												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	ストレッチアーム カテンエラー		—	—	—	○
対応:	原因: オイルタンク油温が上昇している可能性があります。 対応: ①油温が 80℃以下になるまで、PTOを切ってください。 ②機械の周りに人がいないことを確認し、PTOを繋いでください。 ③「一時停止」ボタンを長押ししてください。													
4-20)	内容:	ロールが落ちない												
	コントロールボックス表示:	コントロールボックス 1						コントロールボックス 2		パトライト				
		青	黄	赤	ネット異常	ネット残量	全開	全閉	液晶画面		緑	黄	青	赤
		—	—	—	—	—	—	—	ロール ケンジュツ センサエラー		—	—	—	○
対応:	原因: リヤチャンバーからロールが落ちない。 対応: ①棒でリヤチャンバーからロールを落としてください。 ②機械の周りに人がいないことを確認し、「一時停止」ボタンを長押ししてください。													

付 表

1. 主要諸元

型	式	MW1011H
名	称	細断型コンビラップ
装	着 方 法	ドローバけん引方式
駆	動 方 法	PTO駆動(回転速度 400min ⁻¹ (rpm))
適	応 ト ラ ク タ	25.7～73.6kW(35～100PS)
機 体 寸 法	全 長	9,520mm(作業時) 8,900mm(移動時)
	全 幅	3,530mm(作業時) 2,350mm(移動時)
	全 高	2,700mm(作業時) 2,700mm(移動時)
質	量	4,600kg
ロ	ー ル 寸 法	φ100cm×85cm(参考値)
ロ	ー ル 重 量	415～500kg
結	束 装 置	ネット
ネ	ット サ イ ズ	幅103または123cm×2000m
フ	ィ ル ム サ イ ズ	幅50cm×1800m (2本同時使用)
ホ ッ パ ー	容 量	3.0m ³
	地上高	2,460mm(あおり有) 2,100mm(あおり無)
	投入幅	2,900mm(あおり有) 1,750mm(あおり無)
タ	イ ヤ サ イ ズ	11.5/80-15 8プライ
送 信 機	電 源	DC2.5～3.3V(コイン型リチウム電池CR2032)
	外 形 寸 法	60×35×13mm
	保 存 温 度	-10～+55℃
	電 池 寿 命	1日10回操作で2年
	使用周波数	313.85MHz
	送 信 出 力	微弱電波
受 信 機	消 費 電 流	最大100mA以下
	外 形 寸 法	115×150×70mm
	保 存 温 度	-10～+55℃

この主要諸元は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

付表

2. 主な消耗品

No.	交 換 部 品	部品コード	員数	時期	取説、 パーツリスト のページ	
▼ベアラー関係						
1	タイトチェーン	36120-3910-010	2	1000時間毎交換	-	
2	ピアノセン	68104-3192-000	2			
3	タイトバー	37110-3440-014	89			
4	チェーンガイド用のステーマエウエ	37110-1440-000	1			
5	チェーンガイド用のステーウエウシロ	37110-1450-011	1			
6	チェーンガイド用のステー3	37110-1430-000	2			
7	駆動軸のベアリング UC208	04561-0002-080	2			
8	折返しのベアリング UC207	04561-0002-070	2			
9	成形室のベアリング 6205 2RS	04110-4062-050	10			
10	駆動スプロケット #120 10T	37110-3290-000	2			
11	テンションのガススプリング	31108-3430-000	4	200時間毎交換		
12	スライドカナグ	39101-7211-000	2			
13	チャンバーロックのスプリング 引張バネ φ6	00615-0600-400	2	500時間毎交換		
▼ネット装置						
14	ブレーキシュー	33101-6993-000	1	500時間毎交換	-	
15	タイマーナイフ	32118-7650-003	1	200時間毎交換		
16	ネジシャフト	36120-6911-011	1			
17	ナイフ	60121-5132-000	2	1000時間毎交換		
18	ゴムローラー	60121-4510-000	1	500時間毎交換		
19	Vベルト	03610-0010-700	1			
20	ワンウェイプレート	32118-6842-003	4			
▼コンベアベルト						
21	コンベアベルト(ラグツキ)	36120-6420-001	1	500時間毎交換	-	
22	スクレーパゴム	36120-6521-002	1			
23	ローラベルト	67117-3171-001	2			
▼駆動系						
24	アジテータ駆動チェーン	03621-0501-341	1	500時間毎交換	-	
25	コンベア駆動チェーン	03621-0501-401	1			
26	ベアラ左前駆動チェーン	03621-0600-941	1			
27	ベアラ左後駆動チェーン	03621-0800-766	1			
28	ベアラ右駆動チェーン	03621-0600-801	1			
29	ラップ搬送チェーンAssy	67117-1560-000	2			
30	ベアラ駆動クラッチベルト	03610-3030-990	3			
31	ホンプ駆動チェーン	03631-0500-641	1			
32	ホンプ駆動チェーンテンション用スプリング	00620-0400-100	1			
33	ホンプ駆動ベルト	68104-3732-000	2			
34	ホンプ駆動ベルトテンション用スプリング	00620-0400-100	1			
35	シェアボルト(M6x40 12T) ナイロンナット(ジョイント用)	01112-0060-400	各1			-
		02311-4001-060				
36	シェアボルト(M8X40 11T) ナイロンナット(タイトチェーン駆動復帰用)	01111-0080-400	各1			-
		02311-4001-080				
37	シェアボルト(M8X40 8T) ナイロンナット(タイトチェーン駆動用)	01118-0080-400	各1	-		
		02311-4001-080				
38	シェアボルト(M8X35 8T) ナイロンナット(ベルトローラ用)	01118-0080-350	各1	-		
		02311-4001-080				

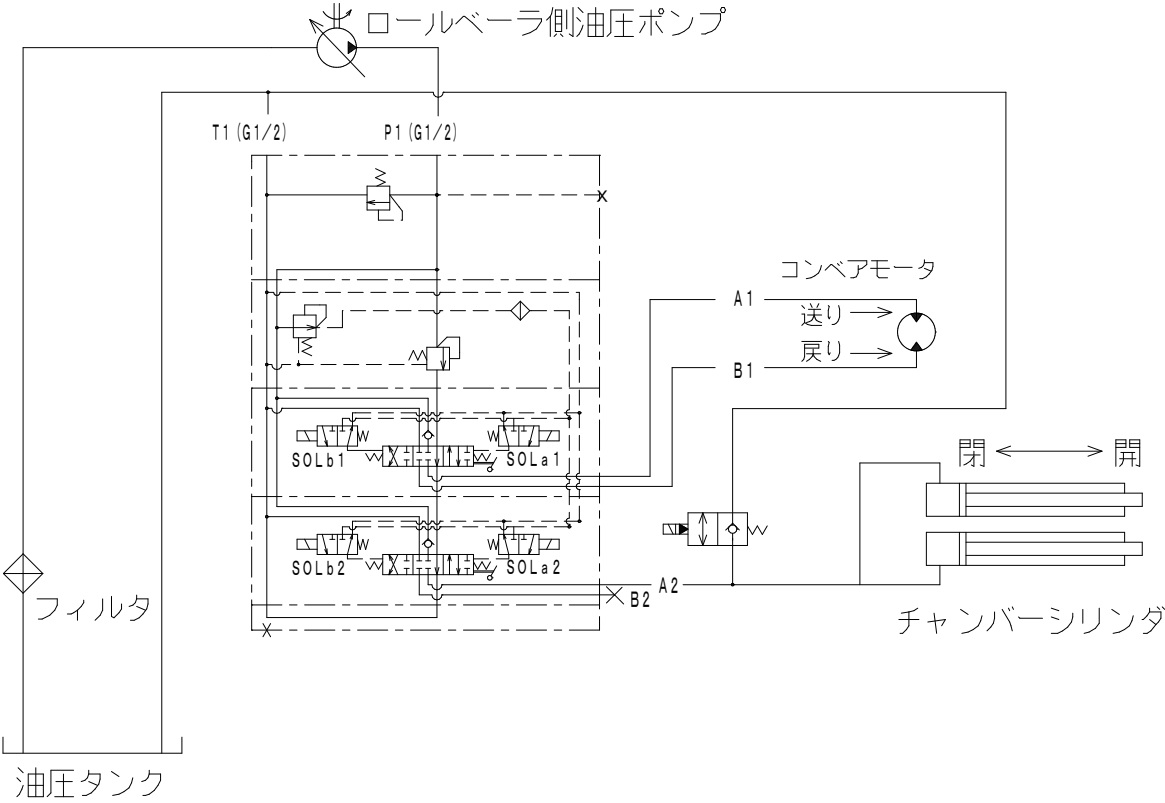
付表

2. 主な消耗品

No.	交 換 部 品	部品コード	員数	時期	取説、 パーツリスト のページ
▼油圧					
39	ロール側ホース	-	各1	100時間毎点検し、 破損している場合は 交換	パーツリスト P47～50
40	ラップ側ホース	-	各1		パーツリスト P74～77
41	フィルタエレメント	-	—	100時間毎に点検し、 汚れている場合は交換	取扱説明書 P51
42	オイルクーラー	36120-9260-001	1	1000時間毎交換	-
▼オイル					
43	ミッションのオイル0.6L (#90)	-	—	100時間毎交換	取扱説明書 P50
44	油圧タンクのオイル30L (#68)	-	—	作業前に補給し、 100時間毎で交換	取扱説明書 P46
45	タイトチェーン用オイル4L (SAE5W-30)	-	—	作業前に補給	取扱説明書 P48
▼グリップカッタ					
46	ナイフ	68105-5222-000	2	200時間毎交換	-
47	スポンジ	66101-5144-000	2	150時間毎交換	
▼電装					
48	パトライト(電球:12V5W)	-	4	100時間毎交換	-
49	パトライト	-	各1	100時間毎点検、 破損している場合は 交換	パーツリスト P45、78
50	ホーン	11363-8380-001	1		-
51	電動シリンダAssy	68105-2310-000	1	500時間および以降は 100時間毎に点検し、 動作が遅い場合は交換	-
52	ロール側センサ	-	各1	500時間毎交換	パーツリスト P45、46
53	ラップ側センサ	-	各1		パーツリスト P78～81
54	電源コード	-	各1	100時間毎点検、 破損している場合は 交換	パーツリスト P46
55	ロール側ハーネス	-	各1		パーツリスト P45、46
56	ラップ側ハーネス	-	各1		パーツリスト P78～81
57	ヒューズ15A(コントロールボックス1用)	00900-0100-150	1	-	-
58	ヒューズ10A(コントロールボックス2用)	00900-0100-100	1	-	-
59	ヒューズ30A(電源コード用)	00900-0100-300	1	-	-

※交換時期は目安であり、使用状況などで変わりますので、注意してください。

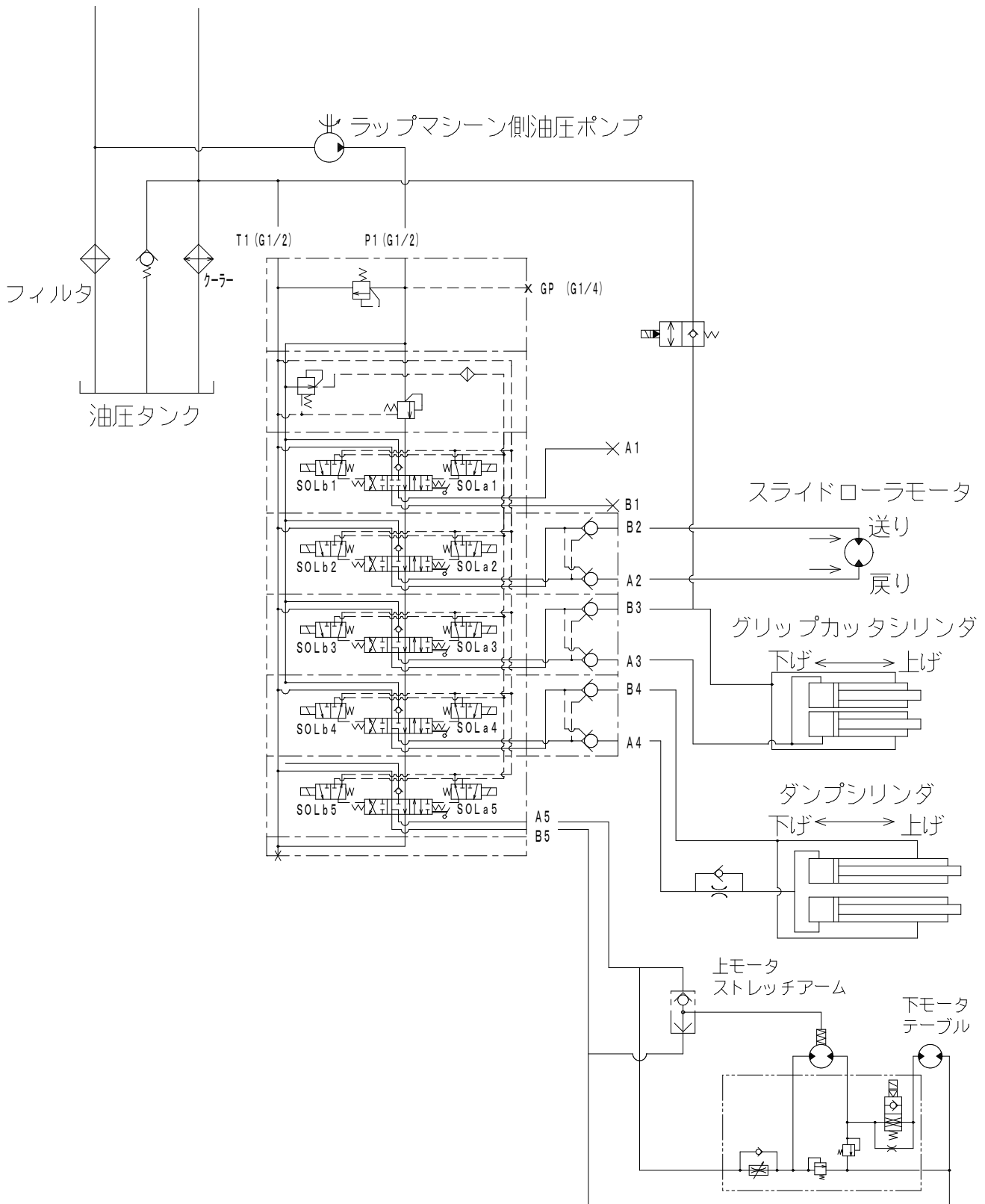
3. 油圧回路図（ロールベアラ）



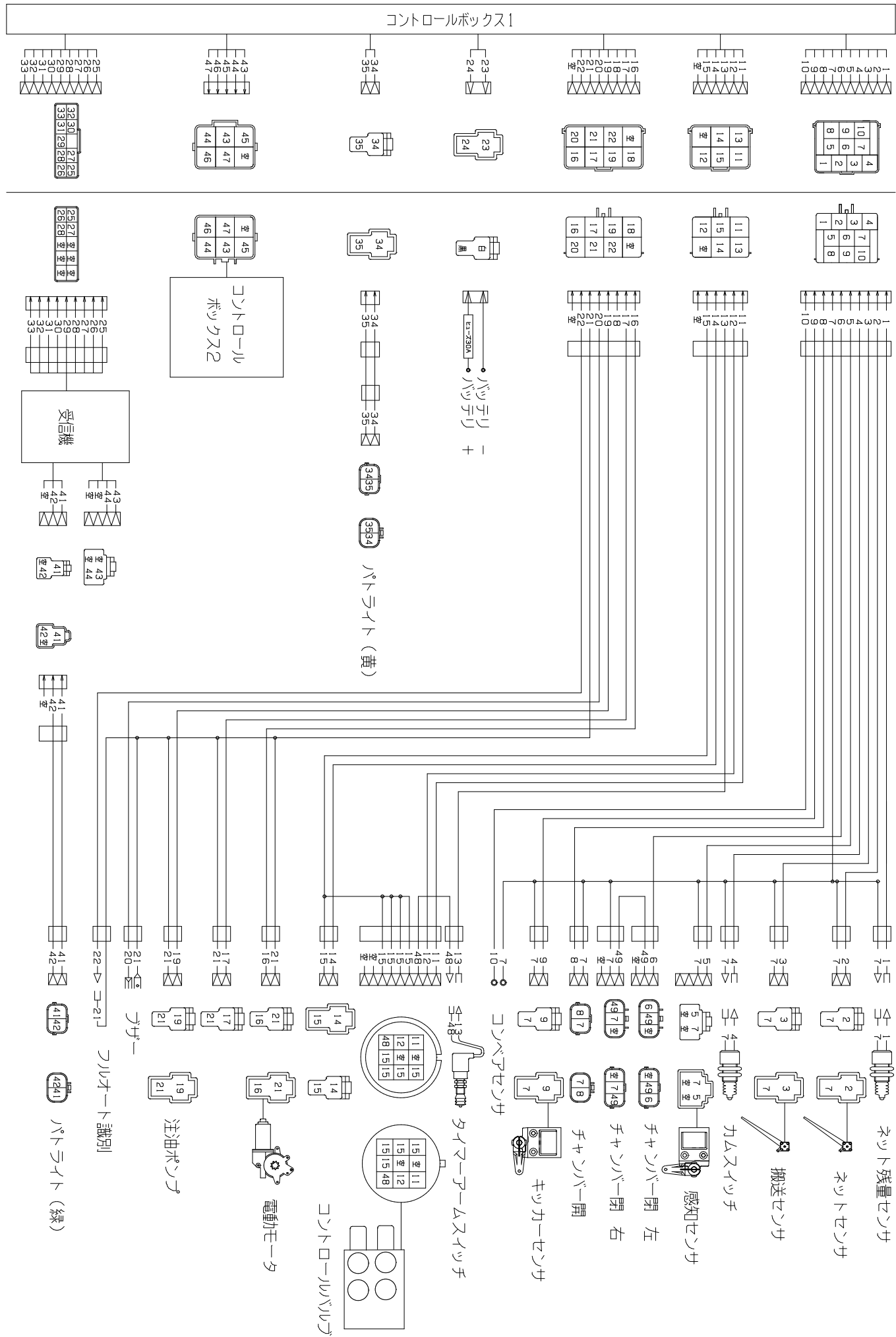
付表

4. 油圧回路図 (ラップマシーン)

ロールベアラ側油圧ポンプ



付表5 電気回路図（コントロールボックス1）



付表6 電気回路図（コントロールボックス2）

